

ブルキナファソ
学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2
終了時評価調査報告書

平成 29 年 3 月
(2017 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
17-040

ブルキナファソ
学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2
終了時評価調査報告書

平成 29 年 3 月
(2017 年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

目 次

目 次

プロジェクト位置図

写 真

略語表

終了時評価調査結果要約表

第1章 評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成と調査期間	1
1-3 プロジェクトの概要	2
第2章 調査の方法	3
2-1 終了時評価調査のプロセス	3
2-2 データ収集方法	3
2-3 データ分析方法	3
2-4 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) の改訂	4
第3章 プロジェクトの実績	7
3-1 プロジェクト概要	7
3-2 プロジェクトの実績	7
3-3 活動の実績	9
3-4 成果の達成状況	16
3-5 プロジェクト目標の達成度	21
3-6 上位目標達成の見込み	23
3-7 スーパーゴール達成の見込み	24
3-8 実施プロセスの貢献要因	25
3-9 実施プロセスの阻害要因	26
第4章 評価結果	27
4-1 評価5項目による評価	27
4-2 結論	31
第5章 提言と教訓	33
5-1 提言	33
5-2 教訓	36

付属資料

1. 調査日程	39
2. 主要面談者	40
3. ミニッツ	41
4. 評価グリッド	137
5. 質問票	143
6. 収集データ	150
6-1. JICA 専門家リスト	150
6-2. JICA 側供与機材リスト	150
6-3. カウンターパート (C/P) リスト	150
6-4. カウンターパート (C/P) 研修 (本邦及び第三国)	151
6-5. ブルキナファソ側手配の土地、建物、施設	152
6-6. 経費負担	152
7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)	153
8. 実施計画 (PO) 及び実績	155

プロジェクト位置図



写



COGES (KOUILA 校) でのヒアリング

真



COGES (NAMASSA 校) での給食当番



COGES (Wend Kuuni校) に古タイヤで設置した
校庭との境界



COGES (Lallogo 校) の低学年クラス



協議議事録協議
(2017年1月27日、国民教育・識字省会議室)



協議議事録署名
(同左)

略 語 表

略 語	英 文	仏 文	日本語
AFD	French Development Agency	Agence Française de Développement	フランス開発庁
C/P	Counterpart	Counterpart (Homologue en français)	カウンターパート
CCC	COGES Communal Coordination	Coordination Communale des COGES	コミューン COGES 連絡協議会
CE	Elementary Course	Cours Élémentaires	初等教育初等課程
CEP	Primary School Certificate	Certificat d'Études Primaires	初等教育修了資格
CEB	Basic Education District Office	Circonscription d'Éducation de Base	視学官事務所
COGES	School Management Committee	Comité de Gestion d'École	学校運営委員会
CP	Preparatory Course	Cours Préparatoires	初等教育準備過程
CM	Middle Course	Cours Moyens	初等教育中等課程
DAC	Development Assistance Committee (OECD : Organization for Economic Cooperation and Development)	Comité d'Aide au Développement	開発援助委員会 (経済協力開発機構)
DAMSE	Department of Specific Means Allocation to Educational Structures	Direction de l'Allocation des Moyens spécifiques aux structures éducatives	教育施設資機材調達局
DGEF	General Department of Formal Education	Direction générale de l'Éducation formelle	公教育総局
DGESS	General Department of Studies and Sector Statistic	Direction générale des Études et des Statistiques Sectorielles	研究計画局
DPENA	Provincial Office of Basic Education and Alphabetization	Direction Provinciale de l'Éducation Nationale	県教育局
DRENA	Regional Office of Basic Education and Alphabetization	Direction Régionale de l'Éducation Nationale	州教育局
ENEP	National Teachers Academy for Primary Education	École Nationale des Enseignants du Primaire	初等教員養成校
EQAmE	Child-friendly Quality School	École de qualité amie des enfants	質の高いチャイルドフレンドリースクール
FAO	Food and Agriculture Organization of the United Nations	Organization des Nations Unies pour l'alimentation et l'agriculture	国連食糧農業機関
FP	Focal Point	Point Focal	フォーカルポイント

略 語	英 文	仏 文	日本語
JICA	Japan International Cooperation Agency	Agence Japonaise de Coopération Internationale	国際協力機構
M/M	Minutes of Meeting	Compte Rendu des Discussions	協議議事録
MATD	Ministry of Land Development and Decentralization	Ministère de l'aménagement du Territoire et de la Décentralisation	国土整備地方分権化省
MATDSI	Ministry of territorial administration, decentralization and internal security	Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité Intérieure	地方分権分散化省
MATS	Ministry of Regional Administration and Security	Ministère de l'Administration Territoriale et de la Sécurité	地域行政安全保障省
MEF	Ministry of Economy and Finance	Ministère de l'Économie et des Finances	経済財務省
MENA	Ministry of National Education and Alphabetization	Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation	国民教育・識字省
PACOGES	School Management Committee Support Project	Le Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École	学校運営委員会支援プロジェクト
PDM	Project Design Matrix	Cadre Logique du Projet	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PDSEB	10-Year Plan for Basic Education Development	Plan Décennal de Développement de l'Éducation de Base 2002-2011	基礎教育開発戦略プログラム（2012-2021）
R/D	Record of Discussions	Procès Verbal des Discussions	討議議事録
SABER	Systems Approach for Better Education Results	Approche Systémique pour le de Meilleurs Résultats Scolaires	学校教育分析ツール
SCGDE	Division of the Coordination of Decentralized School Management	Service de la coordination de la gestion décentralisée des écoles	地方分権化学校運営調整課
TICAD	Tokyo International Conference on African Development	Conférence International de Tokyo sur le Développement de l'Afrique	アフリカ開発会議
UNICEF	United Nations Children's Fund		国連児童基金

終了時評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ブルキナファソ	案件名：学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ 2
分野：教育-初等教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第二課	協力金額（評価時点）：3億7,000万円 （2017年1月統制レート1FCFA=0.18707円）
協力 期間	(R/D)：2014年4月1日～ 2017年4月31日
	(延長)：～2017年12月20日
	(F/U)：
	先方関係機関：国民教育・識字省（Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation : MENA）
	日本側協力機関：-
	他の関連協力：-
1-1 協力の背景と概要	
<p>ブルキナファソにおいては、初等教育の総就学率は86.9%（UNESCO、2013年）と大幅に改善した一方で、最終学年残存率は69.1%（UNESCO、2012）と依然として教育の質に大きな課題を抱えている。仏語圏を対象として実施されている学力調査（Programme d'Analyse des Systèmes Éducatif de la Confemen : PASEC）の同国（5年生テスト）結果の経年比較では、フランス語及び算数において40%以上の正解率を得た生徒の割合は、1995～1996年の60%から2006～2007年の34.8%と著しく悪化している（世界銀行、2010）。この学習成果の低下の背景として、教員・教室不足など学校環境が劣悪な地域の子どもたちや子どもの教育に対する保護者の関心・支援が低い子どもたちが就学するようになったことが考えられる（世銀2010、PASEC）。このような状況を踏まえ、教員数の不足や教室の過密状態の改善とともに地域・家庭への働きかけが必要とされている。</p> <p>ブルキナファソ政府は2007年の新教育基本方針の制定により教育制度の改革に着手し、地方分権化・地方への権限移譲を推進している。具体的には地方自治体へ学校運営に関する権限を委譲しようとしているが、これと併せて各学校に住民参加による学校運営委員会（Comité de Gestion d'École : COGES）を設置し、学校レベルの運営管理を行うとともに、学習成果や教員の行動等を監視する責任をもたせることを推進している。</p> <p>JICAは2009年より機能するCOGESモデルを形成するため、学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ1によりパイロット4州においてCOGESの設置及び能力強化を支援した。パイロット4州の99%の学校で住民参加によるCOGESが設立されるとともに、95%の学校において学校活動計画を策定し、活動を実施するに至った。ブルキナファソ政府はプロジェクトにより策定されたモデルを全国普及のモデルとして正式に位置づける省令を發布し、また基礎教育開発戦略プログラム（Plan Décennal de Développement de l'Éducation de Base : PDSEB）（2012-2021）においてもCOGESの全国・全小学校への設置が活動目標の1つとして掲げられた。かかる背景の下、ブルキナファソ政府は機能するCOGESモデルを全国に普及させるため、わが国にその技術協力を要請し、学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2（Le Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École phase II）（以下、「本プロジェクト」と記す）を2014年5月から開始した。</p>	

1-2 協力内容

本プロジェクトは、ブルキナファソ全国の小学校に COGES を設置し、その運営能力の強化、持続的モニタリング支援体制の確立を行うほか、コミュニティ参画を通じた学習成果向上のための活動や学校補助金等のリソース運営管理に係る事例を提示するものである。住民参加型の学校運営改善を図り、もって初等教育へのアクセスと質の改善に寄与することを目的とする。

(1) スーパーゴール

初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。

(2) 上位目標

全国の小学校において参加型学校運営が改善される。

(3) プロジェクト目標

全国の小学校において COGES が機能する。

(4) 成果

成果 1： COGES が全国で設置され、関係者の能力が強化される。

成果 2： COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される。

成果 3： コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。

成果 4： COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。

(5) 投入（評価時点）

1) 日本側総投入額：3 億 7,000 万円

長期専門家派遣：3 名

（チーフアドバイザー/学校運営、業務調整/研修計画、業務調整/モニタリング）

短期専門家派遣：2 名（チーフアドバイザー、視聴覚教材作成）

機材供与：4,986 万 200 FCFA（約 900 万円）

ローカルコスト負担：5 億 7,761 万 1,209 FCFA（約 1 億 800 万円）

研修員受入 教育財政と運営、参加型及び地方分権学校管理（本邦研修）：9 名

みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナー（ニジュール）：13 名

2) ブルキナファソ側

カウンターパート（Counterpart：C/P）配置：26 名（ナショナルトレーナー、州フォーカルポイント）

土地・施設提供：プロジェクト事務所・設備

ローカルコスト負担：14 億 298 万 5,710FCFA（2 億 6,200 万円）

2. 評価調査団の概要

日本側調査者	担当分野	氏名	所属
	総括	國枝 信宏	JICA 国際協力専門員（教育）
	協力企画	丸山 隆央	JICA 人間開発部基礎教育第二チーム

	評価分析	大前 正也	株式会社サクセス・プロジェクト・マネジメン ト・オフィス
ブルキナファソ 側評価者	氏 名		所 属
	LALLOGO Edouard Fourune		MENA 研究計画局 (Direction générale des Études et des Statistiques Sectorielles : DGESS)
	KONFE TASSENBEDO Fatimata		プロジェクト、ナショナル・コーディネーター
評価期間	2017年1月8日～2017年1月27日	評価種類	終了時評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

(1) 投入・活動実績

プロジェクト活動は、いくつかの活動が政治社会的な混乱により遅延したが、全般的に計画に沿って円滑に実施された。終了時評価調査時点では、成果1 (COGES の設置及び関係者の能力強化)、成果2 (COGES のモニタリング・支援強化) にかかる活動がほぼ完了しているが、いくつかの指標達成のために更なる努力を必要としている。成果1及び成果2の達成状況により、活動の中心は成果3 (学習効果の実証・共有)、成果4 (リソース運営管理強化) に移行している。

(2) 成果の達成状況

プロジェクト目標達成のために計画された活動の多くは実施されており、以下のとおり成果は発現している。

成果1: COGES が全国で設置され、関係者の能力が強化される。

成果1については、部分的に達成された。

指標1-1: 全国の80%以上の学校に民主選挙により COGES が設立される。

COGES は全国の小学校の83.4%に、民主選挙により設立された。したがって、指標1-1は達成された。

指標1-2: 75%以上の COGES から学校活動計画と、年間総括表が回収される。

2015/2016年度の年次総括表回収率は、回収を担う視学官がボイコットを実施中の条件下においても、前年度の59.5%から68.8%に改善されている。指標1-2の達成には、年次計画と年次総括表のデータ収集能力の向上が必要である。

成果2: COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される。

成果2については、ほぼ達成された。

指標2-1: 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される。

以下の省令 (2014年5月31日)、政令 (2016年5月31日) 発布済みのため、達成済み。

- ・省令: No 2014-0082/MENA/DRH 地方分権化学校運営調整課 (Service de la coordination de la gestion décentralisée des écoles : SCGDE) の設置・人員配置に係る省令
- ・政令: No 2016-435/PRES/PM/MENA MENA 内、公教育総局 (Direction générale de l'Éducation formelle : DGEF) 内に SCGDE を配置

指標 2-2 : 75%以上の COGES が視学官事務所 (Circonscription d'Éducation de Base : CEB) により少なくとも年 2 回モニタリングされる。

指標 2-2 は達成されていない。COGES の定期モニタリングを確実に実施するため、MENA により CEB に適切なタイミングで十分なガソリン代支給がなされる必要がある。

- ・MENA の「新学期通達 (2015 年)」より、学校巡回指導時における CEB による COGES 活動モニタリングが公式に義務化されたことで今後も継続的に行われる可能性が高い。
- ・2015/2016 年度は、CEB による年間モニタリング頻度は 1.1 回であり、2 回以上実施は 381 の CEB のうち、47 カ所 (12.33%) であった。2016 年初めの視学官のボイコットが影響した。

指標 2-3 : パイロットサイトの 75%以上のコミュニン COGES 連絡協議会 (Coordination Communale des COGES : CCC) が年 2 回の総会を開催する。

指標 2-3 については、達成されていない。

- ・2015/2016 年度に年 2 回の CCC 総会を開催したサイトは 15 カ所中 10 カ所 (67%) である。第 2 回総会の時期に対象地域で発生した大雨による被害で計画されていた 5 カ所の CCC の総会が延期となったことが影響。新学期の開催を予定していたが、新学期の時期に発生した行政官のボイコットの影響で開催が延期されたままとなっている。
- ・各 CCC が定期的に総会を実施することにより指標 2-3 の達成が見込まれる。雨期の 8 月の悪天候や視学官のボイコット、並びに関係者の意欲の欠如などが、当該総会の開催を妨げてはならない。適切な計画のみでなく、さまざまな関係者の CCC に対する高いオーナーシップが必要である。

指標 2-4 : 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される。

州レベルの COGES モニタリングのための地域的会合は、2015 年から継続的に実施されている。これらの会合では、前年度のモニタリング結果の共有、新年度用のモニタリング・シートの配付及び現場のモニタリング経験のグッドプラクティスの共有などを行っている。したがって、指標 2-4 は達成されている。2017 年の州レベルのモニタリングは 2017 年 5 月か 6 月に実施予定であり、経費は DGEF 予算として請求済みである。

指標 2-5 : CCC のモデルが構築、評価、承認される。

指標 2-5 は以下の活動により達成されている。しかしながら、COGES 間の参加者数のばらつきへの対応、視学官のボイコットの際の対応策などの理由から、CCC モデルの改善が必要である。

- ・2016 年 2 月の CCC モデル安定化ワークショップで、フェーズ 2 で実施した同モデルが承認された。
- ・一部の大都市における特別地域を除く全国において MENA 予算による普及が実施中である。
- ・一部の大都市における特別地域のモデルについては、2016 年 11 月にワークショップを通してモデル改定・承認済みである。
- ・2016 年 2 月の CCC モデル安定化ワークショップにおいて議長を、不在がちの市長から市役所事務次官に変更したことで、連絡協議会の会合が開催され、活動計画が

策定・実施されるようになってきている。

- ・2013年3月27日公布の「COGES/CCCに係る MENA-地方分権分散化省（Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité Intérieure : MATDSI）合同省令」の改定作業を、2017年に予定している。この改定作業により、CCCモデルの具体的な設置方法や役割、活動内容の詳細について規定し、CCCモデルが正式に「承認される」という指標を達成することとなる。

成果3：コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。

成果3については、部分的に達成された。

指標3-1：パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される。

指標3-1は継続的な努力により達成される。

- ・初等教育レベルの学校での学習の質について、低学年の留年率・退学率の減少、補習実施校の学業成績の向上、学習困難児を対象とした補習の実施効果等、COGESの活動のポジティブなインパクトについて、教員並びに父母により指摘されている。
- ・本プロジェクトは、家庭学習の質の向上と、それを学期末県共通試験結果に反映し、内部効率を高めるためのパイロット活動を、2017年に実施中である。

指標3-2：80%以上の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される。

指標3-2は達成されていない。したがって、継続的な努力が必要である。

- ・COGES はコミュニケーションの監督の下に置かれていることから、コミュニケーション関係者による COGES を通じた学習効果向上のための取り組みを促進するため、グッドプラクティスを取りまとめた視聴覚教材が作成された。
- ・作成された視聴覚教材は、CCCの総会における共有のため13州中8州のコミュニケーションに配付済みである。残りの5州については、2016/2017年度の年次総括総会時に共有予定である。
- ・2017年1月にパイロット活動の経験共有ワークショップをパイロット活動対象3県において実施しており、経験の共有を進めている。
- ・2016/2017年度のCCCの総会においてグッドプラクティスを共有予定である。

成果4：COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。

指標4-1：80%以上の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される。

成果3と同様の状況である。

(3) プロジェクト目標の達成状況

【プロジェクト目標】 全国の小学校において COGES が機能する。

年次総括表を提出していない COGES の状況を確認することが困難であるので、COGES の活動実績に係る指標1は明確に測定できなかった。

また COGES の活動計画に対する予算執行率が低いために指標2も達成されていない。

指標 3 については、会計報告、総会の頻度については達成しているものの、事務局会議の頻度は達成しておらず、部分的な達成状況である。

したがって、プロジェクト目標は終了時評価調査時点では達成されていない。

指標 1：少なくとも 80%以上の COGES が学校活動計画を実施する。

2015/2016 年度の COGES 活動年次総括では、年次総括表を提出している COGES の 92%が学校活動計画を実施しているが、年次総括表の回収率が 69%であるから、指標 1 の全体的な傾向を確認できていない。年次総括表を提出していない COGES のすべてが学校活動計画を実施していないというシナリオでは、63.5%の COGES が当該計画を実施していることとなる。一方、これらの COGES が少なくとも 1 つでも活動を実施していれば計画実施率は上がることとなる。

指標 2：COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60%以上となる。

2015/2016 年度の予算執行率は 42.4%であり、目標値の 60%に達していないため、終了時評価時点で指標 2 は達成されていない。しかしながら、フェーズ 1 対象地域の COGES では、学校活動計画への予算執行率は 72%を示しており、今後、指標目標値の改善、達成が期待される。

指標 3：各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する。

2015/2016 年度の年間の COGES 当たり会計報告回数は 1.4 回、総会開催頻度は 2.2 回、事務局会議の開催頻度は 2.6 回であり、事務局会議の開催頻度は指標 3 の目標値に達していない。したがって、プロジェクト目標の指標 3 は、終了時評価調査時点では、部分的に達成されている。

(4) 上位目標の達成状況

【上位目標】 全国の小学校において参加型学校運営が改善される。

指標 1：就学児童数に見合った全国の小学校の教室数が確保される（1 教室当たりの生徒数が 50 名以下となる）。

1 教室当たりの平均生徒数は、2008/2009 年度の 54.2 名から 2015/2016 年度の 47.9 名に減少している。したがって指標 1 は達成されている。薫ぶき教室数は倍以上に増加しており、参加型学校運営の改善のインパクトがみられる。

指標 2：必要な学習時間が確保される（COGES が実施した補習・夜間学習時間数が平均 65 時間/年以上である）。

以下の理由により、終了時評価調査時点では達成されていない。

- ・ 2015/2016 年度の全国における年間補習平均時間は、COGES のみによる補習は 32 時間で、2014/2015 年度は、教員による補習を含めても 61 時間であった。
- ・ 2015/2016 年度のパイロット 3 県では、COGES による補習が 49 時間で、教員によるものが 74 時間であった。

(5) スーパーゴール達成の見込み

【スーパーゴール】 初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。

スーパーゴールは全国の就学率、中退率、修了率、初等教育修了資格（Certificat d'Études Primaires : CEP）合格率を用いて測定した。フェーズ 1 を含めたプロジェクト実施前の

2007/2008年度と現時点の2015/2016年度の比較からは、すべての指標で改善が確認された。教育指標の改善には多様な要因が考えられるが、聞き取り調査では、COGESによる活動の効果として、学校レベルにおいてこれらの教育指標の改善がみられることが多くの関係者から指摘された。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

ステークホルダーのニーズとの整合性

COGESの活動は、学校給食プログラム、学習の質の向上、収入創出活動等に活用されており、コミュニティのニーズに合致している。

国家政策の優先度との整合性

機能するCOGESの全国展開は、ブルキナファソのPDSEB（2012-2021）における重点事項として位置づけられている。また、わが国の対ブルキナファソ国別援助方針（2012年12月）及び事業展開計画（2016年4月）では、援助重点分野の1つとして、教育の質の向上への支援が位置づけられている。また2013年の第5回アフリカ開発会議（Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique : TICAD）においては、住民参加による教育開発の取り組みが表明されている。

手段の適切性

民主選挙でのメンバー選出、学校運営管理の研修の実施、COGESに投入される資源の管理の透明性の確保、継続的なモニタリング制度開発などの「機能するCOGES」実現のための重要な項目が、プロジェクト活動に含まれた。

パイロットサイトの選定の適切性

本プロジェクトでは、成果2に関し、フェーズ1においてCCCの試行を実施した州のなかから、学習成果の低い13コミュニティを対象とし、連絡協議会の枠組みの改善を行った。

また、成果3に関し、フェーズ1において機能するCOGESの設置された中央北部州、中央東州及び中央プラトー州のうち、他ドナーによる協力との重複及びプロジェクトの実施体制を考慮し、各1県を対象地域として選定した。

(2) 有効性：中程度

プロジェクト目標達成可能性

プロジェクト目標の実績を測る適切な指標は、終了時評価調査時点では得られなかった。プロジェクトでは必要な年次総括表の回収に努めているところ、この種のモニタリング活動が継続されることが期待される。

活動と成果の因果関係

プロジェクト目標と各成果の論理性は確保されている。成果1によるCOGES関係者の能力強化、成果2による持続的モニタリング支援システム、成果3による学習の質の向上、及び成果4によるCOGESのリソース運営管理システムの強化なしには、プロジェクト目標の達成は見込まれない。

有効性を促進、阻害した要因

プロジェクトはCOGESの活動を通して生徒の学びの質の向上を促進した。2015/2016年

の年次総括表によれば、COGES の活動の 83%が、学習の環境や学校施設よりも、学習の質の向上に直接貢献している。活動例としては、住民総会を通じた啓発活動、補習の実施、反復用問題集の購入、復習用黒板の設置、模試の実施などである。

(3) 効率性：比較的高い

成果発現に向けた活動と投入

- ・フェーズ 1 における経験、作成された教材、ガイドを改定し有効的に活用している。またフェーズ 1 から引き継いだ施設や機材を用いることにより、プロジェクトへの新たな投入を最小限に抑えた効率的なプロジェクト運営が実施されている。
- ・新しいモニタリング/報告システムを導入することにより、活動計画と年次総括表のデータの入力と計算をさらに効率的にした。またプロジェクトのナショナルチームとして活動してきた SCGDE が各 COGES の詳細状況について情報を得ることができるようになった。
- ・CEB のモニタリングシステムの活用が、効率よく機能する COGES のメカニズムを確実にする。これはコミュニケーションレベルでの介入及びオーナーシップ意識を向上させる。
- ・大半のナショナルチームとフォーカルポイントはプロジェクト開始当初から継続的に活動しており、それら C/P の員数と能力はプロジェクトを円滑に実施するのに十分であった。

他の日本の支援との連携

一連の無償資金協力や技術協力プロジェクトにより、小学校の教室、初等教育教員養成校を建設し、理数科の能力が強化された。この支援は、本プロジェクトの技術面の強化と並行して、基礎教育のハードコンポーネント強化に貢献した。また、みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加（2015 年 3 月、ニジェール）により、コートジボワール、ガーナ、マダガスカル、マリ、ニジェール及びセネガルの経験を共有した。

(4) インパクト：高い

上位目標とスーパーゴール達成の見込み

上位目標の指標である、1 教室当たりの平均生徒数は、2008/2009 年度の 54.2 名から 2015/2016 年度の 47.9 名に減少している。日干し煉瓦や藁ぶきの教室は、主としてコミュニケーションの自助努力により造られており、結果、教室の数もほぼ 2 倍に増えている。

またスーパーゴールについては、全国の就学率、中退率、修了率、CEP 合格率を用いて測定した。フェーズ 1 を含めたプロジェクト実施前の 2007/2008 年度と現時点の 2015/2016 年度の比較からは、すべての指標で改善が確認された。教育指標の改善には多様な要因が考えられるが、聞き取り調査では、COGES による活動の効果として、学校レベルにおいてこれらの教育指標の改善がみられることが多くの関係者から指摘された。

上位目標とプロジェクト目標の論理性

COGES は、全国のコミュニケーションレベルで、父兄、教員、その他学校をとりまく関係者による学校運営の改善を目的とするものであるため、プロジェクト目標が達成されれば、参加型学校運営の改善に資することは明確である。

プロジェクトによる MENA の政策制度への影響

- ・ MENA は分権化の一環として、給食管理と補助金の権限を COGES に移管したことを、PDSEB（2012-2021）の 2016 年報告にて明記した。
- ・ プロジェクトは CCC モデルをコミュニケーションレベルから普及し、その後全国普及を計画していたが、MENA は既に 2016 年の C/P 予算により CCC の全国普及を実施し始めている。これは教育のコミュニケーションレベルへの分権化を進めようとしている MENA のニーズに合致した結果である。プロジェクトは内部効率、CEP 試験結果及びコミュニケーションレベルでの教育促進の優位性について、パイロット活動を通して確認している。

プロジェクトによる COGES の技術面への影響

COGES の活動により、地域の人々と教員、その他学校をとりまく関係者の活動が、互いによく調整され、効果を上げると考えられる。具体的には、地域の人々の注視と支援により、教員の欠席が減ることや、コミュニケーションや MENA から受け取る資金・資材・情報がスムーズにかつ効率的に活用されることなどが挙げられる。

その他のインパクト

- ・ COGES に係る研修資料、CCC に係る研修資料及び視聴覚教材等は、関係者に賞賛され、有効に活用されている。
- ・ 識字率の低い村落地域の父母の教育に対する理解と認識が深まったことにより、子どもの学ぶ機会を増加し、生徒の学びやすい環境を生み出した。そのインパクトとして、留年・退学率の減少等、教育指標の内部効率の改善が期待される。
- ・ MENA だけでなく他の技術的、財政的支援を行うドナーによる COGES を通じたさまざまな取り組み（教育セクターのサービス・デリバリーや地方分権化、学校建設への住民参加など）が促された。
- ・ COGES の関係者間の協力と資源管理の透明性の確保は、地域のソーシャル・キャピタルの醸成に寄与していると推測される。資源管理の透明性確保や総会での情報共有などにより、教育関係者やコミュニケーションのメンバーの信頼関係が深まり、経費負担や学校活動への自発的な参加が促された。また、COGES の活動により人々が集まる機会が増え、特に社会活動の主要アクターではなかった女性の社会活動への参加が促された。
- ・ 比較的短期のプロジェクト期間にもかかわらず、アフリカ・ランプ・プロジェクト〔国連児童基金（UNICEF）の支援〕とのソーラーランプ・マニュアル作成支援、フランス開発庁（Agence Française de Développement : AFD）によるコミュニティ参加型学校建設における学校建設マニュアルの作成支援、エボラ出血熱の情報提供といった COGES を通じた多くの活動が実施されている。他方、2014 年の政変により、COGES の設置プロセスが当初計画から遅れることとなった。

(5) 持続性：中程度

コミュニケーションレベルでのモニタリングシステムや CCC が計画どおりには機能していないので、COGES の持続性はまだ確保されているとはいえない。

政策面

- ・ MENA の組織改編によりプロジェクト活動に従事した人材の異動があり、モニタリング活動に負の影響が生じた。

- ・ COGES の設置については、「2008 年初等教育組織に関する法令第 2008-236 号」において、コミューンの公式組織として規定されている。

組織面

- ・ 2014 年 7 月 2 日付で「SCGDE の設置に関する省令」が公布され、8 名の職員による SCGDE が COGES の普及促進部署として省内に設置されている。これによりプロジェクトのナショナルチームとして活動してきた SCGDE の組織的な持続性は強化された。
- ・ 本プロジェクトは MENA 内の他部署や援助機関とのセミナーやワークショップなどのプログラムにより、COGES の適用を促進してきた。これらのプログラムによる財政的な援助を含む支援により COGES の機能は強化されてきており、COGES の組織的な持続性はさらに強化されると考えられる。
- ・ SCGDE のプロジェクト終了後の業務内容の明確化が必要である。給食管理、学校施設管理、補助金管理、収入創出活動については、それぞれを担当する局が COGES を活用し、業務を実施していくこととなるが、モニタリング業務以外の業務での責任を明確にする必要がある。
- ・ 教員及び視学官の養成課程及び現職研修に、COGES に関する講義を導入し、全教員・全視学官が COGES アプローチを理解する実施体制とし、持続性を確保している。

財政面

- ・ SCGDE の人員については、プロジェクト開始当初は 3 名であったが、その後 8 名が随時増員されている（その後 2 名は定年退職、異動）。予算についても、2015 年には当該課の建物の改築が行われ、さらに CEB レベルでの COGES モニタリング運営費も引き続き確保されている。
- ・ COGES による学校給食管理に係る補助金については、MENA による予算措置が続くであろう。

技術面

- ・ ナショナルチームの多くは COGES 設置に係る研修を実施する能力を十分に有しており、多くの研修参加者は満足していると評価している。
- ・ COGES を設置する技術内容：COGES の事務局を設置する際には、色紙等を用いて字が書けないコミュニティメンバーも参加可能な方法で民主選挙を行っている。COGES の活動計画立案の際には視聴覚教材を使いながら、ある程度モデル化された方法で、高度なファシリテーション技術を要せずに学習の質向上に資する活動が計画されるような手法を取っている。
- ・ モニタリングをする技術：学区事務所の視学官は、COGES の機能度を測るためのツールを用い、機能度に応じた支援を行っている。MENA による COGES のモニタリングに係る定期的な会合を通して常に技術支援も行われる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

プロジェクト活動と国家政策との調和

プロジェクトのアプローチと活動は MENA の国家政策と調和している。MENA 内の他部署や援助機関はプロジェクトにより設置された COGES の価値を認識している。プロジェクト成果の可視化、研修やセミナーの機会を用いた情報の共有により、COGES の普及の妥当性を認識されている。その結果、活動予算を含む多くの支援が COGES の活動に分配されることで、COGES 機能がさらに強化されるといった好循環が生じている。

COGES の活動実施による、学習の質の向上への注力

プロジェクトは、住民、特に父母からの高いニーズのある教育方法と学習方法の向上に直接的に寄与する活動を COGES の活動に優先的に取り入れている。その結果、COGES の活動は学校環境改善のためのインフラ整備から、学習の質向上に寄与する活動に移行しつつある。また、児童の学習向上の成果を住民に共有することにより、COGES への住民参加が促進されている。これらの経験から、「3-6 提言」に述べるように、COGES の概念はコミュニケーションに理解され、受け入れられている。

ブルキナファソ側 C/P の主体的取り組み

プロジェクトは計画当初よりコストシェアによる実施が計画されており、現時点では活動経費の70%がブルキナファソ側の財政負担により実施されている。またすべての COGES 普及研修はナショナルチームにより支援され、モニタリングされており、問題解決にも教員組合と主体的に協議し、主体的な取り組みを行っていることが、プロジェクトの円滑な実施の貢献要因となっている。

長期専門家の配置

ブルキナファソ側予算の遅配、視学官や教員によるボイコット、政治的混乱などが起こるなか、プロジェクト目標の達成が見込めるのは、長期専門家が常駐したことが高く評価できる。このような困難な状況に陥った場合にも、臨機応変に解決策を C/P とともに考え、対応した。短期派遣の専門家のみによる活動では対応はできなかったと思われる。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

特になし。

(2) 実施プロセスに関すること

視学官のボイコット

2016年に視学官が日当金額、待遇への不満により活動ボイコットを実施したため、関連の管理分野及び教育分野の活動は中断された。この状況は、COGES 及び CCC モデルのモニタリング、データの回収にネガティブなインパクトである。

研修の未受講の関係者（校長、視学官）

研修を受講していない関係者は、適切なプロセスに沿った COGES 運営の実施に困難を感じている。特に校長は事務局長として住民総会の実施、年次活動計画、年次総括表作成等、重要な役割がある。MENA によるこれらの対象者に対する研修実施体制の構築が望まれる。

3-5 結論

小学校における機能する COGES の全国展開が MENA により実施された。プロジェクト活動によって MENA の機能は強化されている。プロジェクトは、就学率などの教育関連指標の向上をめざす上位目標達成に貢献している。

終了時評価時点では、プロジェクト目標は、ステークホルダーのニーズ、ブルキナファソ・日本国側双方の政府方針に合致しているといえる。本プロジェクト終了時評価調査結果は、以下のとおり要約できる。

- ・機能する COGES の全国展開は PDSEB（2012-2021）において重点的取り組みと位置づけられており、妥当性は高い。
- ・社会的、政治的な混乱によりプロジェクト活動に遅延があり、プロジェクト目標を完全に達成していないので、有効性は中程度である。
- ・プロジェクトの効率性については、比較的高いと評価できる。投入の量、質及びタイミングは比較的適切であった。
- ・プロジェクトのインパクトは高い。さらに詳細なインパクト調査が必要であるが、COGES の活動の上位目標及びスーパーゴールへの影響が確認できた。
- ・最後に、持続性は中程度と評価した。政策的、財政的な持続性については確認できたが、COGES の活動の継続性を確保するためには、モニタリングシステムと CCC が強化されなければならない。

本評価結果から、COGES モニタリングの定着化、CCC モデルの最終化、COGES の活動の一環としての学習改善モデルの構築等のため、プロジェクト期間を 2017 年 12 月まで延長する必要がある。

3-6 提言

プロジェクトの実績を持続させるために、MENA 及びプロジェクトナショナルチームに対して以下のとおり提言する。

(1) 全国の COGES 関係者の持続的な能力強化

COGES モデルの全国普及を終えた次の段階として、新任または関連研修未受講の教育行政官及び校長、新設または委員改選後の委員会関係者に対する適時かつ継続的な能力強化が必要。

(2) COGES モニタリングの定着化

提言 (1) に関連し、COGES の機能強化を継続的に図るうえで、モニタリング体制の定着が必要。

(3) CCC モデルの最終化

住民主導の COGES と異なり、コミュニケーション及び教育行政主導の CCC においては、COGES は受益者として参加している意識が強く、また、CCC の機能はコミュニケーションや教育行政の動向に左右されるという課題が確認された。現段階での CCC モデルの全国普及は時期尚早であり、今後も現 CCC モデルの経験を蓄積し、必要な改善点を見極め、プロジェクト終了までにモデルの最終化を行うことが重要。

(4) COGES 事務局の定期的な再選の徹底

機能する COGES の前提条件である運営の透明性を確保し、委員会機能の活性化を図るため、満期を迎えた事務局メンバーの改選を MENA として継続して促進していく必要がある。設立時期により州ごとに改選時期が異なるので、将来的には国全体の委員会役員改選を同時期に行うなど、国全体の取り組みとしてキャンペーンを行いやすい形で調整し、改選を徹底する。

(5) COGES の活動の一環としての学習改善モデルの構築

2016/17 学校年度のパイロット活動は低学年のみを対象にしていることから、プロジェクト期間中に低学年対象の取り組みに係る成果がまとめられることが期待される。また、プロジェクト終了後、本パイロット対象児童の学習状況をフォローしていくことで、低学年における学習改善が中学年における学習に与える影響を確認し、質の高い教育を COGES が後押しし、それに基づく展望を見出すことが望まれる。

(6) SCGDE と関連部署の連携・調整強化

COGES を活用した地方分権化の取り組みは、それぞれ管轄局が存在するとともに、省としてその方針を明確化しながら進めていく必要があり、プロジェクトによるイニシアティブに限定されることは望ましくない。

したがって、中間レビュー時の提言と同様、SCGDE が各種地方分権化に係る各種取り組みを担えるよう、専門局への昇格が理想的ではあるが、その早期実現が難しい場合、特に関連の深い局内への課の配置や、関係省や担当局間の連携・調整強化を行うべきである。

(7) プロジェクト延長期間を活用した総まとめ

プロジェクトの延長期間において、上記の提言のフォローのほか、2016/17 学校年度のモニタリング指標の収集・整理、全国経験共有セミナーの開催を行うべきである。

3-7 教訓

機能する COGES による広域的かつ分野横断的な課題解決

機能する COGES が全国普及を達成した後、そのネットワークを活用してできることは多岐にわたる。COGES は教育行政の一組織に位置づけられるが、学校と地域住民の間の信頼関係を基に、教育セクターを越え、地域社会の抱えるさまざまな課題の解決に貢献し得る。

ブルキナファソにおいては、COGES のネットワークを活用したエボラ出血熱に関する住民啓発が行われた。中央講師による 4 州の地方教育行政官に対する講師研修により、COGES を通じて約 67 万人の地域住民に対する啓発につながった。そのほか、学校給食や教室建設の管理など、他ドナーとの連携による、COGES に依拠した取り組みも進みつつある。

住民参加による教育開発は、上記のとおりマルチセクトラルなアプローチとなり得ることから、その点に留意してプロジェクト計画策定、運営管理を行うことで、開発効果を高め、かつ広げることに寄与するといえる。

第1章 評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ブルキナファソにおいては、初等教育の総就学率は86.9%（UNESCO、2013年）と大幅に改善した一方で、最終学年残存率は69.1%（UNESCO、2012）と依然として教育の質に大きな課題を抱えている。仏語圏を対象として実施されている学力調査（Programme d'Analyse des Systèmes Éducatif de la Confemen : PASEC）の同国（5年生テスト）結果の経年比較では、フランス語及び算数において40%以上の正解率を得た生徒の割合は、1995～1996年の60%から2006～2007年の34.8%と著しく悪化している（世界銀行、2010）。この学習成果の低下の背景として、教員・教室不足など学校環境が劣悪な地域の子どもたちや子どもの教育に対する保護者の関心・支援が低い子どもたちが就学するようになったことが考えられる（世銀 2010、PASEC）。このような状況を踏まえ、教員数の不足や教室の過密状態の改善とともに地域・家庭への働きかけが必要とされている。

ブルキナファソ政府は2007年の新教育基本方針の制定により教育制度の改革に着手し、地方分権化・地方への権限移譲を推進している。具体的には地方自治体へ学校運営に関する権限を委譲しようとしているが、これと併せて各学校に住民参加による学校運営委員会（Comité de Gestion d'École : COGES）を設置し、学校レベルの運営管理を行うとともに、学習成果や教員の行動等を監視する責任をもたせることを推進している。

JICAは2009年より機能するCOGESモデルを形成するため、COGES支援プロジェクトフェーズ1によりパイロット4州においてCOGESの設置及び能力強化を支援した。パイロット4州の99%の学校で住民参加によるCOGESが設立されるとともに、95%の学校において学校活動計画を策定し、活動を実施するに至った。ブルキナファソ政府はプロジェクトにより策定されたモデルを全国普及のモデルとして正式に位置づける省令を發布し、また基礎教育開発戦略プログラム（Plan Décennal de Développement de l'Éducation de Base : PDSEB）（2012-2021）においてもCOGESの全国・全小学校への設置が活動目標の1つとして掲げられた。かかる背景のもと、ブルキナファソ政府は機能するCOGESモデルを全国に普及させるため、わが国にその技術協力を要請し、学校運営委員会支援プロジェクトフェーズ2（Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Écoles phase II）（以下、「本プロジェクト」と記す）を2014年5月から開始した。

本終了時評価調査では、2015年1月の中間レビュー結果及び同レビュー後のプロジェクト活動を踏まえ、本プロジェクトのこれまでの投入・各活動の実績、PDMにおける各指標及び目標の達成見通し等に関し、情報収集・分析のうえ、その結果を基に5項目評価を行う。また、評価結果を踏まえ、プロジェクト終了までの課題及び活動計画等について協議し、評価結果と併せ、国民教育・識字省（Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation : MENA）と協議議事録にて合意する。

1-2 調査団の構成と調査期間

本プロジェクト、終了時評価調査メンバーは以下のとおり、ブルキナファソ・日本国側双方の合同評価調査メンバー構成とした。

表 1-1 ブルキナファソ側調査メンバー

氏 名	所 属
LALLOGO Edouard Fourune	MENA 研究計画局 (Direction générale des Études et des Statistiques Sectorielles : DGESS)
KONFE/TASSENBEDO Fatimata	プロジェクト、ナショナル・コーディネーター

表 1-2 日本側調査メンバー

担当分野	氏 名	所 属
総括	國枝 信宏	JICA 国際協力専門員 (教育)
協力企画	丸山 隆央	JICA 人間開発部基礎教育第二チーム
評価分析	大前 正也	株式会社サクセス・プロジェクト・マネジメント・オフィス

本プロジェクトの終了時評価調査は付属資料 1. のとおり、2017 年 1 月 8 日から 27 日の間、ブルキナファソにおいて実施された。

1-3 プロジェクトの概要

本プロジェクトは、ブルキナファソ全国の小学校に COGES を設置し、その運営能力の強化、持続的モニタリング支援体制の確立を行うほか、コミュニティ参画を通じた学習成果向上のための活動や学校補助金等のリソース運営管理に係る事例を提示するものである。住民参加型の学校運営改善を図り、もって初等教育へのアクセスと質の改善に寄与することを目的とする。

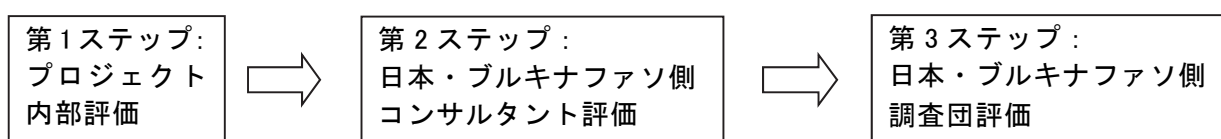
第2章 調査の方法

2-1 終了時評価調査のプロセス

本終了時評価調査は JICA のプロジェクト評価ガイドラインに準拠して以下の3点について実施した。主要項目は、2016年11月14日に改訂され承認された PDM (Project Design Matrix) ver.2 及び活動計画 (Plan of Operations : PO) ver.2 (付属資料7.、8.を参照)に基づいて評価した。

- (1) PDM の指標に基づいたプロジェクトの実績
- (2) 実施プロセス
- (3) 評価5項目による評価

本評価調査は、以下3つのステップにより実施した。



第1ステップでは、プロジェクトによる内部評価として、PDM 及び PO に沿った活動・成果・プロジェクト目標実績表、上位目標の達成見込み、専門家や機材・研修等の投入実績表が作成された。

第2ステップでは、日本・ブルキナファソ評価分析団員により、プロジェクト専門家をはじめとするプロジェクト関係者へのインタビューを実施し、その結果を基にプロジェクトの活動や成果等の評価及び分析を行った。

第3ステップでは、日本・ブルキナファソ調査団員による評価調査を実施した。第1ステップによる自己評価及び第2ステップによる評価分析結果を基に、評価5項目に沿って本プロジェクトのプロジェクト目標及び成果の達成状況を確認し、主に阻害要因に基づいた改善の方向性、提案等、提言の抽出を行った。その提言に基づき、具体的な軌道修正を行った。

2-2 データ収集方法

日本側の評価調査団は、PDM、PO、進捗報告書、プロジェクト関係者へのインタビュー、現地調査によりデータを収集した。

以下は、インタビューの対象者である。

- ・カウンターパート (Counterpart : C/P) 機関
- ・受益者
- ・日本人専門家
- ・JICA ブルキナファソ事務所

2-3 データ分析方法

- (1) プロジェクトの実績の検証

PDM 及び PO に基づき、投入は計画どおり実施されたか (計画との比較)、成果は計画どおり達成されるか (目標との比較)、プロジェクト目標は達成されるか (目標との比較)、上

位目標は達成の見込みがあるか（目標との比較）を検証した。

(2) 実施プロセスの検証

活動は計画どおりに実施されたか、プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか、相手国実施機関や C/P のプロジェクトに対する認識は高いか、プロジェクトの実施過程で生じる問題の要因や効果発現に影響を与えた要因は何か等を検証した。

各指標達成レベルを含む実績情報、活動進捗状況を含む実施プロセス、コミュニケーションの課題、及びブルキナファソ側のプロジェクトに対するオーナーシップのレベルについて検証を行い、成果、プロジェクト目標及び上位目標の実績と実施プロセスに係る情報を基に、評価チームによる議論を通して、以下の評価 5 項目基準によってプロジェクトの実績を評価した。

表 2-1 評価 5 項目

項目	説明
妥当性	開発援助と、ターゲットグループ・相手国・ドナーの優先度並びに政策・方針との整合性の度合い。
有効性	開発援助の目標の達成度合いを測る尺度
効率性	インプットに対するアウトプット（定性並びに定量的）を計測。開発援助が期待される結果を達成するために最もコストのかからない資源かを確認するため、通常、他のアプローチとの比較を行う。
インパクト	開発援助によって直接または間接的に、意図的または意図せずに生じる、正・負の変化。開発援助が、地域社会・経済・環境並びにその他の開発の指標にもたらす主要な影響や効果を含む。
持続性	ドナーによる支援が終了しても、開発援助による便益が継続するかを測る。開発援助は、環境面でも財政面でも持続可能でなければならない。

出所：「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」JICA 評価部（2010 年 6 月）p.23

5 項目は、下記のとおり 5 段階で評価した。

表 2-2 評価の 5 段階

1	2	3	4	5
低い	比較的低い	中程度	比較的高い	高い

2-4 プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）の改訂

2014 年 2 月 10 日に承認された PDM ver.1 は、プロジェクトの進捗を評価するための指標の数値目標等が明確に規定されていなかった。したがって中間レビュー調査において採用する指標を改訂し、合意した。さらに表 2-3 に示すとおり再度改訂され、2016 年 11 月 14 日に、JICA 事務所、プロジェクトメンバー及び関係者により承認された。これらの最終的な指標が終了時評価に用いられた。

表 2 - 3 PDM 指標の改訂履歴

	PDM ver.1	中間レビュー時、 改訂	2016年11月14日、 最終改訂
上位 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学校の就学者数（男女別） 2. COGES により設置された仮設教室数 3. 補習授業時間数 4. 夜間学習（家庭でのグループ学習を含む）時間数 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学校の就学者数（男女別） 2. COGES により設置された教室数 3. COGES により組織された補習授業時間数（60 時間 /COGES 以上） 4. COGES により組織された夜間学習時間数（15 時間 /COGES 以上） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就学児童数に見合った全国の小学校の教室数が確保される（1 教室当たりの生徒数が 50 名以下となる）。 2. 必要な学習時間が確保される（COGES が実施した補習・夜間学習時間数が平均 65 時間/年以上である）。
プロジ ェクト 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校活動計画の活動を実施した COGES の割合（%） 2. 民主的な選挙により設立された COGES の割合（%） 3. 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定した、COGES の割合（%） 4. 学校活動計画と、年間活動総括表の、回収率（%） 5. 参加型学校運営管理への、住民の参加度・財政的貢献度 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 80%の COGES が学校活動計画を実施する。 2. COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60% 以上となる。 3. 各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 少なくとも 80% 以上の COGES が学校活動計画を実施する。 2. COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60% 以上となる。 3. 各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する。
成果 1	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 民主的選挙で選出・設定された COGES の割合（%） 1.2 学校活動計画を策定し、年間総括表を策定した、COGES の割合（%） 1.3 学校活動計画と、年間総括表の回収率（%） 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 全国の学校の 80%に民主的選挙により COGES が設立される。 1.2 COGES の 75%から学校活動計画と、年間総括表が回収される。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 全国の 80%以上の学校に民主的選挙により COGES が設立される。 1.2 75%以上の COGES から学校活動計画と、年間総括表が回収される。
成果 2	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 地方分権化・分散化組織の学校運営管理担当部局・役割に係る、調査報告書 2.2 年当たりの、プロジェクトサイトでの、MENA によるモニタリング回数（年 XX 回） 2.3 年当たりの、プロジェクトサイトでの、コミュニケーション・COGES 調整会による、総会（AG）の開催回数（年 XX 回） 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される。 2.2 75%の COGES が視学官事務所（Circonscription d'Éducation de Base : CEB）により少なくとも 2 回/年モニタリングされる。 2.3 パイロットサイトの 75% のコミュニケーション COGES 連絡協議会（Coordination Communale des COGES : CCC）が年 3 回の総会を開催する。 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される。 2.2 75%以上の COGES が CEB により少なくとも 2 回/年モニタリングされる。 2.3 パイロットサイトの 75% 以上の CCC が年 2 回の総会を開催する。

	PDM ver.1	中間レビュー時、 改訂	2016年11月14日、 最終改訂
	<p>2.4 州レベル・県レベルでの、年当たり COGES・モニタリングに係る会合開催回数(最低・年 XX 回)。</p> <p>2.5 コミューン・COGES 調整会のモデル評価と結果集積(情報共有)に係るワークショップ開催実績</p> <p>2.6 MENA による、コミュニケーション・COGES 調整会を通じた COGES モニタリング・モデルに係る、検証・評価実績</p>	<p>2.4 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年1回以上開催される。</p> <p>2.5 CCC のモデルが構築、評価、承認される。</p>	<p>2.4 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年1回以上開催される。</p> <p>2.5 CCC のモデルが構築、評価、承認される。</p>
成果 3	<p>3.1 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況</p> <p>3.2 メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績</p>	<p>3.1 パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される。</p> <p>3.2 パイロットサイトで学習効果向上にかかるグッドプラクティスが集積される。</p> <p>3.3 80%の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される。</p>	<p>3.1 パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される。</p> <p>3.2 80%以上の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される。</p>
成果 4	<p>4.1 学校運営課題別・地域別グッドプラクティスの情報集積状況</p> <p>4.2 メディアとフォーラムにおけるグッドプラクティスの共有実績</p>	<p>4.1 リソース管理にかかるグッドプラクティスが集積される。</p> <p>4.2 80%の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される。</p>	<p>4.1 80%以上の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される。</p>

第3章 プロジェクトの実績

3-1 プロジェクト概要

プロジェクトは2016年11月14日に改訂されたPDM ver.2（付属資料7.参照）に沿って実施された。

(1) スーパーゴール

初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。

(2) 上位目標

全国の小学校において参加型学校運営が改善される。

(3) プロジェクト目標

全国の小学校においてCOGESが機能する。

(4) 成果

- ・成果1：COGESが全国で設置され、関係者の能力が強化される。
- ・成果2：COGESの持続的なモニタリング支援システムが強化される。
- ・成果3：コミュニティ参画を通じたCOGESによる学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。
- ・成果4：COGESのリソース運営管理システムが強化され、COGESの能力が強化される。

(5) プロジェクト協力期間

(R/D)：2014年4月1日から2017年4月31日まで（2017年12月20日まで延長）

(6) プロジェクト実施機関

実施機関：MENA

3-2 プロジェクトの実績

(1) 日本側投入実績

2014年2月のPDM ver.1で計画された日本側投入計画と実績の比較は表3-1のとおり。

表3-1 日本側投入

計画 (PDM ver.1)	実績
[日本人専門家] 1. チーフアドバイザー(短期専門家) 2. 副チーフアドバイザー/学校運営(長期専門家) 3. 研修管理/業務調整(1年目)、学習の質改善/業務調整(2年目)(長期専門家) 4. COGES能力強化/業務調整(長期専門家) -短期専門家(必要に応じ)	[日本人専門家](付属資料3.ミニッツのAnnex 1-1参照) 以下の超短期専門家が派遣された。 長期専門家 1. チーフアドバイザー/学校運営 2. 業務調整/研修計画 3. 業務調整/COGESモニタリング 短期専門家 1. チーフアドバイザー(2015年4月まで) 2. 視聴覚教材作成 日本人専門家はほぼ計画どおりに派遣されたが、プロジェクト1年目には副チーフアドバイザーが派遣されなかった。

計画 (PDM ver.1)	実績																				
[機材供与] 1. 車両 2. 必要に応じて	[機材] (付属資料 3. ミニッツの Annex 1-2 参照) 車両、コピー機、パーソナルコンピュータの 3 種の機材が供与された。総額は、4,986 万 200 FCFA である。																				
[在外事業強化費] 1. ワークショップ・セミナー等実施費用 2. ベースライン調査・エンドライン調査実施費用 3. パイロット活動費	[在外事業強化費] 在外事業強化費として、5 億 7,761 万 1,209 FCFA (約 1 億 800 万円) ¹ を人件費、運営経費、機材費、旅費、会議費などとして支出した。プロジェクト開始時の討議議事録 (R/D) 締結の際に合意された計画金額の 95% に達している。 <div style="text-align: center;"> 表 3-2 在外事業強化費支出実績 </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R/D</th> <th>実績</th> <th>支出率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>259,670,000</td> <td>126,067,295</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>226,720,000</td> <td>310,462,595</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>140,920,000</td> <td>141,081,319</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627,310,000</td> <td>577,611,209</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> 出所：プロジェクト報告		R/D	実績	支出率 (%)	2014	259,670,000	126,067,295	49	2015	226,720,000	310,462,595	137	2016	140,920,000	141,081,319	100	合計	627,310,000	577,611,209	95
	R/D	実績	支出率 (%)																		
2014	259,670,000	126,067,295	49																		
2015	226,720,000	310,462,595	137																		
2016	140,920,000	141,081,319	100																		
合計	627,310,000	577,611,209	95																		
[C/P 本邦及び第三国研修]	[C/P 本邦及び第三国研修] (付属資料 3. ミニッツの Annex 1-4 参照) C/P は課題別研修に参加していたが、2016 年の当該研修は、英語のみの実施となり、参加ができなくなった。 本邦研修では研修員が帰国後の活動計画を作成するが、活動を実施するためには予算化が必要である。基本的には実施予算は相手国の予算であるが、研修で得た知識のみにより短期間で作成された活動計画に対して国家予算承認を取りつけることは難しく、MENA 側予算での実施は実質的に困難である。プロジェクト予算からの支出も、PDM 上の活動との調整が必要であり、業務量的にも難しい。このため C/P 研修で作成する「研修員の活動計画」のプロジェクトにおける位置づけと支援方法の明確化、例えば、実際に研修員が活動計画を実施するためにはプロジェクトとは別にフォローアップを検討する必要があると思われる。																				

(2) ブルキナファソ側投入実績

計画されたブルキナファソ側投入計画と実績の比較は表 3-3 のとおり。

表 3-3 ブルキナファソ側投入

計画 (PDM ver.1)	実績
[C/P 配置] 1. MENA -事務次官 -公教育総局 (DGEF) -COGES/DGEF 促進サービス 2. 州教育局 (DRENA)、県教育局 (DPENA)、CEB 及びディレクター	[C/P 配置] (付属資料 3. ミニッツの Annex 1-3 参照) 1. プロジェクトチーム (MENA) : 13 名 2. MENA フォーカルポイント : 13 名

¹ 換算レート 1 FCFA=0.18707 円 (2017 年 1 月 JICA レート)

計画 (PDM ver.1)	実績																				
[プロジェクト運営経費] 1. COGES 全国普及研修実施経費 2. 初年度 COGES モニタリング経費 (燃料) 3. 2 年目以降のモニタリング経費は通常モニタリング制度から支出 4. 運営経費 5. プロジェクト事務所及び関連経費	[プロジェクト運営経費] プロジェクト運営経費として 14 億 298 万 5,710FCFA (約 2 億 6,200 万円) ² が、ブルキナファソ側から人件費、運営費、機材費、旅費、会議費などの運営経費として支出された。討議議事録 (R/D) 締結の際に合意された計画金額の 136%に達している。予算支出は、2016 年 1 月から 6 月の間、遅延した。騒乱後の混乱期ではあったが、このような遅延は避けなければならない。CEB レベルのガソリン代の無配、遅配が活動実施を遅れさせた。したがって、次期予算年度からはタイムリーな支出強化のための予算制度改定が必要である。 表 3-4 プロジェクト運営経費支出実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R/D</th> <th>実績</th> <th>支出率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>583,013,493</td> <td>500,976,000</td> <td>85.9</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>901,437,024</td> <td>794,459,710</td> <td>88.1</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>44,938,324</td> <td>107,550,000</td> <td>239.3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,529,388,841</td> <td>1,402,985,710</td> <td>91.7</td> </tr> </tbody> </table> 出所：ブルキナファソ国民教育・識字省		R/D	実績	支出率 (%)	2014	583,013,493	500,976,000	85.9	2015	901,437,024	794,459,710	88.1	2016	44,938,324	107,550,000	239.3	合計	1,529,388,841	1,402,985,710	91.7
	R/D	実績	支出率 (%)																		
2014	583,013,493	500,976,000	85.9																		
2015	901,437,024	794,459,710	88.1																		
2016	44,938,324	107,550,000	239.3																		
合計	1,529,388,841	1,402,985,710	91.7																		

3-3 活動の実績

プロジェクト活動は、いくつかの活動が政治的な混乱により遅延したが、全般的に計画に沿って円滑に実施された。終了時評価調査時点では、成果 1 (COGES 設置能力の強化)、成果 2 (COGES のモニタリング・支援強化) にかかる活動がほぼ完了しているが、いくつかの指標達成のために更なる努力を必要としている。成果 1 及び成果 2 の達成状況により、活動の中心は成果 3 (学習効果の実証・共有)、成果 4 (リソース運営管理強化) に移行している。

プロジェクトは COGES を通じた MENA の戦略と必要性に応じて、追加的な活動を計画しているため、表 3-5 で「実施中」である項目については、さらに効率的な活動の実施が必要である。

表 3-5 活動進捗状況 (2014 年 5 月～2016 年 12 月)

活動	進捗
1-1 COGES 全国普及実施計画の作成	【実施済み】 ・全国普及計画ワークショップの実施 (2014 年 6 月) ・全国普及計画の予算計画作成支援の実施 (第 1 回: 2014 年、第 2 回 2015 年) ・MENA の 2015 年活動計画における全国普及予算の計上支援の実施 (2014 年 11 月～2015 年 1 月)
1-2 マニュアル複製とビデオ教材の現地語吹き替え	【実施済み】 ・COGES 参加型管理ガイドを複製 (16,400 冊) ・COGES 参加型管理ガイド要約集を複製 (14,800 冊) ・COGES 研修用ビデオ教材 (5 本) の現地語吹き替え (2014 年 10 月～2015 年 1 月)
1-3 全国普及開始にかかるナショナルトレーナー対象準備研修実施	【実施済み】 ・ナショナルトレーナー研修/再研修の実施 (第 1 回: 2014 年 8 月、第 2 回: 2015 年 3 月) ・ナショナルトレーナー事前打合せの実施 (第 1 回 2015 年 4 月、第 2 回 2015 年 12 月)

² 換算レート 1 FCFA=0.18707 円 (2017 年 1 月 JICA レート)

活 動	進 捗																																				
	<ul style="list-style-type: none"> ・新トレーナー及び初等教員養成校（École Nationale des Enseignants du Primaire : ENEP）の教員研修の実施（2014年12月） ・ナショナルトレーナー増員に係る省令作成支援（2015年1月） 																																				
1-4 全国普及開始にかかる情報共有セミナーの開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ2キックオフセレモニーにおいて、全国普及の開始、モデルに関する説明、普及プロセス、対象、期間等について情報共有・意見交換を実施。（2014年6月） ・全国普及展開開始セレモニーにおいて、全国普及の開始が宣言され、フェーズ1の経験を関係者で共有。 																																				
1-5 COGES 推進のためのマスメディアを通じた啓発活動の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COGES 全国普及の啓発用教材作成に係るマスメディア調査実施（2014年12月） ・COGES 全国普及の啓発用教材作成（2014年12月～2015年1月） <ul style="list-style-type: none"> - ラジオ教材（2分×7本） - テレビ教材（スポット啓発90秒×2本） - テレビ教材（5分×1本） ・COGES 全国普及のマスメディア啓発活動実施（2015年2月～10月） ・ラジオ番組「COGES 推進」の放送（2015年9月） ・COGES 並びに民主選挙推進に係る教材作成 <ul style="list-style-type: none"> - COGES アプローチのパンフレット作成（2014年11月） - 選挙ポスターの作成・配付（2015年10月） ・MENA 発刊雑誌 ARC における COGES の紹介（2015年9月） ・COGES 事務局改選に向けたラジオスポット制作並びに啓発活動の実施（2016年8～9月） 																																				
1-6 州 の 関 係 者（DRENA、DPENA、州知事、県知事、コミュニティ長対象）を対象としたCOGES設立に関する情報共有セミナーの実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10州における州・地方分権分散化機関の責任者対象研修を表3-6のとおり実施した。 <p>表3-6 10州における州・地方分権分散化機関の責任者対象研修実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">州知事/県知事</th> <th colspan="3">DRENA/DPENA</th> <th colspan="3">市長（郡知事）</th> <th colspan="3">APE/AME*</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>%</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>%</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>%</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>41</td> <td>87.2</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>102.2</td> <td>293</td> <td>278</td> <td>94.9</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>98.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>*APE/AME：保護者会/母親会 出所：プロジェクト報告</p>	州知事/県知事			DRENA/DPENA			市長（郡知事）			APE/AME*			計画	実績	%	計画	実績	%	計画	実績	%	計画	実績	%	47	41	87.2	45	46	102.2	293	278	94.9	62	61	98.4
州知事/県知事			DRENA/DPENA			市長（郡知事）			APE/AME*																												
計画	実績	%	計画	実績	%	計画	実績	%	計画	実績	%																										
47	41	87.2	45	46	102.2	293	278	94.9	62	61	98.4																										
1-7 州・県レベルのフォーカルポイント、視学官、コミュニティ教育担当者を対象とした民主的なCOGES設立に関する研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・州・県レベルのFP、行政官、コミュニティ教育担当者研修を表3-7のとおり実施した。 <p>表3-7 10州における行政官研修実績（名）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予定数</th> <th>参加数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,273</td> <td>1,228</td> <td>96.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>	予定数	参加数	%	1,273	1,228	96.5																														
予定数	参加数	%																																			
1,273	1,228	96.5																																			
1-8 校長を対象としたCOGES設立・参加型学校運営管理に関する	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COGES 設立・参加型学校運営管理に関する校長研修を表3-8のとおり実施した。 																																				

活 動	進 捗										
る研修の実施	<p style="text-align: center;">表 3-8 10 州における校長研修開催実績（名）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>小学校数</td> <td>育成数</td> <td>参加率</td> <td>セッション数</td> <td>会場数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,181</td> <td style="text-align: center;">9,434</td> <td style="text-align: center;">92.7%</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">183</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">出所：プロジェクト報告</p>	小学校数	育成数	参加率	セッション数	会場数	10,181	9,434	92.7%	25	183
小学校数	育成数	参加率	セッション数	会場数							
10,181	9,434	92.7%	25	183							
1-9 COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修の実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修を表 3-9 のとおり実施した。 <p style="text-align: center;">表 3-9 COGES 研修実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学校数</td> <td>COGES 数</td> <td>公立校の割合</td> <td>育成された COGES メンバー数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,231</td> <td style="text-align: center;">8,536</td> <td style="text-align: center;">83.4%</td> <td style="text-align: center;">44,539 名</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">出所：2014～2015 年度教育統計</p>	学校数	COGES 数	公立校の割合	育成された COGES メンバー数	10,231	8,536	83.4%	44,539 名		
学校数	COGES 数	公立校の割合	育成された COGES メンバー数								
10,231	8,536	83.4%	44,539 名								
1-10 各種研修のモニタリング実施	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ナショナルトレーナー研修/再研修（計 5 回）実施。 州・地方分権分散化機関の責任者対象研修実施。 州・県レベルのフォーカルポイント、行政官、コミュニティ教育担当者研修実施。 COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修実施。 各種研修における予算執行並びに証票書類回収作業実施。 										
1-11 情報共有セミナー開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> PDSEB 合同評価ミッション並びにテーマ別会合への定期的参加（2014 年 5 月～2016 年 4 月） ナショナルトレーナーによる優良 COGES/CCC 訪問 MENA/DGESS による COGES グッドプラクティス集作成ワークショップへの参加（2015 年 10 月、MENA/DGESS 主催） COGES/CCC モデルに関する MENA-地方分権分散化省（Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité Intérieure : MATDSI）上層部会合（2016 年 10 月） 										
1-12 全国展開中期段階で活動計画の評価と見直し	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表 3-10 のとおり活動計画の評価と見直しを実施した。 <p style="text-align: center;">表 3-10 全国展開中期段階での活動計画の評価と見直し</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>時 期</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014 年 11 月</td> <td>第 1 回普及の中間評価ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>2014 年 12 月</td> <td>第 1 回普及総括作業並びにワークショップ</td> </tr> <tr> <td>2015 年 6 月</td> <td>第 2 回全国普及中間評価ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>2016 年 3 月</td> <td>全国普及総括ワークショップ</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出所：プロジェクト報告</p>	時 期	内 容	2014 年 11 月	第 1 回普及の中間評価ワークショップ	2014 年 12 月	第 1 回普及総括作業並びにワークショップ	2015 年 6 月	第 2 回全国普及中間評価ワークショップ	2016 年 3 月	全国普及総括ワークショップ
時 期	内 容										
2014 年 11 月	第 1 回普及の中間評価ワークショップ										
2014 年 12 月	第 1 回普及総括作業並びにワークショップ										
2015 年 6 月	第 2 回全国普及中間評価ワークショップ										
2016 年 3 月	全国普及総括ワークショップ										
1-13 COGES 機能の持続性を確保するための関係者の能力強化	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> PDSEB 年次評価合同ミッションへの参加（2015 年 4 月、2016 年 5 月） MENA 中央関係者を対象とした COGES アプローチに係るセミナーの開催（2015 年 7 月） 教員養成校における COGES に関する公開講座（2015 年 5～6 月）（実績は 										

活 動	進 捗																												
	<p>表 3-11 のとおり)</p> <p>表 3-11 全国の7教員養成校における COGES に関する公開講座参加者数(名)</p> <table border="1" data-bbox="467 376 1407 535"> <thead> <tr> <th colspan="3">1 年生 (5 月 11~12 日)</th> <th colspan="3">2 年生 (6 月 3~4 日)</th> <th rowspan="2">講師数 (ENEP 講師)</th> </tr> <tr> <th>在籍数</th> <th>出席数</th> <th>出席率</th> <th>在籍数</th> <th>出席数</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,231</td> <td>5,205</td> <td>99.5%</td> <td>5,008</td> <td>4,755</td> <td>94.9%</td> <td>23 (9)</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MENA による全国の現職員研修を通じた COGES モニタリング研修 (2015 年 7~8 月) (実績は表 3-12 のとおり) <p>表 3-12 MENA 現職員研修において COGES モニタリング研修を受けた人数(名)</p> <table border="1" data-bbox="746 757 1134 840"> <thead> <tr> <th>IEPD</th> <th>CPI</th> <th>IP</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>837</td> <td>868</td> <td>2,556</td> <td>4,261</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的な COGES アクターの育成に係る教育指導・養成/現職研修総局 (DGFPIC) との協議 (2016 年 10 月) 	1 年生 (5 月 11~12 日)			2 年生 (6 月 3~4 日)			講師数 (ENEP 講師)	在籍数	出席数	出席率	在籍数	出席数	出席率	5,231	5,205	99.5%	5,008	4,755	94.9%	23 (9)	IEPD	CPI	IP	合計	837	868	2,556	4,261
1 年生 (5 月 11~12 日)			2 年生 (6 月 3~4 日)			講師数 (ENEP 講師)																							
在籍数	出席数	出席率	在籍数	出席数	出席率																								
5,231	5,205	99.5%	5,008	4,755	94.9%	23 (9)																							
IEPD	CPI	IP	合計																										
837	868	2,556	4,261																										
1-14 都市部における機能する COGES モデルの試行と提言	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市型 COGES の現状調査実施 (2016 年 5~6 月) ・ 都市型 COGES 現状調査結果共有ワークショップ開催 (2016 年 7 月) 																												
2-1 MENA において地方分権化学校運営を担う部署の役割についての提言	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MENA 内への地方分権化学校運営を担う部署の設置 (2014 年 6 月) ・ SCGDE の通常業務に係る協議 (第 4 回合同調整委員会、2016 年 8 月) ・ SCGDE の通常業務の提案と予算申請 (2016 年 9 月) 																												
2-2 MENA によるモニタリングシステムの改善とモニタリングにかかわる関係者の能力強化	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリングシステム改善ワークショップ開催 (2016 年 4 月) ・ 視学官による COGES モニタリング研修 (2016 年 5 月~6 月) の実施 (実績は表 3-13 のとおり) <p>表 3-13 全国 13 州の視学官による COGES 巡回指導改善研修実績</p> <table border="1" data-bbox="624 1559 1257 1641"> <thead> <tr> <th>CEB-FP 数 (名)</th> <th>参加者数 (名)</th> <th>育成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>553</td> <td>550</td> <td>99.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COGES 及び DGESS の年次総括表の公表 ・ 省内 COGES モニタリング担当職員の能力強化の実施 (2016 年 3 月~現在) 	CEB-FP 数 (名)	参加者数 (名)	育成率 (%)	553	550	99.5																						
CEB-FP 数 (名)	参加者数 (名)	育成率 (%)																											
553	550	99.5																											
2-3 フェーズ 1 対象地域における、CCC モデル現状評価	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニオンレベル COGES 連絡協議会の現状評価並びにモデル改善のためのワークショップ開催 (2014 年 9 月) ・ フェーズ 1 対象 CCC モデル現状評価の実施 (2015 年 11~12 月) 																												
2-4 フェーズ 1 対象地域を含む CCC	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェーズ 1 対象地域における CCC の現状評価並びにモデル改定ワークシ 																												

活 動	進 捗																														
試行地域における、経験共有の 会合実施	<p>ヨッブ開催（2014年9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ2対象地を含む全中央北州における CCC 経験共有ワークショップ開催（2016年4月）（実績は表3-14のとおり） <p style="text-align: center;">表3-14 中央北州3県における CCC 経験共有会への参加者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>DRENA/DPENA</th> <th>Commune</th> <th>CEB</th> <th>COGES</th> <th>Total/CCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bam</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>Namentenga</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>Sanmatenga</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td>3県合計</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">102</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>		DRENA/DPENA	Commune	CEB	COGES	Total/CCC	Bam	4	12	4	8	28	Namentenga	2	9	3	6	20	Sanmatenga	2	24	12	16	54	3県合計	8	45	19	30	102
	DRENA/DPENA	Commune	CEB	COGES	Total/CCC																										
Bam	4	12	4	8	28																										
Namentenga	2	9	3	6	20																										
Sanmatenga	2	24	12	16	54																										
3県合計	8	45	19	30	102																										
2-5 全国で開催される 州レベルの COGES モニタリ ング会合におけ る技術的支援	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COGES モニタリングのための州レベル会合開催（7州対象、2015年11月） ・州・県フォーカスポイント（Point Focal：FP）年次会合開催（7州対象、2015年11月） ・州レベルモニタリング会合開催（全13州対象、2016年5月～6月） 																														
2-6 対象地域におけ る CCC 改善モデ ルの試行並びに 評価ワークショ ップの開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CCC 改善モデルの試行 <ul style="list-style-type: none"> - 中央北州3県の15コミュニティにおける CCC アクター研修（2015年1月） - 対象15コミュニティにおける CCC の設置（2015年2月） - 対象15コミュニティにおける CCC 活動計画作成（2014年2月） - 対象15コミュニティにおける CCC 活動計画総会の開催（2014年3月） - 対象15コミュニティにおける CCC の評価（2015年10月～11月） - CCC 改善モデル評価（安定化）ワークショップの開催（2016年2月） 																														
2-7 対象地域におけ る CCC を通した COGES メンバー に対する能力強 化の試行	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CCC を通した COGES メンバーへの能力強化（2016年7～8月）（実績は表3-15のとおり） <p style="text-align: center;">表3-15 対象15コミュニティにおける CCC 総会を通した COGES メンバー研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>第1回総会</th> <th>第2回総会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">410名</td> <td style="text-align: center;">200名</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>	第1回総会	第2回総会	410名	200名																										
第1回総会	第2回総会																														
410名	200名																														
2-8 CCC モデルの最 終化	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CCC モデル安定化ワークショップ開催（2016年2月） ・CCC ガイド改定作業の実施（2016年3月） ・CCC モデルに関する MENA-MATDSI 上層部会合開催（2016年10月） ・ワガドゥグ・ボボデュラッソコミュニティの現状に合わせた CCC モデル改定ワークショップ開催（2016年11月） 																														
3-1 近隣地域及びブル キナファソにお ける COGES 活動を通した （コミュニティ 参加による）学	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加（2015年3月、ニジェール） ・プロジェクトによるベースライン調査の実施（2014年9～12月） ・2014年学習達成状況評価調査結果報告書認定ワークショップ（MENA/DGESS 主催）への参加（2015年5月） 																														

活 動	進 捗															
習成果の向上のための活動に関する情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 参加型学校運営を通じた教育の質改善に関する研究結果の共有と活用セミナーへの参加（2015年2月、JICAブルキナファソ事務所主催） 仏語圏アフリカ地域 合同国別研修「初等教育における住民参加型学校運営と学習の質の向上」への参加（2016年11月） 															
3-2 学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換会の開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連機関間連携に係る意見交換ワークショップ開催（2015年2月） MENA/EQAmE（質の高いチャイルドフレンドリースクール）との情報共有と意見交換の実施（2014年12月） EQAmE ガイド改訂への参加（2015年1月～11月） EQAmE 研修用モジュール作成ワークショップへの参加（2015年8月） JICA ブルキナファソ事務所主催「参加型学校運営を通じた教育の質改善に関する研究結果の共有と活用セミナー」への参加（2015年2月） 															
3-3 パイロット地域における COGES 活動を通じた学習の質向上に係る実証	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の質改善のための父母支援のためのコンセプト・マニュアル作成ワークショップの開催（2015年11月） 2016年度パイロット・プロジェクト「学習の質向上に係る実証」の実施（2016年2～7月）。当該パイロット・プロジェクトは以下のように、教員と父母の意識向上による学習の質の向上によって、具体的な成果を上げた。 <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの介入 <ol style="list-style-type: none"> ①学習改善のための父母支援のためのマニュアル作成：学歴を有しない父母等が、教育システムや生徒の学習成果等を理解できるように作成された。 ②学習改善のための教員研修：当該研修が、対象3県の985校を対象に教員研修を実施。 育成された教員による取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①教員による父母-教員会合の開催：パイロット活動により育成された教員により以下の会合が開催された。 <p style="text-align: center;">表 3-16 父母-教員会合結果</p> <table border="1" data-bbox="560 1384 1318 1507"> <thead> <tr> <th>COGES 当たりの年間開催回数</th> <th>年間合計回数</th> <th>参加者総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.3 回</td> <td>2,300 回</td> <td>133,709 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ②COGES 総会における啓発活動を通し、補修や模試を推進：1COGES 当たり通常の定期総会に加えて1.4回/年、年間合計1,223回啓発のための総会を開催し、累計79,099名が参加した。 教員、父母及びCOGESの取り組み <ul style="list-style-type: none"> 教員とCOGESによる補習が1校当たり年間で123時間実施された。 <p style="text-align: center;">表 3-17 教員及びCOGESによる補習</p> <table border="1" data-bbox="549 1850 1329 1973"> <thead> <tr> <th></th> <th>1校当たりの時間</th> <th>年間合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員による補習</td> <td>74 時間</td> <td>59,694 回</td> </tr> <tr> <td>COGESによる補習</td> <td>49 時間</td> <td>39,703 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>	COGES 当たりの年間開催回数	年間合計回数	参加者総計	2.3 回	2,300 回	133,709 名		1校当たりの時間	年間合計	教員による補習	74 時間	59,694 回	COGESによる補習	49 時間	39,703 回
COGES 当たりの年間開催回数	年間合計回数	参加者総計														
2.3 回	2,300 回	133,709 名														
	1校当たりの時間	年間合計														
教員による補習	74 時間	59,694 回														
COGESによる補習	49 時間	39,703 回														

活 動	進 捗																						
3-4 COGES 活動を通じた学習の質向上に関するグッドプラクティスの共有	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 活動を通じた学習の質向上に係る実証によるグッドプラクティスの共有 <ul style="list-style-type: none"> - COGES のグッドプラクティスに係るビデオ教材作成 (2016 年 7～9 月) - ビデオ教材を活用したグッドプラクティスの共有 (2016 年 9 月～現在) • その他の COGES 活動を通じた学習の質向上に関するグッドプラクティスの共有 • DGESS による COGES グッドプラクティス集作成への参加 (2015 年 10 月～2016 年 4 月) 																						
4-1 近隣地域及びブルキナファソにおける、COGES を通じた資源管理に関する情報収集	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> • MENA による学校給食の現況と展望調査 • 国連食糧農業機関 (Organization des Nations Unies pour l'alimentation et l'agriculture: FAO) 主催の学校給食に関する学校教育分析ツール (Approche Systémique pour le de Meilleurs Résultats Scolaires : SABER) 分析ワークショップへの参加 (2015 年 7 月) • COGES を通じた学校建設モニタリング・リハビリに係る調査 (2015 年 6～7 月) 																						
4-2 学校における資源管理を実施する関係者との COGES の役割についての意見交換	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES による学校施設建設モニタリング管理に係る意見交換の実施 (2015 年 6 月～現在) • COGES による学校給食運営に係る意見交換の実施 (2015 年 1 月～現在) <ul style="list-style-type: none"> - COGES のための給食運営管理に関するコンセプトづくり (2015 年 11 月) - PDSEB 課題別月例会合「質改善グループ」への参加 (2015 年 2 月～現在) - MENA/教育施設資機材調達局 (Direction de l'Allocation des Moyens spécifiques aux structures éducatives : DAMSE) との給食政策における協調に係る協議 (2016 年 7 月) • COGES による収入創出活動 (2015 年 6～7 月): パイロット・プロジェクトは国連児童基金 (UNICEF) と協働で、UNICEF の選択したサヘル州の 151 の対象 COGES のうち、75 の COGES に対して、収入創出活動を試みた。その結果、以下の回答が得られた。これらのアプローチは、DGEF と DAMSE への聞き取りでは高く評価されていた。このチャレンジは児童の教育環境の改善に貢献した。 <p style="text-align: center;">表 3-18 収入創出活動の裨益者数</p> <table border="1" data-bbox="485 1536 1398 1621"> <thead> <tr> <th>回答した COGES 数</th> <th>女性</th> <th>男性</th> <th>合計</th> <th>裨益者数平均/COGES</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64</td> <td>1,031</td> <td>659</td> <td>1,690</td> <td>26.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p> <p style="text-align: center;">表 3-19 収入創出活動で改善された COGES 率</p> <table border="1" data-bbox="644 1738 1235 1908"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>COGES 数</th> <th>率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>53</td> <td>82.8</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>11</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>	回答した COGES 数	女性	男性	合計	裨益者数平均/COGES	64	1,031	659	1,690	26.4%	回答	COGES 数	率 (%)	はい	53	82.8	いいえ	11	17.2	合 計	64	
回答した COGES 数	女性	男性	合計	裨益者数平均/COGES																			
64	1,031	659	1,690	26.4%																			
回答	COGES 数	率 (%)																					
はい	53	82.8																					
いいえ	11	17.2																					
合 計	64																						

活 動	進 捗												
	<p>表 3-20 収入創出活動による女子就学に対するポジティブインパクト率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>COGES 数</th> <th>率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>45</td> <td>71.4</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>18</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>63</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：プロジェクト報告</p>	回答	COGES 数	率 (%)	はい	45	71.4	いいえ	18	28.6	合 計	63	
回答	COGES 数	率 (%)											
はい	45	71.4											
いいえ	18	28.6											
合 計	63												
4-3 近隣地域との情報共有セミナー開催	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加（2015年3月、於：ニジェール） 												
4-4 資源管理の実施に係る COGES の役割の明確化と COGES メンバーの能力強化	<p>【実施済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COGES の財務管理に係る能力強化活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> - 全国 13 州における財務管理に係る COGES 研修の開催（2015年12月） 学校給食運営における COGES の役割の明確化と COGES メンバーの能力強化 <ul style="list-style-type: none"> - 2016年パイロット「COGES による給食運営管理」マニュアルの作成（2015年11月） - 2016年パイロット「COGES による給食運営管理」COGES 研修（2016年2月～3月） - 2016年パイロット「COGES による給食運営管理」活動総括（2016年7～10月） ・収入創出活動における COGES の役割の明確化と COGES メンバーの能力強化 <ul style="list-style-type: none"> - 研修モジュールの改訂ワークショップの開催（2015年8月） - サヘル州 75 校における収入創出活動（AGR）に係る COGES 研修（2015年9～10月） 												
4-5 COGES による学校レベルでの資源管理に係るグッドプラクティスの共有	<p>【実施中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COGES のグッドプラクティスに係るビデオ教材作成（2016年7～9月） ・COGES のグッドプラクティスに係るビデオ教材の配付 												

3-4 成果の達成状況

プロジェクト目標達成のために計画された活動の多くは実施されており、以下のとおり、成果は発現している。

成果 1：COGES が全国で設置され、関係者の能力が強化される。

指標 1-1：全国の 80%以上の学校に民主的選挙により COGES が設立される。

COGES は全国の小学校の 83.4%に、民主的選挙により設立された。したがって指標 1-1 は達成された。(3) Hauts-Bassins 州及び (6) Centre 州において COGES 設立率が低い要因は、MENA の方針により、COGES の設置は私立校には義務化されていないため、これらの 2 州における COGES 設置率は低くとどまっている。今後、教育の地方分権化が進むなかで、COGES の役割が大きくなってきた場合には、MENA が方針を見直す可能性もある。

表 3-21 設置された COGES 数と割合

州	学校数	COGES 数	設置率 (%)
(1) Boucle du Mouhoun	1,233	1,077	87.3
(2) Cascades	521	518	99.4
(3) Hauts-Bassins	1,297	891	68.7
(4) Sud-ouest	810	778	96.0
小計 (2014~2015 年度)	3,861	3,264	84.5
(1) Sahel	931	930	99.9
(2) Nord	1,207	1,138	94.3
(3) Est	1,182	1,129	95.5
(4) Centre-Ouest	1,220	1,100	90.2
(5) Centre-Sud	609	597	98.0
(6) Centre	1,221	378	31.0
小計 (2015~2016 年度)	6,370	5,272	82.8
総計	10,231	8,536	83.4

出所：プロジェクト報告

指標 1-2：75%以上の COGES から学校活動計画と、年間総括表が回収される。

2015/2016 年度の年次総括表回収率は、回収を担う視学官がボイコットを実施中の条件下においても、前年度の 59.5%から 68.8%に改善されている。またプロジェクトは年間総括表による報告と並行して、DGESS による教育統計調査に主な項目が正式に統合されるよう働きかけ、モニタリングに必要な情報を増やす努力を続けている。この試みは情報収集に貢献するものの、教育統計調査について、以下の点に注意を払わなければならない。

- ①時期と頻度の適切性
- ②データ収集方法
- ③視学官の分析への活用可能性

このようなアプローチによる年次計画と年次総括表のデータ収集能力が向上することにより、指標 1-2 は達成が期待される。

指標 1-2 の達成に大きく影響を与えた視学官のボイコットは、2016 年 9 月～12 月にかけて、全国に影響力をもつ視学官労働組合によって行われ、全国的な運動となったものの、年間総括表を 2016 年 9 月までに回収できた地域においては影響を受けず、それまでに回収できなかったそれ以外の地域では、未回収のままという状態となった。

表 3-22 COGES 年次総括表回収率 (2016 年 12 月現在)

州	データ COGES 数	2013/2014 年度		2014/2015 年度		2015/2016 年度	
		提出数	回収率 (%)	提出数	回収率 (%)	提出数	回収率 (%)
Plateau Central	780	718	92.1	552	70.8	621	79.6
Centre-Est	882	788	89.3	411	46.6	817	92.6
Centre-Nord	1,018	738	72.5	520	51.1	834	81.9

州	データ COGES 数	2013/2014 年度		2014/2015 年度		2015/2016 年度	
		提出数	回収率 (%)	提出数	回収率 (%)	提出数	回収率 (%)
Boucle du Mouhoun	1,077	*NMP	NMP	676	62.8	883	82.0
Cascades	518	NMP	NMP	149	28.8	449	86.7
Hauts-Bassins	891	NMP	NMP	634	71.2	628	70.5
Sud-Ouest	778	NMP	NMP	592	76.1	699	89.8
Sahel	930	NMP	NMP	NMP	NMP	528	56.8
Nord	1,138	NMP	NMP	NMP	NMP	910	80.0
Est	1,129	NMP	NMP	NMP	NMP	547	48.4
Centre Ouest	1,100	NMP	NMP	NMP	NMP	0	0.0
Centre Sud	597	NMP	NMP	NMP	NMP	519	86.9
Centre	378	NMP	NMP	NMP	NMP	278	73.5
合計	11,216	2,244	83.7	3,534	59.5	7,713	68.8

注：NMP：設置 COGES なし

出所：プロジェクト報告

成果 2：COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される。

指標 2-1：地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される。

指標 2-1 は以下の省令（2014 年 5 月 31 日）、政令（2016 年 5 月 31 日）発布済みのため、達成済みである。

- ・省令：No 2014-0082/MENA/DRH SCGDE の設置・人員配置に係る省令
- ・政令：No 2016-435/PRES/PM/MENA MENA 組織図内、公教育総局（Direction générale de l'Éducation formelle：DGEF）内に配置

指標 2-2：75%以上の COGES が CEB により少なくとも 2 回/年モニタリングされる。

指標 2-2 は達成されていない。COGES の定期モニタリングを確実に実施するために、タイムリーに十分なガソリン代を支給する努力が必要である。

- ・MENA の「新学期通達（2015 年）」により、学校巡回指導時における COGES 活動モニタリングが公式に義務化されたため、今後もモニタリングが継続的に実施される可能性が高い。
- ・2015/2016 年度は、CEB による年間モニタリング頻度は平均 1.1 回実施され、2 回以上実施したのは 381 の CEB のうち、47 の CEB であり 12.33%である。この結果には 2016 年初めの視学官のボイコットが影響した。

指標 2-3：パイロットサイトの 75%以上の CCC が年 2 回の総会を開催する。

指標 2-3 は達成されていない。

- ・2015/2016 年度に年 2 回の CCC 総会を開催したパイロットサイトは 67%である。第 2 回総会の時期に対象地域で発生した大雨による被害で計画されていた 5 つの CCC の総会が延期となったことが影響している。新学期の開催を予定していたが、新学期の時期に発生した視学官のボイコットの影響で開催が延期されたままとなっている。

- ・各 CCC が定期的に総会を実施することにより指標 2-3 の達成が見込まれる。雨期の 8 月の悪天候や視学官のボイコット、並びに関係者の意欲の欠如などが、当該総会の開催を妨げてはならない。適切な計画のみでなく、さまざまな関係者の CCC に対する高いオーナーシップが必要である。

表 3-23 パイロットサイトにおける CCC 総会開催数

	2014/2015 年度	CCC 総会実施率	2015/2016 年度	CCC 総会実施率
第 1 回総会	2015 年 2 月	15/15	2015 年 11 月・12 月	13/15
第 2 回総会	2015 年 7 月	15/15	2016 年 7 月	10/15
第 3 回総会	2015 年 9 月・10 月	15/15	2016 年 9 月	

注：2015/2016 年度の第 3 回総会のデータについては視学官のボイコットにより回収が遅れているが、2017 年 2 月までに回収予定

出所：プロジェクト報告

指標 2-4：州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される。

州レベルの COGES モニタリングのための地域的会合は、表 3-24 のとおり 2015 年から継続的に実施されている。これらの会合では、前年度のモニタリング結果の共有、新年度用のモニタリング・シートの配付及び現場のモニタリング経験のグッドプラクティスの共有などを行っている。したがって、指標 2-4 は達成されている。2017 年の州レベルのモニタリングは 2017 年 5 月から 6 月に実施予定であり、経費は DGEF 予算として要求済みである。

表 3-24 州レベルでの COGES モニタリング総会

実施時期	会合種別	経費支出者
2015 年 11 月	7 州による州レベル会合	MENA
2015 年 11 月	7 州及び県 FP による州レベル年次会合	JICA
2016 年 5 月・6 月	13 州の CEB-FP を対象とした全国モニタリング会合	MENA

出所：プロジェクト報告

指標 2-5：CCC のモデルが構築、評価、承認される。

指標 2-5 は以下の活動により達成されている。しかしながら、各 COGES 間の参加者数のばらつきへの対応、視学官のボイコットの際の対応策などの理由から、CCC モデルの質の向上が必要である。

- ・2016 年 2 月の CCC モデル安定化ワークショップで、フェーズ 2 で実施した CCC モデルが承認された。
- ・一部の大都市における特別地域を除く全国において、MENA 予算による普及が実施中である。
- ・一部の大都市における特別地域のモデルについては、2016 年 11 月にワークショップを通してモデル改定・承認済みである。
- ・2016 年 2 月の CCC モデル安定化ワークショップにおいて議長を、不在がちの市長から、市役所事務次官に変更したことで、CCC の会合が開催され、活動計画が策定・実施されるようになってきている。

- ・2013年3月27日公布の「COGES/CCCに係る MENA-MATDSI 合同省令」の改定作業を、2017年に予定している。
- ・これらの15のコミュニティの機能性の差は、主要関係者の異動により開催時期を逸してしまった場合や、総会開催時の天候により大雨で道が寸断されたなどの影響によるものと考えられる。

表3-25 CCCの機能性（2015/2016年度）

コミュニティ	COGES 数	参加 COGES 数・率			
		1回目	2回目	1回目 (%)	2回目 (%)
Dablo	20	-	12	-	60.0
Pensa	23	-	-	-	-
Nasséré	13	11	9	84.6	69.2
Guibaré	25	25	-	100.0	-
Zimtanga	21	21	21	100.0	100.0
Rollo	27	27	27	100.0	100.0
Mané	37	35	35	94.6	94.6
Korsimoro	55	55	22	100.0	40.0
Boussouma	74	70	-	94.6	-
Zéguédéguin	24	24	17	100.0	70.8
Yalgo	35	35	18	100.0	51.4
Boala	26	24	24	92.3	92.3
Pibaoré	24	-	15	-	62.5
Ziga	33	33	-	100.0	-
Pissila	55	50	-	90.9	-
15 communes	492	410	200	83.3	40.7

出所：プロジェクト報告

成果3：コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。

指標 3-1：パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される。

指標 3-1 は、継続的な努力により達成される。

- ・初等教育レベルの学校での学習の質について、低学年の留年率・退学率の減少、補習実施校の学業成績の向上、学習困難児を対象とした補習の実施効果など、COGES 活動のポジティブなインパクトについて、教員並びに父母により指摘されている。
- ・プロジェクトは、家庭学習の質の向上と、それを学期末県共通試験結果に反映し、内部効率を高めるためのパイロット活動を、2017年に実施中である。

表 3-26 補習の学期末県共通試験結果への効果
正答率 5 割以上の生徒の割合の比較

クラス	補習あり (%)	補習なし (%)	差 (%)
第 1 学年 (CP1)	67.20	54.90	12.30
第 2 学年 (CP2)	63.70	55.20	8.50
第 3 学年 (CE1)	46.80	42.30	4.50
第 4 学年 (CE2)	46.80	46.70	0.10
第 5 学年 (CM1)	38.60	39.60	- 1.00
第 6 学年 (CM2)	47.50	38.10	9.40

注：CP：初等教育準備過程 CE：初等教育初等課程 CM：初等教育中等課程
出所：プロジェクト報告

指標 3-2：80%以上の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される。

指標 3-2 は、終了時評価時点では達成されていない。したがって継続的な努力が必要である。

- ・ コミュニケーションのモチベーションを高め、活動にヒントを与えるために、グッドプラクティス共有視聴覚教材が作成された。
- ・ 作成された視聴覚教材は、CCC 総会における共有のため 13 州中 8 州のコミュニケーションに配付済である。残りの 5 州については、2016/2017 年度の年次総括総会時に共有予定である。
- ・ 2017 年 1 月にパイロット活動の経験共有ワークショップをパイロット活動対象 3 県において実施し、経験を共有予定である。
- ・ 2016/2017 年度の CCC 総会においてグッドプラクティスを共有予定である。

成果 4：COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。

指標 4-1：80%以上の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される。

成果 3 と同様の状況である。

3-5 プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：全国の小学校において COGES が機能する。

プロジェクト目標の指標については、年次総括表を提出していない COGES の状況を確認することが困難であるため、COGES 活動実績に係る指標 1 は明確に測定できなかった。

また COGES の予算執行率が低いために指標 2 も達成されていない。

指標 3 については、会計報告、総会の頻度については達成しているものの、事務局会議の頻度は達成しておらず、部分的な達成状況である。

したがって、プロジェクト目標は終了時評価調査時点では達成されていない。

指標 1：少なくとも 80%以上の COGES が学校活動計画を実施する。

2015/2016 年度の COGES 活動年次総括では、年次総括表を提出している COGES の 92%が学校活動計画を実施しているが、年次総括表の回収率が 69%であるから、指標 1 の全体的な傾向を確

認できていない。年次総括表を提出していない COGES のすべてが学校活動計画を実施していないというシナリオでは、63.5%の COGES が当該計画を実施していることとなる。一方、これらの COGES が少なくとも1つでも活動を実施していれば計画実施率は上がることとなる。

表3-27 COGES 活動を全く実施できなかった COGES の数 (2015/2016 年度)

州	データ	COGES 数	集計済み数	全く活動を実施できなかった COGES 数と割合 (%)	
				数	割合 (%)
Plateau Central		780	621	12	1.9
Centre-Est		882	817	33	4.0
Centre-Nord		1,018	834	35	4.2
Boucle du Mouhoun		1,077	883	95	10.8
Cascades		518	449	34	7.6
Hauts-Bassins		891	628	59	9.4
Sud-Ouest		778	699	93	13.3
Sahel		930	528	49	9.3
Nord		1,138	910	42	4.6
Est		1,129	547	44	8.0
Centre-Ouest		1,100			
Centre-Sud		597	519	56	10.8
Centre		378	278	37	13.3
合計		11,216	7,713	589	7.6

注：視学官のボイコットのため、Centre-Ouest から活動年次総括表は回収できなかった。

出所：プロジェクト報告

指標 2：COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60%以上となる。

2015/2016 年度の予算執行率は 42.4%であり、目標値の 60%に達していないため、終了時評価時点で指標 2 は達成されていない。しかしながら COGES 活動に長い経験のある地域の COGES では、学校活動計画への予算執行率は 72%を示しており、今後、指標目標値達成が期待される。

表3-28 予算動員率

COGES 活動予算計画額	COGES 活動予算執行額	予算動員率 (%)
2,297,744,384 FCFA	973,721,547 FCFA	42.4

出所：COGES 年次総括表

プロジェクト活動を通して、機能する COGES を実現するための教員、父母及びその他の関係者の意識向上など、指標としては設定されていなかったが、プロジェクト目標達成のための一連の質的な成果の発現があった。特に、教育の重要性について長い間認識されてこなかった地方の貧困地域において、この活動は実施された。具体的には以下のとおりである。

- ・教員の行動変容：授業の準備をよりするようになった/生徒への配慮が改善されたなど。
- ・父母の行動変容：以前よりも家庭学習に付き添うようになった/以前よりも生徒にきちんと食

- 事をとらせるようになった/以前よりも生徒を時間どおり学校に通わせるようになったなど。
- ・生徒の行動変容：欠席が減少した/宿題をやってくる生徒の割合が増加した/教室の生徒の態度が改善されたなど。

指標 3：各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する。

表 3-29 のとおり 2015/2016 年度の年間 COGES 当たり会計報告回数は 1.4 回、総会開催頻度は 2.2 回、事務局会議の開催頻度は 2.6 回であり、事務局会議の開催頻度は指標 3 の目標値に達していない。したがってプロジェクト目標の指標 3 は、終了時評価調査時点では、部分的に達成されているといえる。

表 3-29 会計報告、総会、事務局会議執行状況

県	COGES 数	事務局会議		総会		会計報告	
		開催数	開催数/ COGES 数	開催数	開催数/ COGES 数	報告数	報告数/ COGES 数
Boucle du Mouhoun	862	2,115	2.5	1,495	1.7	997	1.2
Cascades	370	888	2.4	739	2.0	510	1.4
Centre	271	722	2.7	647	2.4	285	1.1
Centre-Est	773	2,101	2.7	1,735	2.2	1,304	1.7
Centre-Nord	834	2,563	3.1	2,183	2.6	1,354	1.6
Centre-Sud	503	1,146	2.3	920	1.8	441	0.9
Est	526	1,398	2.7	1,367	2.6	785	1.5
Hauts-Bassins	615	1,351	2.2	1,067	1.7	755	1.2
Nord	806	2,241	2.8	1,982	2.5	1,200	1.5
Plateau Central	620	1,784	2.9	1,482	2.4	973	1.6
Sahel	528	1,403	2.7	1,209	2.3	687	1.3
Sud-Ouest	683	1,817	2.7	1,344	2.0	858	1.3
合計	7,391	19,529	2.6	16,170	2.2	10,149	1.4

出所：プロジェクト報告

3-6 上位目標達成の見込み

上位目標：全国の小学校において参加型学校運営が改善される。

指標 1：就学児童数に見合った全国の小学校の教室数が確保される（1 教室当たりの生徒数が 50 名以下となる）。

1 教室当たりの平均生徒数は、2008/2009 年度の 54.2 名から 2015/2016 年度の 47.9 名に減少している。したがって指標 1 は表 3-30 のとおり達成されている。日干し煉瓦や藁ぶきの教室は、主としてコミュニケーションの自助努力により造られており、結果、教室数もほぼ 2 倍に増えている。

表 3-30 教室タイプ別 1 教室当たりの生徒数

年度 教室タイプ	2008/2009 年度			2012/2013 年度			2015/2016 年度		
	公立	私立	全体	公立	私立	全体	公立	私立	全体
コンクリート	25,642	4,159	29,801	33,135	5,973	39,108	39,993	8,879	48,872
日干し煉瓦	1,116	1,640	2,756	1,633	2,453	4,086	2,242	3,377	5,619
藁ぶき	2,134	336	2,470	3,920	568	4,488	4,670	661	5,331
その他	54	48	102	22	5	27	100	16	116
合計	28,946	6,183	35,129	38,710	8,999	47,709	47,005	12,933	59,938
生徒数	1,635,036	271,243	1,906,279	2,059,856	406,523	2,466,379	2,314,070	558,979	2,873,049
生徒数/教室	56.5	43.9	54.2	53.3	45.2	51.8	49.2	43.2	47.9

出所：DGESS 統計データ

指標 2：必要な学習時間が確保される（COGES が実施した補習・夜間学習時間数が平均 65 時間/年以上である）。

指標 2 については、以下の理由により、終了時評価調査時点では達成されていない。

- ・ 2015/2016 年度の全国における年間補習平均時間は、COGES のみによる補習は 32 時間で、2014/2015 年度は、教員による補習を含めても 61 時間であった。
- ・ 2015/2016 年度のパイロット 3 県では、COGES による補習が 49 時間で、教員によるものが 74 時間であった。

学校運営能力の向上は、COGES による学習環境の改善だけでなく、教員や行政による学校運営への介入が必要不可欠であるため、特に指標に含まれる「学習時間の確保」については COGES の支援による「補習」だけでは不十分であり、学校が正常に機能するための措置が必要であると考えられる。

①MENA の支援による学校給食と、その技術的、財政的支援、②モニタリングと学校施設建設へのコミュニケーションの介入、③収入創出活動、④学習環境改善と学習効果向上など、学校運営システムの強化において、COGES は重要な役割を果たす。また、CCC 総会の場などで、コミュニケーションによる COGES/学校ニーズの把握、コミュニケーションからの情報提供が円滑に行われることによって校舎の建設、教科書、机、黒板などの必要な備品や給食食材の配付が適切に行われるなど、学校環境が改善される。また、CCC 総会での視学官によるコミュニケーションの教育状況の共有と、全関係者で課題の解決に向けた協議を行い、各アクター（コミュニケーション、視学官、学校、COGES）の課題解決のための役割を明確にすることにより、コミュニケーション全体として参加型学校運営が改善されていくこととなる。

3-7 スーパーゴール達成の見込み

スーパーゴール：初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。

スーパーゴールは全国の就学率、中退率、修了率、初等教育修了資格（Certificat d'Etudes Primaires：CEP）合格率を用いて測定した。フェーズ 1 を含めたプロジェクト実施前の 2007/2008 年度と現時点の 2015/2016 年度の比較では、すべての指標で改善が確認された。教育指標の改善に

は多様な要因が考えられるが、聞き取り調査では、COGES による活動の効果として、学校レベルにおいてこれらの教育指標の改善がみられることが、教員、父母など多くの関係者から指摘された。

表 3-31 教育指標

	就学率 (%)	入学率 (%)	修了率 ³ (%)	中退数	CEP 合格率 (%)
2007/2008	71.8	86.9	38.9	183,230	58.5
2008/2009	72.4	78.0	41.7	201,354	72.7
2009/2010	74.8	85.8	45.9	207,271	65.9
2010/2011	77.6	85.7	52.1	178,322	64.0
2011/2012	79.6	88.3	55.1	191,753	65.2
2012/2013	81.3	92.8	59.5	182,013	60.9
2013/2014	83.0	97.0	57.6	178,317	82.2
2014/2015	83.7	98.8	59.3	151,275	73.4
2015/2016	86.1	100.1	57.9	143,795	67.3

出所：教育統計 (DGESS)

3-8 実施プロセスの貢献要因

(1) プロジェクト活動と国家政策との整合性

プロジェクトのアプローチと活動は MENA の国家政策と整合している。MENA 内の他部署や援助機関はプロジェクトにより設置された COGES の役割を認識している。プロジェクト成果の可視化、研修やセミナーの機会を用いた情報の共有により、COGES の普及の妥当性は認識されている。一例としては、JICA 主催で 2015 年 2 月に開催された「参加型学校運営を通じた教育の質改善に関する研究結果の共有と活用セミナー」におけるプロジェクトの成果の発表である。その結果、活動予算を含む多くの支援が COGES の活動に配分されることで、COGES 機能がさらに強化されるという好循環が生じている。

(2) COGES 活動実施による、学習の質の向上への注力

プロジェクトは、住民、特に父母からの高いニーズのある教育方法と学習方法の向上に直接的に寄与する活動を COGES の活動に優先的に取り入れている。その結果、COGES の活動は学校環境改善のためのインフラ整備から、学習の質向上に寄与する活動に移行しつつある。また、児童の学習向上の成果をコミュニティと共有することにより、COGES への住民参加が促進されている。これらの経験から、「5-1 提言」に述べるように、COGES の概念はコミュニティに理解され、受け入れられている。

(3) ブルキナファソ側 C/P の主体的取り組み

プロジェクトは計画当初よりコストシェアによる実施が計画されており、現時点ではブルキナファソ側は活動経費の 70%を負担している。またすべての COGES 普及研修はナショナルチームが支援・モニタリングし、問題解決にも教員組合と協議し、主体的な取り組みを行

³ 修了率は 11 歳児人口と CM2 の登録人数から算出した。

っていることが、プロジェクトの円滑な実施の貢献要因となっている。このナショナルチームの存在が COGES モニタリングの持続性を保証する。

(4) 長期専門家の配置

ブルキナファソ側予算の遅配、視学官や教員によるボイコット、政治的混乱などが起こるなか、プロジェクト目標の達成が見込めるのは、長期専門家が常駐したことが高く評価できる。このような困難な状況に陥った場合にも、臨機応変に解決策を C/P とともに考え、対応した。短期派遣の専門家のみによる活動では対応はできなかつたと思われる。

3-9 実施プロセスの阻害要因

(1) 視学官のボイコット

2016年に視学官が日当金額、待遇への不満により活動ボイコットを実施したため、関連の管理分野及び教育分野の活動が中断された。この状況は、COGES 及び CCC のモニタリング、データの回収にネガティブなインパクトである。

(2) 研修の未受講の関係者（校長、視学官）

研修を受講していない関係者は、適切なプロセスに沿った COGES 運営の実施に困難を感じている。特に校長は事務局長として住民総会の実施、年次活動計画、年次総括表作成等、重要な役割がある。MENA によるこれらの対象者に対する研修実施体制の構築が望まれる。

第4章 評価結果

4-1 評価5項目による評価

評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）による評価結果は以下のとおりである。

(1) 妥当性：高い

1) ステークホルダーのニーズとの整合性

(+) プロジェクトの支援による COGES は MENA による学校給食プログラム、学習の質向上、収入創出活動等に活用されており、MENA の各部署のニーズに合致している。さらに COGES の活動は、コミュニンの合意のもと決定された年間計画に沿って実施されることから、COGES 活動と地域住民のニーズとの整合性は高いといえる。

2) 政策的優先度

(+) PDSEB（基礎教育戦略的開発計画 2012-2021）：プロジェクトにより設置された全国の COGES は、今後引き続き教育政策において活用される見込みである。MENA「教育10カ年計画」において COGES の全国普及は重要課題であり、民衆蜂起後の不安定な政治情勢のなかでも普及予算は確保され全国設置が進んできた。その流れのなかで MENA は、民主的で透明性のある COGES 運営の特徴を認識し、COGES による収入創出活動、給食食材管理、学校建設住民レベル実施管理、補助金の受け皿などの COGES の可能性に大きく期待している。その具体的な戦略として「ブルキナファソ COGES 設置普及戦略」が策定され、2015年までに全国に設置することが示された。

(+) 日本の対ブルキナファソ国別援助方針事業展開計画（2015年）では PDSEB（2012-2021）への支援が示されている。また2013年の第5回アフリカ開発会議（TICAD）においては、みんなの学校プログラムを用いた質の高い教育環境への支援が表明されている。

3) 手段の適切性

(+) 「機能する COGES」のための重要な要素は以下のとおりである。

- ① 民主的な選挙によるメンバーの選定
- ② 学校運営に関する研修の実施
- ③ COGES に投入される資源の管理の透明性の確保
- ④ 継続的なモニタリングシステムの確保

これらの要素はフェーズ1及び他国の同様のプロジェクトの経験から得られたものである。さらにフェーズ1から試行されている CCC モデルの確立への支援は、教育行政の地方分権化の推進の下、地方分権化機関が住民からのニーズを吸い上げるうえで重要なアプローチである。同時に国土整備地方分権化省内に COGES 活動に関するフォーカルポイント（FP）が選定されるなど、地方分権化組織を活動に巻き込んだ取り組みが実施されている。CCC のパイロット地域の選定についても、中央からのアクセス、関係者の業務実施能力などから妥当であることが確認された。

4) パイロットサイトの選定の適切性

(+) フェーズ1の延長期間において COGES 改定モデルの全国シミュレーションを実施

した州において CCC を改善する試みを行った。教育を受けるうえで「不利な状況に置かれた児童」に焦点を当て、州内で学習成果の低い 13 コミューンと、さらに同コミュニティ内で学習成果の低い小学校を対象とした。

(2) 有効性：中程度

1) プロジェクト目標達成可能性

(プロジェクト目標：全国の小学校において COGES が機能する。)

(-) 3.3.2 プロジェクト目標に記載のとおり、プロジェクト目標の実績を測る適切な指標は、終了時評価調査時点では得られなかった。プロジェクトでは必要な年次総括表の回収に努めているところ、この種のモニタリング活動が継続されることが期待される。

2) 活動と成果の因果関係

(+) プロジェクト目標と各成果の論理性は確保されている。成果 1 による COGES 関係者の能力強化、成果 2 による持続的モニタリング/支援システムの強化、成果 3 による学習の質の向上、及び成果 4 による COGES のリソース運営管理システムの強化なしには、プロジェクト目標の達成は見込まれない。

3) 有効性を促進、阻害した要因

(+) プロジェクトは COGES を通した生徒の学習の質の向上を促進した。2015/2016 年の年次総括表によれば、COGES 活動の 83% が、学習の環境や学校施設よりも、学習の質の向上に直接貢献している。活動例としては、住民総会を通した啓発活動、補習の実施、反復用問題集の購入、復習用黒板の設置、模試の実施などである。このアプローチは上位目標達成のための COGES 財源を効率的に配分する。

(3) 効率性：比較的高い

1) 成果発現に向けた活動と投入

(+) COGES ガイドなどのプロジェクトが開発した教材は、関係者に賞賛され、有効に活用されている。

(+) フェーズ 1 における経験、作成された教材、ガイドを改定し有効的に活用している。またフェーズ 1 から引き継いだ施設や機材を用いることにより、プロジェクトへの新たな投入を最小限に抑えた効率的なプロジェクト運営が実施されている。

(+) 新しいモニタリング/報告システムを導入することにより、活動計画と年次総括表のデータの入力と計算をさらに効率的にした。またプロジェクトのナショナルチームとして活動してきた SCGDE が各 COGES の詳細状況について情報を得ることができるようになった。

(+) CEB のモニタリングシステムの活用が、効率的に機能する COGES のメカニズムを確実にする。これはコミュニティレベルでの介入及びオーナーシップ意識を向上させる。

(+) 大半のナショナルチームと FP はプロジェクト開始当初から継続的に活動しており、これらの C/P の員数と能力はプロジェクトを円滑に実施するのに十分であった。

2) 効率性を促進、阻害した要因

(-) 2014 年の政治的要因による必要な資金割当の遅れにより、COGES 設置プロセスが当初計画より大幅に遅れた。

3) 他の日本の支援との連携

(+) 一連の無償資金協力プロジェクトや技術協力プロジェクトにより、小学校の教室、初等教育教員養成校（École Nationale des Enseignants du Primaire : ENEP）を建設し、理数科教育の能力が強化された。これらの支援は、本プロジェクトの技術面の強化と並行して、基礎教育のハードコンポーネント強化に貢献した。また、みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナーへの参加（2015年3月、ニジェール）により、コートジボワール、ガーナ、マダガスカル、マリ、ニジェール及びセネガル各国の経験を共有した。

(4) インパクト：高い

1) 上位目標とスーパーゴール達成の見込み

(+) 上位目標の指標である、1教室当たりの平均生徒数は、2008/2009年度の54.2名から2015/2016年度の47.9名に減少している。日干し煉瓦や藁ぶきの教室は、主としてコミュニティの自助努力により造られており、結果、教室の数もほぼ2倍に増えている。

またスーパーゴールについては、全国の就学率、中退率、修了率、初等教育修了資格合格率を用いて測定した。フェーズ1を含めたプロジェクト実施前の2007/2008年度と現時点の2015/2016年度の比較からは、すべての指標で改善が確認された。教育指標の改善には多様な要因が考えられるが、聞き取り調査では、COGESによる活動の効果として、学校レベルにおいてこれらの教育指標の改善がみられることが多くの関係者から指摘された。

2) 上位目標とプロジェクト目標の論理性

(+) 本プロジェクトで支援するCOGESは、全国のコミュニティレベルで、父兄、教員、その他学校をとりまく関係者による学校運営の改善を目的とするものであるため、プロジェクト目標が達成されれば、参加型学校運営の改善に資することは明確である。

3) プロジェクトによるMENAの政策制度への影響

(+) MENAは教育の地方分権化の一環として、給食管理と補助金の権限をCOGESに移管したことを、PDSEBの2016年報告にて明記した。

(+) プロジェクトはCCCモデルをパイロット地域における試行を基に、全国普及を計画していたが、MENAは既に2016年のC/P予算によりCCCの全国普及を実施し始めている。これは教育のコミュニティレベルへの分権化を進めようとしているMENAのニーズに合致した結果である。プロジェクトは内部効率、CEP結果及びコミュニティレベルでの教育促進の優位性について、パイロット活動を通して確認している。

4) プロジェクトによるCOGESの技術面への影響

(+) COGESの活動により、コミュニティと教員、その他学校をとりまく関係者の活動が、互いにうまく調整され、効果を上げると考えられる。具体的には、コミュニティの注視と支援により、教員の欠席が減ることや、コミュニティやMENAから受け取る資金・資材・情報がスムーズにかつ効率的に活用されること、などが挙げられる。

5) その他のインパクト

(+) 識字率の低い村落地域の父母の教育に対する理解と認識が深まったことにより、子どもの学ぶ機会は増加し、生徒の学びやすい環境を生み出した。そのインパクトとして、留年・退学率の減少など、教育指標の内部効率の改善が期待される。

(+) MENAだけでなく他の技術的、財政的支援を行うドナーによるCOGESを通したさ

さまざまな取り組み（教育セクターのサービス・デリバリーや地方分権化、学校建設への住民参加など）が促された。

(+) COGES 関係者間の協力と資源管理の透明性の確保は、地域のソーシャル・キャピタルの醸成に寄与していると推測される。資源管理の透明性確保や総会での情報共有などにより、教育関係者やコミュニンのメンバーの信頼関係が深まり、経費負担や学校活動への自発的な参加が促された。また COGES 活動により人々が集まる機会が増え、特に社会活動の主要アクターではなかった女性の社会活動への参加が促された。

(+) 比較的短期のプロジェクト期間にもかかわらず、アフリカ・ランプ・プロジェクト〔国連児童基金（UNICEF）の支援〕とのソーラーランプ・マニュアル作成支援、フランス開発庁（Agence Française de Développement : AFD）コミュニティ参加型学校建設における学校建設マニュアルの作成支援、エボラ出血熱の情報提供といった COGES を通した多くの活動が実施されている。他方、2014 年の政変による必要な経費の執行の遅れにより、COGES 設置プロセスが当初予算から遅れることとなった。

(5) 持続性：中程度

(-) コミュニンレベルでのモニタリングシステムや CCC が計画どおりには機能していないので、COGES の持続性はまだ確保されているとはいえない。

1) 政策及び組織面

(-) MENA の組織改編により COGES 設立に従事した人材の異動があり、モニタリング活動に負の影響が生じた。

(+) COGES の設置については、「2008 年初等教育組織に関する法令第 2008-236 号」において、コミュニンの公式組織として規定されている。

2) 組織面

(+) 2014 年 7 月 2 日付で「分権化学校運営調整課（SCGDE）の設置に関する省令（第 2014-0082/MENA/SG/DRG 号）」が公布され、8 名の職員による SCGDE が COGES の普及促進部署として MENA 内に設置されている。これによりプロジェクトのナショナルチームとして活動してきた SCGDE の組織的な持続性は強化された。

(+) プロジェクトは MENA 内の他部署や援助機関とのセミナーやワークショップなどのプログラムにより、COGES の適用を促進してきた。これらのプログラムによる財政的な援助を含む支援により COGES の機能は強化されてきており、COGES の組織的な持続性はさらに強化されると考えられる。

(-) SCGDE のプロジェクト終了後の業務内容の明確化が必要である。給食管理、学校施設管理、補助金管理、収入創出活動については、それぞれを担当する局が COGES を活用し、業務を実施していくこととなるが、モニタリング業務以外の業務での責任を明確にする必要がある。

(+) COGES 活動に係る研修は、教員及び教育行政官の養成課程及び現職研修に、COGES に関する講義を導入し、全教員・全教育行政官が COGES アプローチを理解する実施体制とし、持続性を確保している。

3) 財政面

(+) SCGDE の人員については、プロジェクト開始当初は3名であったが、その後8名が随時増員されている（その後2名は定年退職、異動）。予算についても、2015年には当該課の建物の改築が行われ、さらに CEB レベルでの COGES モニタリング運営費も引き続き確保されている。

(+) COGES による学校給食管理に係る補助金については、MENA レベルでの対応が続くであろう。

4) 技術面

(+) ナショナルトレーナーの多くは COGES 設立に係る研修を実施する能力を十分に有しており、研修の参加者の満足度も高い。

(+) COGES を設置する技術内容：COGES 事務局を設置するには、色紙等を用いて字が書けないコミュニティメンバーも参加可能な方法で民主的な選挙を行っている。COGES 活動計画立案の際には視聴覚教材を使いながら、ある程度モデル化された方法で、高度なファシリテーション技術を要せずに学習の質向上に資する活動が計画されるような手法をとっている。

(+) モニタリングをする技術：学区事務所の視学官は、COGES の機能度を測るためのツールを用い、機能度に応じた支援を行っている。MENA による COGES モニタリングに係る定期的な会合を通して常に技術支援も行われる。

4-2 結論

小学校における機能する COGES の全国展開が MENA により実施された。プロジェクト活動によって MENA の機能は強化されている。プロジェクトは、就学率などの教育関連指標の向上をめざす上位目標達成に貢献している。

終了時評価時点では、プロジェクト目標は、ステークホルダーのニーズ、ブルキナファソ・日本国側双方の政府方針に合致しているといえる。本プロジェクト終了時評価調査結果は、以下のとおり要約できる。

- ・機能する COGES の全国展開は PDSEB (2012-2021) において重点的取り組みと位置づけられており、妥当性は高い。
- ・社会的、政治的な混乱によりプロジェクト活動に遅延があり、プロジェクト目標を完全に達成していないので、有効性は中程度である。
- ・プロジェクトの効率性については、比較的高いと評価できる。投入の量、質及びタイミングは比較的適切であった。
- ・プロジェクトのインパクトは高い。さらに詳細なインパクト調査が必要であるが、COGES の活動の上位目標及びスーパーゴールへの影響が確認できた。
- ・最後に、持続性は中程度と評価した。政策的、財政的な持続性については確認できたが、COGES の活動の継続性を確保するためには、モニタリングシステムと CCC が強化されなければならない。

本評価結果から、COGES モニタリングの定着化、CCC モデルの最終化、COGES の活動の一環

としての学習改善モデルの構築等のため、プロジェクト期間を2017年12月まで延長する必要がある。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

終了時評価調査チームは、プロジェクトの実績を持続させるために、以下のとおり提言する。

- (1) COGES 関係者の持続的な能力強化
- (2) 学校運営委員会モニタリングの定着化
- (3) CCC モデルの最終化
- (4) COGES 事務局の定期的な再選の徹底
- (5) COGES の活動の一環としての学習改善モデルの構築
- (6) SCGDE と関連部署の連携・調整強化
- (7) プロジェクト延長期間を活用した総まとめ

表5-1 提言一覧

(1)	<u>全国の COGES 関係者の持続的な能力強化</u>		
	COGES モデルの全国普及を終えた次の段階として、新任または COGES 関連研修未受講の教育行政官及び校長、並びに、新設または委員改選後の COGES の関係者に対する適時かつ継続的な能力強化が必要である。具体的には以下の対策が考えられる。		
	業 務	実施主体	期 間
	・ CCC 総会 の場 を活用した COGES 再研修	SCGDE/DGEF/MENA、 MATDSI	プロジェクト実施中～終了後
(2)	<u>COGES モニタリングの定着化</u>		
	上記提言に関連し、COGES の機能強化を継続的に図るうえで、モニタリング体制の定着が必要である。具体的な取り組みは以下のとおり。		
	業 務	実施主体	期 間
	・ 通常の巡回業務の一環として COGES モニタリングを位置づける「統合型モニタリング」の推進	SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト実施中～終了後
・ 継続的な COGES モニタリングに係る州または県レベルでの PF/CEB 会合の予算確保と実施	SCDGE/DGEF、 DGESS/MENA	プロジェクト実施中～終了後	
・ CCC の活用、機能維持のための継続的なモニタリング	SCDGE/DGEF/MENA、 MATDSI	プロジェクト実施中～終了後	
・ 統計データを活用し、DGESS と SCGDE の連携による COGES 活動年次レポートの作成	SCDGE/DGEF、 DGESS/ MENA	プロジェクト実施中～終了後	

<p>(3)</p>	<p>CCC モデルの最終化</p> <p>CCC 総会における COGES 間の経験共有、COGES とコミュニティの情報共有（文具・教科書などの配付、給食食材調達、学校建設サイトの調整等）、COGES の能力強化（研修実施）等、COGES の機能強化に果たし得る CCC の役割は大きい。</p> <p>他方で、住民主導の COGES と異なり、コミュニティ及び教育行政主導の CCC においては、COGES は受益者として参加している意識が強く、また、CCC の機能はコミュニティや教育行政の動向に左右されるという課題が確認された。現段階での CCC モデルの全国普及は時期尚早であり、今後も現 CCC モデルの経験を蓄積し、必要な改善点を見極め、プロジェクト終了までにモデルの最終化を行うことが重要であろう。より具体的には、CCC モデルの普及に先立ち、以下の取り組みが必要と思われる。</p> <table border="1" data-bbox="276 667 1418 1218"> <thead> <tr> <th data-bbox="276 667 858 707">業 務</th> <th data-bbox="866 667 1177 707">実施主体</th> <th data-bbox="1185 667 1418 707">期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="276 712 858 824">・住民がより主体的に参加できる仕組みの検討（例：CCC 事務局内での委員会代表の役割強化）</td> <td data-bbox="866 712 1177 824">プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI</td> <td data-bbox="1185 712 1418 824">プロジェクト終了まで</td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 828 858 907">・同一州内または県内の CCC 間の定期的な交流を通じた経験共有の模索</td> <td data-bbox="866 828 1177 907">プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI</td> <td data-bbox="1185 828 1418 907">プロジェクト実施中～終了後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 911 858 1023">・コミュニティによる COGES（学校）支援にかかる予算執行を可能とする仕組みづくりと文書化</td> <td data-bbox="866 911 1177 1023">MENA、MATDSI</td> <td data-bbox="1185 911 1418 1023">プロジェクト終了まで</td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 1028 858 1140">・特別区に指定されているコミュニティ（ワガドゥグ・ボボデュラツ）における CCC モデルの試行</td> <td data-bbox="866 1028 1177 1140">プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI</td> <td data-bbox="1185 1028 1418 1140">ガイドライン文書作成後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 1144 858 1218">・CCC の最終モデルを踏まえた 2013 年合同省令の改訂</td> <td data-bbox="866 1144 1177 1218">MENA、MATDSI</td> <td data-bbox="1185 1144 1418 1218">CCC モデルの最終化後</td> </tr> </tbody> </table>	業 務	実施主体	期 間	・住民がより主体的に参加できる仕組みの検討（例：CCC 事務局内での委員会代表の役割強化）	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	プロジェクト終了まで	・同一州内または県内の CCC 間の定期的な交流を通じた経験共有の模索	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	プロジェクト実施中～終了後	・コミュニティによる COGES（学校）支援にかかる予算執行を可能とする仕組みづくりと文書化	MENA、MATDSI	プロジェクト終了まで	・特別区に指定されているコミュニティ（ワガドゥグ・ボボデュラツ）における CCC モデルの試行	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	ガイドライン文書作成後	・CCC の最終モデルを踏まえた 2013 年合同省令の改訂	MENA、MATDSI	CCC モデルの最終化後
業 務	実施主体	期 間																	
・住民がより主体的に参加できる仕組みの検討（例：CCC 事務局内での委員会代表の役割強化）	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	プロジェクト終了まで																	
・同一州内または県内の CCC 間の定期的な交流を通じた経験共有の模索	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	プロジェクト実施中～終了後																	
・コミュニティによる COGES（学校）支援にかかる予算執行を可能とする仕組みづくりと文書化	MENA、MATDSI	プロジェクト終了まで																	
・特別区に指定されているコミュニティ（ワガドゥグ・ボボデュラツ）における CCC モデルの試行	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA、MATDSI	ガイドライン文書作成後																	
・CCC の最終モデルを踏まえた 2013 年合同省令の改訂	MENA、MATDSI	CCC モデルの最終化後																	
<p>(4)</p>	<p>COGES 事務局の定期的な再選の徹底</p> <p>機能する COGES の前提条件である運営の透明性を確保し、委員会機能の活性化を図るため、満期を迎えた事務局メンバーの改選を MENA として継続して促進していく必要がある。設立時期により州ごとに改選時期が異なるので、将来的には国全体の委員会役員改選を同時期に行うなど、国全体の取り組みとしてキャンペーンを行いやすい形で調整し、改選を徹底する。</p> <table border="1" data-bbox="276 1491 1418 1688"> <thead> <tr> <th data-bbox="276 1491 858 1532">業 務</th> <th data-bbox="866 1491 1177 1532">実施主体</th> <th data-bbox="1185 1491 1418 1532">期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="276 1536 858 1615">・全国の COGES の事務局改選時期の統一化</td> <td data-bbox="866 1536 1177 1615">SCGDE/DGEF/MENA</td> <td data-bbox="1185 1536 1418 1615">プロジェクト実施中～終了後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="276 1619 858 1688">・事務局改選キャンペーンの定期的実施</td> <td data-bbox="866 1619 1177 1688">SCGDE/DGEF/MENA</td> <td data-bbox="1185 1619 1418 1688">プロジェクト終了後</td> </tr> </tbody> </table>	業 務	実施主体	期 間	・全国の COGES の事務局改選時期の統一化	SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト実施中～終了後	・事務局改選キャンペーンの定期的実施	SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト終了後									
業 務	実施主体	期 間																	
・全国の COGES の事務局改選時期の統一化	SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト実施中～終了後																	
・事務局改選キャンペーンの定期的実施	SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト終了後																	
<p>(5)</p>	<p>COGES の活動の一環としての学習改善モデル構築</p> <p>2015/16 学校年度の学習改善パイロット活動の調査結果によれば、COGES 活動を通じた補習や家庭学習の増加により、特に低学年と最高学年において学期末成績が向上したとされる。6 年生（CM2）については「卒業試験対策問題集」使用の成果と考えられる。他方で、低学年については、父母に対する教育に係る基礎知識の啓発を行ったことが効果をもたらしたのではないかと推測はされるものの、各校における取り組みと成果発現の間の因果関係が十分明らかにされていない。また、中学年については成</p>																		

果の発現自体が確認できていない。今後、低中学年からの基礎力定着の重要性にかんがみ、成果発現に必要な取り組みの内容やそのボリューム、取り組みと成果の間の因果関係を意識することが重要である。

2016/17 学校年度のパイロット活動は低学年のみを対象にしていることから、プロジェクト期間中に低学年対象の取り組みに係る成果がまとめられることが期待される。また、プロジェクト終了後、本パイロット対象児童の学習状況をフォローしていくことで、低学年における学習改善が中学年における学習に与える影響を確認し、質の高い教育を COGES が後押しし、それに基づく展望を見出すことが望まれる。

業 務	実施主体	期 間
・低学年学習改善パイロット活動の介入効果の分析	プロジェクト、SCGDE/DGEF、DGESS/MENA	プロジェクト終了まで
・中学年以降の学習への効果に係るモニタリング	SCGDE/DGEF、DGESS/MENA	プロジェクト終了後

(6) SCGDE と関連部署の連携・調整強化

全国で設立された COGES の機能強化、そして狭義の学校運営を越えて委員会に期待されるさまざまな役割（学校給食、教室建設、補助金の推進等）の支援に向け、SCGDE が果たす役割はますます大きくなっている。

他方で、これら COGES を活用した地方分権化の取り組みは、それぞれ管轄局が存在するとともに、省としてその方針を明確化しながら進めていく必要があり、プロジェクトによるイニシアティブに限定されることは望ましくない。

したがって、中間レビュー時の提言と同様、SCGDE が各種地方分権化に係る各種取り組みを担えるよう、専門局への昇格が理想的ではあるが、その早期実現が難しい場合、特に関連の深い局内への課の配置や、関係省や担当局間の連携・調整強化を行うため、以下の取り組みを行うことが求められる。

業 務	実施主体	期 間
・SCGDE の業務内容の明確化	MENA	プロジェクト終了まで
・SCGDE の配置局の再検討	MENA	プロジェクト終了まで
・SCGDE に係る予算の確保	MENA	プロジェクト実施中～終了後
・COGES を活用した各種地方分権化の取り組みに係る関連機関間の連携・調整のための体制構築（課題別の協議枠組みの設置等）	MENA	プロジェクト実施中～終了後

(7) プロジェクト延長期間を活用した総まとめ

2017 年 12 月まで約 8 カ月、プロジェクト期間を延長するにあたり、以下の取り組みを行う。

業 務	実施主体	期 間
・上記提言項目のフォロー	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA	プロジェクト終了まで
・2016/17 学校年度のモニタリング指標の収集・整理	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA	2017 年 8 月～11 月
・PACOGES モデルの全国経験共有セミナーの開催	プロジェクト、SCGDE/DGEF/MENA	2017 年 11 月～12 月

5-2 教訓

機能する COGES による広域的かつ分野横断的な課題解決

小学校は、アフリカの地域社会に最も近い行政機関の1つといってよい。機能する住民参加型 COGES が全国普及を達成したとき、そのネットワークを活用してできることは多岐にわたる。COGES 自体は教育制度の一端をなすが、住民参加型の性質ゆえ、また住民同士の信頼関係に基づき、教育セクターを越え、地域社会がもつさまざまな課題の解決に貢献し得る。

ブルキナファソでの成功事例として、COGES のネットワークを活用したエボラ出血熱に関する住民啓発が挙げられる。4名の中央講師による対象4州の地方教育行政官に対する講師研修に始まった取り組みが、最終的には約67万人の地域住民に対する啓発につながった。そのほか、学校給食や教室建設の管理など、他ドナーとの連携による、COGES に依拠した取り組みも進みつつある。

住民参加型 COGES のモデル構築と普及の意義は、以上の文脈から広い視野で評価することが重要であろう。

付 属 資 料

1. 調査日程
2. 主要面談者
3. ミニッツ
4. 評価グリッド
5. 質問票
6. 収集データ
 - 6-1. JICA 専門家リスト
 - 6-2. JICA 側供与機材リスト
 - 6-3. カウンターパート (C/P) リスト
 - 6-4. カウンターパート (C/P) 研修 (本邦及び第三国)
 - 6-5. ブルキナファソ側手配の土地、建物、施設
 - 6-6. 経費負担
7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)
8. 実施計画 (PO) 及び実績

1. 調査日程

別添 1. 調査日程

		大前（評価分析）	國枝専門員（総括）	丸山（協力企画）	
1/8	日	ワガドゥグ着			
1/9	月	国民教育・識字省次官表敬 JICA ブルキナファソ事務所打合せ プロジェクト・コーディネーター面談			
1/10	火	国民教育・識字省フォーマル教育局との面談 国民教育・識字省統計計画総局との面談 国民教育・識字省学校給食担当局との面談			
1/11	水	AFD プロジェクト・コーディネーターとの面談 評価報告書作成			
1/12	木	コミューン学校運営委員会連絡協議会訪問（Pissila） 学校運営委員会訪問（Yagbtenga 1）			
1/13	金	学校運営委員会訪問（Lalogo） 視学官事務所訪問（Zéguédéguin） コミューン学校運営委員会連絡協議会訪問（Zéguédéguin）			
1/14	土	評価報告書作成			
1/15	日	評価報告書作成			
1/16	月	州視学官事務所長面談（Kadiogo） 州視学官事務所長面談（Sud-Ouest） 評価報告書作成			
1/17	火	視学官事務所訪問（Ouaga17） 学校運営委員会訪問（Cité de l’avenir） 学校運営委員会訪問（Wend Kuuni） 評価報告書作成			ジブチ発（AF8070）
1/18	水	評価報告書翻訳チェック			ワガドゥグ着（AF8003）
1/19	木	プロジェクト C/P との面談 学校運営委員会訪問（NAMASSA） 学校運営委員会訪問（KOUILA）			
1/20	金	評価報告書作成			
1/21	土	プロジェクト専門家との打合せ 評価報告書作成			コトヌ発 ワガドゥグ着（2J558）
1/22	日	団内打合せ、協議議事録作成			
1/23	月	JICA ブルキナファソ事務所打合せ プロジェクト C/P との打合せ協議議事録作成			
1/24	火	プロジェクト C/P との協議議事録確認 協議議事録修正			視学官事務所訪問（Zitenga II） 学校運営委員会訪問（NIONIOPALOGO）
1/25	水	プロジェクト C/P との協議議事録確認 協議議事録修正			
1/26	木	プロジェクト C/P との協議議事録確認 協議議事録修正			
1/27	金	協議議事録署名 現地調査報告作成 JICA ブルキナファソ事務所報告 在ブルキナファソ日本大使館報告 ワガドゥグ発（AF524）			
1/28	土	パリ着 パリ発（AF276）			
1/29	日	成田着			

2. 主要面談者

別添2. 主要面談者

<国民教育・識字省 (MENA) >

M. Yombo Paul DIABOUGA : 事務次官

M. Roger ILBOUND0 : 教育施設資機材調達局 (DAMSSE) 学校・大学担当局長

M. Bamouni INNOCENT : 教育施設資機材調達局 (DAMSSE) 健康・衛生・栄養サービス担当主任

M. Francois SAWADOGO : 研究計画局 (DGESE) 局長

Mme. Michaeline KIEMA/WUBDA P. : 研究計画局 (DGESE) プロジェクト・プログラム調整課長

<プロジェクトチーム (SCGDE/PACOGES) >

Mme. Fatimata KONFE/TASSEDEDO : ナショナルコーディネーター

Mme. Zatarra COMPAORE : 研修・能力強化ユニット

M. Joël KIEMDE : イノベーション・調整ユニット

M. Adama KINDA : モニタリング評価ユニット

<在ブルキナファソ日本国大使館>

二石 昌人 : 特命全権大使

出口 彩央理 : 開発協力・政務担当・三等書記官

<JICA ブルキナファソ事務所/政策アドバイザー>

小林 丈通 : JICA 事務所長

田淵 和恵 : JICA 事務所員

Mme. Ouibga Kaligueta : JICA 事務所 教育担当

海老原 知子 : 政策アドバイザー

<PACOGES 専門家>

杉本 記久恵 : チーフアドバイザー/学校運営

太田 恵美 : 業務調整/研修計画

木下 晶子 : 業務調整/モニタリング

COMPTE RENDU DE DISCUSSIONS
ENTRE
L'EQUIPE JAPONAISE DE L'EVALUATION FINALE
ET
LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO
DANS LE CADRE DE
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE
POUR
“LE PROJET D'APPUI AUX COMITES DE GESTION D'ECOLES PHASE II”

L'Equipe Japonaise de l'évaluation finale (ci-après désignée “l'Equipe”), organisée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désignée “JICA”) et dirigée par Monsieur Nobuhiro KUNIEDA, Conseiller principal en éducation de base, a visité le Burkina Faso du 08 au 27 janvier 2017 dans le but de mener l'évaluation finale du “Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Écoles Phase II (ci-après désignée “le Projet”).

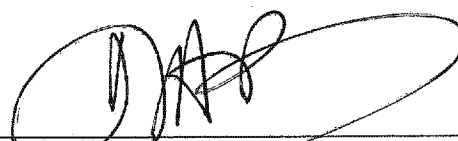
Au cours de son séjour au Burkina Faso, l'Equipe a eu une série de discussions avec les autorités burkinabè concernées. Elle a fait une évaluation conjointe des réalisations du Projet et échangé des points de vue afin de contribuer à l'amélioration des acquis du Projet.

A la suite des discussions, les deux parties se sont accordées sur les points contenus dans le document ci-annexé. La version anglaise de ce compte rendu servira de référence.

Ouagadougou, le 27 janvier 2017

國枝信宏

M. Nobuhiro KUNIEDA
Chef de l'Equipe Japonaise de
l'Evaluation Finale
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Japon



Dr. Yombo Paul DIABOUGA
Secrétaire Général,
Ministère de l'Education nationale et de
l'Alphabétisation
Burkina Faso

Liste des Abréviations et des Acronymes

AFD	Agence Française de Développement
AG	Assemblée générale
AGR	Activité Génératrice de Revenus
AME	Association des Mères Educatrices
APE	Association des Parents d'Elèves
BA	Bilan annuel
CCC	Coordination Communale des COGES
CEB	Circonscription d'Education de Base
CEP	Certificat d'Etudes Primaires
COGES	Comité de Gestion d'Ecole
DAMSSE	Direction de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Éducatives
DDEPrim	Direction du développement de l'enseignement primaire
DFIPEB	Direction de la Formation Initiale des Personnels de l'Education de Base
DGEB	Direction Générale de l'Education de Base
DGESS	Direction Générale des Etudes et des Statistiques Sectorielles
DPENA	Direction Provinciale de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation
DRENA	Direction Régionale de l'Education Nationale de l'Alphabétisation
ENEP	Ecole Nationale des Enseignants du Primaire
ENS/UK	Ecole normale supérieure / Université de Koudougou
EPFEP	Ecole privée de formation des enseignants du primaire
EQAmE	Ecole de Qualité Amie des Enfants
FCFA	Franc Communauté Financière Africaine
FDC	Fondation pour le Développement Communautaire
IP	Instituteur Principal
MATDSI	Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité Intérieure
MEF	Ministère de l'Economie et des Finances
MENA	Ministère de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation
PA	Plan d'action
PACOGES	Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Ecoles
PAM	Programme alimentaire mondial
PDM	« Cadre Logique du Projet »
PDSEB	Programme de Développement Stratégique de l'Education de Base
R/D	« Procès-verbal des Discussions »
SCGDE	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles
SP-PDSEB	Secrétariat Permanent de Programme de Développement Stratégique de l'Education de Base
TICAD	Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique
UNICEF	Fonds des Nations Unies pour l'Enfance

R

DF

TABLE DES MATIERES

Liste des Abréviations et Acronymes

1. INTRODUCTION	1
1-1. Objectifs de l'évaluation finale.....	1
1-2. Programme de l'évaluation finale.....	2
1-3. Membres de l'équipe de l'évaluation finale	2
1-4. Méthodologie de l'Évaluation	3
1-5. Amendements du Cadre Logique du Projet	4
2. Aperçu du Projet	5
2-1. Contexte du Projet.....	5
2-2. Résumé du Projet	6
3. l'Exécution du Projet et le processus de mise en œuvre	6
3-1. Contributions.....	6
3-2. Etat d'avancement des activités	8
3-3. Réalisations du Projet.....	16
3-4. Résultats de l'Évaluation.....	25
4. Conclusion	32
5. Recommandations	32
6. Leçons apprises	36

ANNEXES

ANNEXE 1. Contributions du Projet

1-1. Liste des Experts de la JICA

1-2. Liste des Matériels et Équipements fournis par la JICA

1-3. Liste des Contreparties

1-4. Liste des Participants aux formations organisées au Japon et dans d'autres pays

1-5. Liste des terrains, Bâtiments et Infrastructures

1-6. Dépenses du Budget

ANNEXE 2. Cadre Logique du Projet

ANNEXE 3. Plan de fonctionnement et Etat d'avancement des Activités

1. INTRODUCTION

Le gouvernement du Burkina Faso a élaboré et est en train de mettre en œuvre le Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base (PDSEB 2012-2021) qui vise à améliorer l'accès et la qualité de l'éducation de base et à promouvoir aussi l'éducation non-formelle et le système d'éducation décentralisé. Sous ce programme, le Ministère de l'Éducation Nationale et de l'Alphabétisation (MENA) a entrepris de généraliser le modèle du Comité de Gestion d'École (COGES) élaboré par le Comité Technique chargé de la préparation de la généralisation des COGES avec l'appui du Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'École (Phase I). Le Comité de Gestion d'École se définit comme un organe de gestion participative de l'école en mode décentralisé en accord avec les objectifs fixés par le PDSEB. La première Phase qui a débuté en novembre 2009 et qui a pris fin en mars 2014, a contribué à mettre en place 2.469 COGES dans trois régions que sont le Centre-Est, le Plateau Central, le Centre-Nord et une partie de la région du Centre. Le modèle de COGES faisait partie de la stratégie de généralisation des COGES approuvée par le MENA en mars 2013. Pour généraliser le modèle de COGES dans tout le pays, le MENA a sollicité auprès du Gouvernement du Japon une coopération technique dans la seconde phase du Projet. En réponse à cette requête, la deuxième phase du Projet a été lancée en mai 2014 pour une durée de trois ans avec les objectifs suivants:

- 1) assurer la qualité et l'efficacité de la généralisation des COGES fonctionnels à l'échelle nationale qui sera mise en œuvre par le MENA;
- 2) améliorer le modèle de COGES fonctionnel en mettant l'accent sur la qualité des apprentissages;
- 3) prendre en compte les innovations inscrites dans le Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base (PDSEB) pour le développement de la gestion décentralisée de l'école Burkinabè.

L'évaluation finale a été menée conjointement par l'Équipe et les autorités concernées du Burkina Faso dans le but d'évaluer les réalisations du Projet.

1-1. Objectifs de l'évaluation finale

Les Objectifs de l'évaluation finale sont les suivants:

- (1) examiner et évaluer les contributions, les activités, la structure, le processus de mise en œuvre et les réalisations du Projet;
- (2) identifier les problèmes et les questions indispensables pour une mise en œuvre réussie du Projet durant la période restante;
- (3) faire des recommandations pour les activités durant la période restante;
- (4) réexaminer et réviser le Cadre Logique du Projet (PDM).

1-2. Programme de l'évaluation finale

L'évaluation finale a été faite du 08 au 27 Janvier 2017 au Burkina Faso.

Date		Activités
08 jan	dim	18:00 Arrivée au Burkina Faso
09 jan	lun.	Visite de courtoisie au Secrétaire Général du MENA Réunion avec les expertes japonaises Entretien avec la Coordonnatrice Nationale du PACOGES
10 jan	mar.	Entretien avec la DGEF, la DGESS et la DAMSSE
11 jan	mer	Entretien avec le Projet PA-PDSEB de l'AFD
12 jan	jeu	Entretien avec la CCC de Pissila, la CEB de Boala, le COGES de Yagbtenga I
13 jan	ven.	Entretien avec le COGES de Lalogo, la CEB et la CCC de Zéguédéguin
14 jan	sam.	Documentation
15 jan	dim	Documentation
16 jan	lun.	Entretien avec le Point Focal de la DPENA du Kadiogo, et le Point Focal de la DRENA du Sud-Ouest
17 jan	mar.	Correction de la première partie du Rapport de l'évaluation par la Coordonnatrice Nationale et les homologues Entretien avec la CEB de Ouaga17, le COGES urbain de la Cité de l'avenir, le COGES urbain Wend Kuuni
18 jan	mer	Correction de la première partie du Rapport de l'évaluation par la Coordonnatrice Nationale et les homologues Dernière correction de la première partie du Rapport de l'évaluation.
19 jan	jeu	Confirmation de la première partie du Rapport de l'évaluation par l'équipe d'évaluation Entretien avec le COGES de Namassa (Ziniaré I) et celui de Kouila (Ziniaré III)
20 jan	ven.	Documentation de la version complète du Rapport d'évaluation Entretien avec la CCC de Korsimoro, le COGES de Nababouli et celui de l'école d'Aicha
21 jan	sam.	Réunion de la partie japonaise pour l'élaboration de la version finale du Rapport d'évaluation et du compte-rendu des rencontres
22 jan	dim	Idem
23 jan	lun.	Réunion avec la JICA Confirmation de la version finale provisoire du Rapport d'évaluation et du compte-rendu des discussions.
24 jan	mar.	Confirmation de la version finale provisoire du Rapport d'évaluation et du compte-rendu des discussions. Entretien avec le COGES de Nioniopalogo (Zitenga II)
25 jan	mer	Vérification de la version finale du Rapport d'évaluation et du compte-rendu des discussions, et remise au SG/MENA.
26 jan	jeu	Finalisation de la version du Rapport d'Évaluation et du compte-rendu des discussions par les personnes concernées des deux parties. Soumission de la version finale du Rapport d'Évaluation et du compte-rendu des discussions au SG/MENA.
27 jan	ven.	Signature du compte-rendu des discussions Rapport au bureau de la JICA Visite de courtoisie à l'ambassade du Japon Départ de Ouagadougou

1-3. Membres de l'équipe de l'évaluation finale

1) Partie Burkinabè

Nom & Prénom	Position & Structure
M. LALLOGO Edouard Fortune	DCPP/DGESS
Mme. KONFE TASSEMBEDO Fatimata	Coordonnatrice Nationale de PACOGES

2) Partie Japonaise

Nom & Prénom	Désignation	Position & Structure
M. Nobuhiro KUNIEDA	Chef de l'Equipe	Conseiller Principal en Education de Base, JICA
M. Takao MARUYAMA	Planification de la Coopération	Directeur Adjoint, Equipe 2 de l'Education de Base, Département du Développement Humain, JICA
M. Masaya OMAE	Analyse d'Evaluation	Directeur Général, Success Project Management Office

1-4. Méthodologie de l'Évaluation

L'Evaluation Finale a été effectuée conformément aux orientations directrices de la JICA sur l'évaluation des projets. Basée sur le Cadre Logique du Projet PDM (ver. 2) et sur le Plan d'Opérations (version 2), qui ont été tous révisés et autorisés le 14 nov. 2016 par les deux parties, l'évaluation finale est destinée à clarifier les aspects suivants, tels qu'indiqués respectivement dans les Annexes 1 et 2:

- 1) Les résultats atteints par le Projet sur la base des indicateurs du PDM
- 2) Le processus de mise en œuvre
- 3) Les cinq critères d'évaluation

Pour élaborer le rapport, la réalisation des résultats, du But et de l'Objectif Global du Projet ainsi que le processus de mise en œuvre ont été évalués. Les informations sur les réalisations concernant le niveau d'atteinte des indicateurs. Le processus de mise en œuvre implique l'état d'avancement des activités, les questions de communication et l'appropriation du Projet par la partie burkinabè. Après la collecte des informations, les réalisations du Projet ont été évaluées par les (5) critères d'évaluation suivants, comme suite aux échanges entre les membres de l'équipe.

Tableau 1-5-1: Les cinq (5) critères d'évaluation

Critères	Désignation
Pertinence	Il s'agit de voir si l'appui apporté par le donateur est conforme aux besoins et préoccupations prioritaires du pays bénéficiaire.
Efficacité	Il s'agit d'examiner le degré de réalisation des objectifs du projet par rapport aux résultats.
Efficience	L'efficience mesure les résultats (quantitatifs et qualitatifs), en rapport avec les contributions. Un terme économique est utilisé pour mesurer le degré d'utilisation des ressources de façon moins coûteuse pour l'atteinte des résultats. Cela implique généralement la comparaison d'approches alternatives pour l'atteinte des mêmes résultats, afin de s'assurer que le processus le plus efficace a été adopté.
Impact	Il s'agit des changements positifs et négatifs, directs et indirects, volontaires et involontaires, provoqués par une intervention de développement. Cela implique les principaux impacts et effets des activités dans les aspects socio-économiques, environnementaux et d'autres indicateurs de développement.
Durabilité	La durabilité consiste à vérifier si les avantages d'une activité continueront probablement après l'achèvement du projet. Les projets doivent être durables sur le plan environnemental et financier.

Source: Lignes Directrices de la JICA pour l'Evaluation de Projet, Première Edition (Juin 2010) p. 23

Les cinq critères ont été évalués à cinq (5) différents niveaux, tels qu'indiqués ci-dessous :

Tableau 1-5-2: Les cinq différents niveaux d'Evaluation

1	2	3	4	5
Faible	Relativement faible	Modéré	Relativement élevé	Elevé

1-5. Amendements du Cadre Logique du Projet

Dans le Cadre Logique du Projet version 1 qui a été approuvée le 10 février 2014, la valeur cible de divers indicateurs n'a pas été déterminée et certains indicateurs n'ont pas été clairement décrits afin de pouvoir évaluer l'état d'avancement du Projet. Ainsi, les indicateurs modifiés (comme mentionnés dans le Tableau 2) convenus entre l'équipe et les autorités concernées ont été utilisés pour l'évaluation à mi-parcours. Les indicateurs ont été par la suite révisés de nouveau et approuvés par la JICA, les membres du Projet et les autorités concernées, le 14 novembre 2016, tels qu'indiqués dans le Tableau 2. Ces indicateurs confirmés ont été utilisés dans l'évaluation finale.

Tableau 2: Indicateurs amendés du PDM

	Cadre Logique du Projet Ver. 1	Amendé lors de l'évaluation à mi-parcours	Finalisé le 14 Novembre 2016
Objectif Global	<ol style="list-style-type: none"> Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école Nombre total de classes construites par les COGES Nombre total d'heures de cours supplémentaires Nombre total d'heures d'études de nuit 	<ol style="list-style-type: none"> Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école Nombre total de classes construites par les COGES Nombre total d'heures de cours supplémentaires organisés par le COGES (60 heures ou plus) Nombre total d'heures d'études de nuit organisées par le COGES (15 heures ou plus) 	<ol style="list-style-type: none"> Les salles de classes disponibles par rapport aux effectifs des élèves sont assurées (= moins de 50 élèves par salle de classe) le volume horaire nécessaire aux apprentissages est assuré (= le volume horaire d'apprentissage atteint par le COGES à travers les activités de qualité est au moins 65 heures en moyenne / COGES/an)
But du Projet	<ol style="list-style-type: none"> XX % de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. La participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier. 	<ol style="list-style-type: none"> 80% de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. La participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier <ul style="list-style-type: none"> - Taux de réalisation financière du PACOGES à 60%. - Fréquence des rencontres : 1 bilan financier, 2 assemblée générale(AG), 3 réunions de bureau 	<ol style="list-style-type: none"> Au moins 80% de COGES exécutent au moins une activité programmée dans le plan d'action. En moyenne 60% du montant prévu dans le plan d'action du COGES sont mobilisés En moyenne, 1 fois par an le compte rendu financier est fait, 2 fois par an les AG, 3 fois par an les réunions du bureau COGES sont organisées.
Résultat 1	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 1.3 XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 80% de COGES sont été mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 75% de plans d'action et de bilan des COGES ont été récupéré par les services concernés. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 Au moins 80% des écoles disposent d'un COGES mis en place démocratiquement 1.2 Au moins 75% de plans d'action et de bilans annuels de COGES ont été récupéré par les services concernés.

	Cadre Logique du Projet Ver. 1	Amendé lors de l'évaluation à mi-parcours	Finalisé le 14 Novembre 2016
Résultat 2	2.1 Le rapport est élaboré. 2.2 Au moins XX par an, le suivi du MENA s'est tenu dans la zone de projet pilote. 2.3 Au moins XX par an, les AG de la CCC se sont tenues par dans la zone de projet pilote. 2.4 Au moins XX fois par an, la réunion provinciale/régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Une atelier sur la capitalisation et la validation du modèle de la CCC a été organisé. 2.6 Validation du modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	2.1 Une structure chargée de la gestion décentralisée de l'école est prise en compte dans l'organigramme du MENA. 2.2 75% des COGES sont suivis par leur CEB au moins 2 fois par an. 2.3 75% des CCC ont tenu leurs AG trois fois par an dans la zone pilote. 2.4 Au moins 1 fois par an, les réunions provinciale, et /régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Le modèle de CCC est capitalisé, évalué et validé.	2.1 Une structure chargée de la gestion décentralisée de l'école est mise en place dans l'organigramme du MENA. 2.2 Au moins 75% des COGES sont suivis par leur CEB au moins 2 fois par an. 2.3 Au moins 75% des CCC de la zone pilote tiennent leur AG 2 fois par an. 2.4 Au moins 1 fois par an, la réunion régionale de suivi des COGES est tenue. 2.5 Le modèle de CCC est stabilisé, évalué et validé.
Résultat 3	3.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 3.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les media et le forum.	3.1 L'efficacité du modèle d'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire est confirmée dans la zone pilote; 3.2 Capitalisation des bonnes pratiques relatives à l'amélioration de la qualité des apprentissages dans la zone pilote; 3.3 Présentation des bonnes pratiques à travers les média et les différentes rencontres pour 80% des COGES.	3.1 L'efficacité de l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers les activités des COGES est confirmée dans la zone pilote. 3.2 Au moins 80% des COGES sont informés des bonnes pratiques visant l'amélioration de la qualité des apprentissages.
Résultat 4	4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 4.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les medias et le forum.	4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources par les COGES; 4.2 Présentation des bonnes pratiques à travers les média et les différentes rencontres pour 80% des COGES.	4.1 Au moins 80% des COGES sont informés des bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources.

2. Aperçu du Projet

2-1. Contexte du Projet

Depuis 2009, la JICA appuie la mise en place d'un modèle de COGES fonctionnel à travers la phase 1 du Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Écoles (PACOGES) qui a mis en place des COGES et renforcé la capacité du personnel concerné dans quatre régions pilotes que sont Plateau Central, Centre-Est, Centre-Nord et Centre.

Le gouvernement burkinabè a pris l'Arrêté conjoint N°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF du 27 mars, portant composition et fonctionnement du Comité de Gestion de l'École qui a formalisé le modèle de COGES établi, pour sa généralisation sur tout le territoire. En plus, la mise en place à l'échelle nationale des COGES dans toutes les écoles primaires, a été prise en compte par le Programme de Développement Stratégique de l'Éducation de Base (PDSEB), 2012-2021, au Burkina Faso.

C'est dans ce contexte que la JICA a lancé la phase II du PACOGES en mai 2014 pour une durée de trois (3) ans afin de généraliser le modèle COGES approuvé par le gouvernement burkinabè.

D

A

2-2. Résumé du Projet

Le Projet a été réalisé sur la base du PDM version 2 (voir Annexe-1), approuvée le 14 novembre 2016. Les principaux points sont les suivants:

(1) Finalité

L'accès à l'éducation et la qualité des apprentissages à l'école primaire sont améliorés.

(2) Objectif Global du Projet

La gestion participative de l'école primaire est améliorée sur l'ensemble du territoire national.

(3) But du Projet

Les COGES dans les écoles primaires sur l'ensemble du territoire national sont fonctionnels.

(4) Résultats

- Résultat 1: Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.
- Résultat 2: Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.
- Résultat 3: Les activités des COGES visant l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et diffusées sur l'ensemble du territoire national.
- Résultat 4: Le système de gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.

(5) Durée du Projet

Du 1^{er} avril 2014 au 30 avril 2017

(6) Structure d'exécution du Projet

Ministère de l'Education nationale et l'Alphabétisation (MENA)

3. l'Exécution du Projet et le processus de mise en œuvre

3-1. Contributions

3-1-1. Contributions de la Partie Japonaise

Le Tableau 3.1.1 fait une comparaison de ce qui a été prévu dans le Cadre Logique en février 2014 avec les contributions réelles de la Partie Japonaise.

R

Q

Tableau 3.1.1: Contribution de la Partie Japonaise

Planifié (PDM ver. 1)	Réalisé																				
<p>[Experts Japonais]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chef Conseiller (expert à court terme basé au Japon) 2. Adjoint au Chef Conseiller / Gestion d'École (Expert à long terme) 3. Gestion des Formations / Gestion du projet (1ère Année), Amélioration de la qualité de l'apprentissage / Gestion du projet (2^{ème} Année) (expert à long terme) 4. Gestion des ressources des COGES/ Gestion du projet (expert à long terme) -Experts à court terme (selon le besoin) 	<p>[Experts Japonais] (Voir Annexe 1-1) Les Experts suivants à long et court termes ont été dispatchés</p> <p>Experts à long terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chef Conseillère/Gestion d'École 2. Gestion du projet/Gestion des formations 3. Gestion du projet/ Suivi des COGES <p>Experts à court terme</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. Chef Conseiller (jusqu'en Avril 2015) 5. Expert audio-visuel pour la sensibilisation sur le COGES <p>L'envoi des experts japonais était appréciable; toutefois, le sous-conseiller principal n'a pas pu être envoyé au cours de la première année du Projet.</p> <p>Il a été clairement noté que les experts à long terme résidaient en permanence sur le site dans le cadre de l'atteinte du but du projet, malgré quelques facteurs entravant, tels que le retard du budget, la grève des chargés de l'éducation et des enseignants, et la crise politique. Ces experts à long terme ont travaillé en collaboration avec leurs homologues en vue de surmonter cette situation à temps et de manière souple. Ces genres d'interventions ne peuvent pas se faire par des experts à court terme.</p>																				
<p>[Machines et Equipements]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Véhicule (s) 2. Selon le besoin 	<p>[Equipements] (Voir Annexe 1-2) Au total trois articles tels que les véhicules, la photocopieuse et les ordinateurs ont été fournis. Le montant total des dépenses s'élevait à 49, 860,200 CFA</p>																				
<p>[Coût d'exploitation du Projet]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Coûts de l'organisation des ateliers et séminaires 2. Coûts de l'étude de base et de l'étude finale du Projet 3. Coûts pour les activités des projets pilotes 	<p>[Coût d'exploitation du Projet] (Voir Annexe 1-5) Au total la somme de 641 418 555 CFA (autour de 119 millions de Yen)¹ a été allouée comme coût d'exploitation du Projet (Personnel, dépenses de fonctionnement, coûts des équipements, voyages et réunions). Les dépenses représentent 90% de l'estimation initiale convenue dans le Procès-verbal.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Montant prévu (PV)</th> <th>Montant dépensé</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>259 670 000</td> <td>277 718 243</td> <td>107,0%</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>226 720 000</td> <td>222 622 309</td> <td>98,2%</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>140 920 000</td> <td>141 078 003</td> <td>100,1%</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>627 310 000</td> <td>641 418 555</td> <td>102,2%</td> </tr> </tbody> </table>		Montant prévu (PV)	Montant dépensé	Taux	2014	259 670 000	277 718 243	107,0%	2015	226 720 000	222 622 309	98,2%	2016	140 920 000	141 078 003	100,1%	Total	627 310 000	641 418 555	102,2%
	Montant prévu (PV)	Montant dépensé	Taux																		
2014	259 670 000	277 718 243	107,0%																		
2015	226 720 000	222 622 309	98,2%																		
2016	140 920 000	141 078 003	100,1%																		
Total	627 310 000	641 418 555	102,2%																		
<p>Formation des homologues au Japon et dans d'autres pays</p>	<p>Formation des homologues au Japon et dans d'autres pays (voir Annexe 1-4) Les homologues ont participé à la formation par thème, mais ils n'ont pas pu participer en 2016, en raison de la langue de travail qui était l'anglais.</p> <p>Lors de la formation au Japon, les homologues élaborent un plan d'action à mettre en œuvre une fois de retour au pays. Il est nécessaire de prévoir un budget pour la mise en œuvre de ces plans d'actions, car il est difficile d'utiliser le budget du Projet qui obéit au cadre logique du Projet (PDM). Par conséquent, la mise en œuvre de ces plans d'actions nécessite une clarification, un budget et un suivi efficace.</p>																				

3-1-2. Contributions de la partie burkinabè

Le Tableau 3.1.2 fait une comparaison de ce qui a été prévu avec les contributions réelles de la partie burkinabè.

Tableau 3.1.2: Contributions de la partie burkinabè

Planifié (PDM version. 1)	Réalisé (Jusqu'en décembre 2016)
<p>[Affectation d'homologues]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MENA -Secrétaire Général -DGEB -Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles (SCGDE)/ Direction Générale de l'Éducation formelle (DGEF) 2. DRENA, DPENA, CEB et Directeurs 	<p>[Affectation d'homologues] (Voir Annexe 1-3)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Equipe du Projet (MENA): 13 2. Points Focaux des DRENA: 13

¹ Taux de change 1 FCFA=0,18707 Yen (Taux de la JICA, en janvier 2017)

Planifié (PDM version. 1)	Réalisé (Jusqu'en décembre 2016)																				
<p>[Coût d'exploitation du Projet]</p> <ol style="list-style-type: none"> Coûts directionnels liés aux formations pour la généralisation des COGES dans tout le pays. Budget pour le suivi (carburant) des COGES dans la 1ère année A partir de la deuxième année, le budget pour le suivi est déboursé par un système régulier de suivi Les charges directionnelles pour le coût de fonctionnement. Bureau du Projet et coûts afférents 	<p>[Coût d'exploitation du Projet] (Voir Annexe 1-5)</p> <p>Au total, 1 402 985 710 CFA (autour de 262 millions de Yen)² a été allouée comme coût du Projet par la Partie Burkinabè (Personnel, dépenses de fonctionnement, coûts des équipements, des voyages, et des rencontres). Les dépenses représentent 136 % de l'estimation initiale convenue dans le PV.</p> <p>Le budget pour l'exécution des activités de 2016 a connu un retard. En effet, le déblocage a été effectif en juin 2016. Il est souhaitable de diligenter le déblocage du budget afin de permettre le démarrage des activités le plutôt possible. De même, des dispositions doivent être prises pour éviter le retard dans la dotation des frais de carburant au niveau des CEB.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Montant prévu (PV)</th> <th>Montant dépensé</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>583 013 493</td> <td>500 976 000</td> <td>85,9%</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>901 437 024</td> <td>794 459 710</td> <td>88,1%</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>44 938 324</td> <td>107 550 000</td> <td>239,3%</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>1 529 388 841</td> <td>1 402 985 710</td> <td>91,7%</td> </tr> </tbody> </table>		Montant prévu (PV)	Montant dépensé	Taux	2014	583 013 493	500 976 000	85,9%	2015	901 437 024	794 459 710	88,1%	2016	44 938 324	107 550 000	239,3%	Total	1 529 388 841	1 402 985 710	91,7%
	Montant prévu (PV)	Montant dépensé	Taux																		
2014	583 013 493	500 976 000	85,9%																		
2015	901 437 024	794 459 710	88,1%																		
2016	44 938 324	107 550 000	239,3%																		
Total	1 529 388 841	1 402 985 710	91,7%																		

3-2. Etat d'avancement des activités

Dans l'ensemble, les activités du projet ont été bien exécutées comme prévu, quand bien même certaines activités ont eu du retard en raison des perturbations politiques intervenues dans le pays. Au moment de l'évaluation finale, la plupart des activités du Résultat 1 (renforcement des capacités de mise en place des COGES) et du Résultat 2 (renforcement du système de suivi et d'appui des COGES) ont été atteints, mais des efforts supplémentaires sont nécessaires à l'atteinte de quelques indicateurs. La réalisation des activités des Résultats 1 et 2 a permis au Projet de procéder à la mise en œuvre des activités des Résultats 3 et 4 visant l'amélioration de la qualité des apprentissages et la gestion des ressources des COGES.

Comme le Projet a planifié beaucoup d'activités supplémentaires à travers les COGES en réponse à la stratégie et aux besoins du MENA qui sont « en cours », dans le Tableau 3.2 ci-dessous, une mise en œuvre plus efficiente du Projet est requise pour la période restante.

Tableau 3.2 : Etat d'avancement des activités (mai 2014-nov. 2015)

Activités	Etat d'avancement
1-1 Elaborer un plan d'opération pour la généralisation des COGES dans tout le pays.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> Plan d'opération pour l'atelier de généralisation à l'échelle nationale, en juin 2014. Appui pour le Plan d'Opération de la généralisation à l'échelle nationale en 2014 pour le premier tour, et en 2015 pour le second tour. Appui pour l'allocation budgétaire du plan d'opération de la généralisation à l'échelle nationale en 2015 par le MENA.
1-2 Reproduire les guides et traduire les supports audio-visuels en langues nationales.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> Le guide pour la gestion participative des COGES a été reproduit (16 400 exemplaires) L'aide-mémoire sur la gestion participative des COGES a été reproduit (14 800 exemplaires) Cinq (5) supports audiovisuels ont été traduits en langues nationales, d'octobre 2014 à janvier 2015.

² Taux de change 1 FCFA = 0,18707 Yen (Taux de la JICA, en Janvier 2017)

Activités	Etat d'avancement																																				
1-3 Organiser une formation des Formateurs Nationaux pour la généralisation des COGES	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Première session de formation/ recyclage des Formateurs Nationaux en août 2014, et deuxième session en mars 2015. • Rencontre préliminaire des Formateurs Nationaux en avril 2015 pour le premier tour, et en décembre 2015 pour le second tour. • Formation de nouveaux Formateurs Nationaux et des professeurs des ENEP en décembre 2014. • Appui pour la rédaction d'un arrêté interministériel portant augmentation du nombre des Formateurs Nationaux, en janvier 2015. 																																				
1-4 Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Echanges d'informations et d'idées sur le début de la généralisation, l'explication du modèle, le processus de généralisation, le but, la durée etc., lors de la cérémonie de lancement de la phase 2 du Projet, en juin 2014. • Le démarrage de la généralisation à l'échelle nationale a été effectif et les expériences de la phase 1 ont été partagées avec le personnel concerné au début de la cérémonie de la généralisation. 																																				
1-5 Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES à travers des émissions radiodiffusées et télévisées.	<p>[Achevée]</p> <p>Une enquête sur les mass médias concernant les documents d'information sur l'extension nationale des COGES a été réalisée, en décembre 2014.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Des documents d'information sur l'extension nationale des COGES ont été produits de décembre 2014 à janvier 2015. <ul style="list-style-type: none"> ➢ A la radio : 2 minutes fois 7 séquences ➢ A la télévision : 90 secondes pour un spot publicitaire fois 2 séquences. ➢ A la télévision : 5 minutes fois 1 séquence • Les activités d'information sur l'extension nationale des COGES par les médias ont été réalisées de février à octobre 2015. • Le programme sur « la promotion des COGES » a été diffusé à la radio, en septembre 2015. • Des documents sur les COGES et la promotion de votes démocratiques ont été produits. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Des dépliants sur l'approche de COGES ont été produits en novembre 2014. ➢ Des affiches de campagne électorale ont été produites et distribuées en octobre 2015. • Un article sur les COGES a été publié dans la revue « ARC », journal édité par le MENA en septembre 2015. • Un programme de publicité à la radio et des programmes d'information sur la réélection des bureaux des COGES ont été réalisés en septembre 2016 dans la région du Centre Nord. 																																				
1-6 Organiser des sessions de formations dans les régions non encore couvertes par le Projet au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.	<p>[Achevée]</p> <p>Séminaires pour les agents en charge de la décentralisation dans dix (10) régions comme suit:</p> <p>Tableau 3.2.1: Rencontres des agents en charge de la décentralisation dans dix (10) régions (unité: personnes)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">Gouverneur de Région</th> <th colspan="3">DRENA/DPENA</th> <th colspan="3">Maire</th> <th colspan="3">APE/AME</th> </tr> <tr> <th>Plan</th> <th>Actuel</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actuel</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actuel</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actuel</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>41</td> <td>87,2</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>102,2</td> <td>293</td> <td>278</td> <td>94,9</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>98,4</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport du Projet</p>	Gouverneur de Région			DRENA/DPENA			Maire			APE/AME			Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%	47	41	87,2	45	46	102,2	293	278	94,9	62	61	98,4
Gouverneur de Région			DRENA/DPENA			Maire			APE/AME																												
Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%	Plan	Actuel	%																										
47	41	87,2	45	46	102,2	293	278	94,9	62	61	98,4																										
1-7 Organiser des sessions de formations provinciales / régionales à l'intention des points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation des Communes/Arrondissements sur la mise en place des COGES selon le mode démocratique.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Les données sur la formation pour des DRENA, DPENA, CEB, points focaux et chargés de l'éducation des Communes se présentent comme suit ; <p>Tableau 3.2.2: Formation des acteurs</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Plan</th> <th>Participants</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 273</td> <td>1 228</td> <td>96,5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport du Projet</p>	Plan	Participants	%	1 273	1 228	96,5%																														
Plan	Participants	%																																			
1 273	1 228	96,5%																																			

Activités	Etat d'avancement										
1-8 Organiser des sessions de formations des directeurs d'école sur la mise en place des COGES et la gestion participative des écoles.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> Les données sur la formation des directeurs d'école sur la gestion participative des écoles et la mise en place des COGES se présentent comme suit: <p>Tableau 3.2.3: Formation des directeurs d'école dans dix (10) régions (unité: personnes)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Nombre d'écoles</th> <th>Nombre de participants</th> <th>Taux de participation</th> <th>Nombre de sessions</th> <th>Nombre des lieux de formation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 181</td> <td>9 434</td> <td>92,7%</td> <td>25</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport du Projet</p>	Nombre d'écoles	Nombre de participants	Taux de participation	Nombre de sessions	Nombre des lieux de formation	10 181	9 434	92,7%	25	183
Nombre d'écoles	Nombre de participants	Taux de participation	Nombre de sessions	Nombre des lieux de formation							
10 181	9 434	92,7%	25	183							
1-9 Organiser des sessions de formation pour les membres COGES sur la planification et la gestion participative des écoles.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> Les données sur les sessions de formation des membres des COGES sur la planification participative et la gestion des écoles se présentent comme suit: <p>Tableau 3.2.4: Formation des COGES (unité: personnes)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Nombre d'écoles</th> <th>Nombre de COGES</th> <th>Pourcentage des écoles publiques</th> <th>Membres de COGES formé</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,231</td> <td>8,536</td> <td>83,4%</td> <td>44,539 personnes</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Statistiques sur l'éducation de l'année scolaire 2014-2015</p>	Nombre d'écoles	Nombre de COGES	Pourcentage des écoles publiques	Membres de COGES formé	10,231	8,536	83,4%	44,539 personnes		
Nombre d'écoles	Nombre de COGES	Pourcentage des écoles publiques	Membres de COGES formé								
10,231	8,536	83,4%	44,539 personnes								
1-10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> Cinq (5) sessions de formations/recyclages pour les formateurs nationaux ont été organisées. Des sessions de formations ont été organisées pour le personnel en charge de la décentralisation au niveau régional. Des sessions de formations ont été organisées pour les DRENA-FP, les DPENA-FP, les cadres supérieurs et les chargés de l'éducation dans les communes. Des sessions de formations ont été organisées pour les membres COGES sur la planification participative et la gestion des écoles. L'exécution du budget a été réalisée et les pièces justificatives ont été présentées après chaque session de formation. 										
1-11 Organiser des ateliers de partage d'expériences.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> Le Projet a participé périodiquement à la mission conjointe d'évaluation du PDSEB (Plan Décennal Stratégique de l'Éducation de Base) et à une rencontre thématique, durant la période de mai 2014 à avril 2016. Les COGES/CCC excellents ont fait l'objet de visites par les formateurs nationaux. DGESS/MENA a participé à l'atelier de préparation des paquets de bonnes pratiques des COGES, en octobre 2015. Une rencontre des premiers responsables du MENA-MATDSI relative au modèle des COGES/CCC a été organisée en octobre 2016. 										
1-12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> Le Plan d'Opération a été évalué et examiné comme suit: <p>Tableau 3.2.5: Évaluation et examen du Plan d'Opération pour la généralisation lors de l'évaluation finale</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Périodes</th> <th>Activités</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Novembre 2014</td> <td>Premier atelier sur l'évaluation à mi-parcours de la généralisation</td> </tr> <tr> <td>Décembre 2014</td> <td>Premières activités et atelier de synthèse</td> </tr> <tr> <td>Juin 2015</td> <td>Deuxième atelier sur l'évaluation à mi-parcours de généralisation</td> </tr> <tr> <td>Mars 2016</td> <td>Atelier de synthèse sur la généralisation à l'échelle nationale</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Rapport du Projet</p>	Périodes	Activités	Novembre 2014	Premier atelier sur l'évaluation à mi-parcours de la généralisation	Décembre 2014	Premières activités et atelier de synthèse	Juin 2015	Deuxième atelier sur l'évaluation à mi-parcours de généralisation	Mars 2016	Atelier de synthèse sur la généralisation à l'échelle nationale
Périodes	Activités										
Novembre 2014	Premier atelier sur l'évaluation à mi-parcours de la généralisation										
Décembre 2014	Premières activités et atelier de synthèse										
Juin 2015	Deuxième atelier sur l'évaluation à mi-parcours de généralisation										
Mars 2016	Atelier de synthèse sur la généralisation à l'échelle nationale										

12

MA

Activités	Etat d'avancement																												
<p>1-13 Renforcer les capacités des acteurs concernés pour assurer la durabilité du fonctionnement des COGES.</p>	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Participation à la mission annuelle d'évaluation conjointe du PDSEB en avril 2015 et en mai 2016. • Organisation de la rencontre sur l'approche des COGES pour le MENA en juillet 2015. • Organisation de conférences publiques ouvertes sur les COGES dans les ENEP, de mai à juin 2015 comme suit: <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.6: Participants aux conférences publiques dans les sept (7) ENEP du pays (unité: personnes)</p> <table border="1" data-bbox="523 546 1374 689"> <thead> <tr> <th colspan="3">Premier groupe, du 11 au 12 mai</th> <th colspan="3">Deuxième groupe, du 3 au 4 juin</th> <th rowspan="2">Nombre de conférences dans les ENEP</th> </tr> <tr> <th>Inscription</th> <th>Participants</th> <th>Taux de participation</th> <th>Inscription</th> <th>Participants</th> <th>Taux de participation</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 231</td> <td>5 205</td> <td>99,5%</td> <td>5 008</td> <td>4 755</td> <td>94,9%</td> <td>23(9)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> • Les résultats de la formation assurée par le MENA à travers la conférence pédagogique annuelle des encadreurs de juillet à août 2015 sur le suivi des COGES à l'échelle nationale par les agents actuels se présentent comme suit: <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.7: Nombre des participants à la formation assurée par le MENA sur le suivi des COGES</p> <table border="1" data-bbox="810 949 1155 1010"> <thead> <tr> <th>IEPD</th> <th>CPI</th> <th>IP</th> <th>Total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>837</td> <td>868</td> <td>2 556</td> <td>4 261</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> • Des échanges sur le renforcement continu des relations entre les acteurs des COGES et la DGFPIC ont été faits en octobre 2016. 	Premier groupe, du 11 au 12 mai			Deuxième groupe, du 3 au 4 juin			Nombre de conférences dans les ENEP	Inscription	Participants	Taux de participation	Inscription	Participants	Taux de participation	5 231	5 205	99,5%	5 008	4 755	94,9%	23(9)	IEPD	CPI	IP	Total	837	868	2 556	4 261
Premier groupe, du 11 au 12 mai			Deuxième groupe, du 3 au 4 juin			Nombre de conférences dans les ENEP																							
Inscription	Participants	Taux de participation	Inscription	Participants	Taux de participation																								
5 231	5 205	99,5%	5 008	4 755	94,9%	23(9)																							
IEPD	CPI	IP	Total																										
837	868	2 556	4 261																										
<p>1-14 Expérimenter le modèle fonctionnel des COGES urbain et faire des recommandations.</p>	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enquête sur la situation actuelle des COGES de type urbain, de mai à juin 2016 • Atelier de partage des résultats sur les COGES de type urbain, en juillet 2016. 																												
<p>2-1 Identifier le rôle de la structure chargée de la gestion décentralisée de l'école au sein du MENA et en faire des recommandations.</p>	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mise en place de la structure du MENA, chargée de la gestion décentralisée des écoles, en juin 2014. • Échanges sur la mise en œuvre des activités de la structure de la gestion décentralisée des écoles lors du quatrième comité de pilotage, en août 2016. • Proposition des activités de la structure de la gestion décentralisée des écoles et demande de budget, en septembre 2016. 																												
<p>2-2 Améliorer le système de suivi des COGES par le MENA et renforcer les capacités des personnes responsables.</p>	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier sur l'amélioration du système de suivi, en avril 2016. • La formation des encadreurs pédagogiques sur le suivi des COGES, de mai à juin 2016 se présente comme suit: <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.8: Formation des encadreurs pédagogiques sur le suivi des COGES dans les treize (13) régions</p> <table border="1" data-bbox="587 1688 1251 1749"> <thead> <tr> <th>Nombre de CEB-PF</th> <th>Participants</th> <th>Taux de renforcement (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>553 personnes</td> <td>550 personnes</td> <td>99,5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> <ul style="list-style-type: none"> • Introduction du tableau récapitulatif annuel dans les statistiques scolaires des COGES et de la DGESS • Renforcement des capacités des agents chargés du suivi des COGES au ministère, de mars à nos jours 	Nombre de CEB-PF	Participants	Taux de renforcement (%)	553 personnes	550 personnes	99,5%																						
Nombre de CEB-PF	Participants	Taux de renforcement (%)																											
553 personnes	550 personnes	99,5%																											

P

Activités	Etat d'avancement																														
2-3 Faire l'état des lieux du modèle CCC dans la zone de la Phase I.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier de conception de l'approche pour le développement de l'éducation à travers la participation communautaire en septembre 2014. • Evaluation actuelle du modèle des CCC de la zone cible durant la première phase, de novembre à décembre 2015. 																														
2-4 Organiser une rencontre de partage des expériences dans la zone pilote des CCC y compris la zone de la Phase I	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Atelier sur l'évaluation actuelle des CCC de la zone cible durant la première phase et l'amélioration du modèle en septembre 2014 • Le partage d'expérience sur les CCC dans la région du Centre-Nord, y compris la zone cible au cours de la deuxième phase, se présente comme suit: <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.9: Participants aux rencontres de partage d'expériences dans trois (3) provinces de la région du centre-nord</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>DRENA/D PENA</th> <th>Commune</th> <th>CEB</th> <th>COGES</th> <th>Total/CCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bam</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>Namentenga</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>Sanmatenga</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>Total régional</td> <td>8</td> <td>45</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p>		DRENA/D PENA	Commune	CEB	COGES	Total/CCC	Bam	4	12	4	8	28	Namentenga	2	9	3	6	20	Sanmatenga	2	24	12	16	54	Total régional	8	45	19	30	102
	DRENA/D PENA	Commune	CEB	COGES	Total/CCC																										
Bam	4	12	4	8	28																										
Namentenga	2	9	3	6	20																										
Sanmatenga	2	24	12	16	54																										
Total régional	8	45	19	30	102																										
2-5 Assurer un accompagnement technique aux régions pour les réunions régionales de suivi des COGES sur l'ensemble du territoire national.	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Rencontres régionales pour le suivi des COGES, dans sept (7) régions, en novembre 2015. • Rencontre annuelle des DRENA-PF DPENA-PF, dans sept (7) régions, en novembre 2015. • Rencontres régionales pour le suivi, dans treize (13) régions, de mai à juin 2016. 																														
2-6 Expérimenter le modèle amélioré de la CCC dans la zone pilote et organiser un atelier d'évaluation	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Expérimentation du modèle d'amélioration des CCC <ul style="list-style-type: none"> ➢ Formation des acteurs de CCC dans quinze (15) communes de trois (3) provinces de la région du Centre-Nord, en janvier 2015. ➢ Mise en place de CCC dans les quinze (15) communes cibles, en février 2015. ➢ Élaboration des plans d'action provisoires des CCC dans les quinze (15) communes cibles, en février 2015. ➢ Organisation des assemblées générales pour l'élaboration des plans d'action des CCC des quinze (15) communes cibles, en mars 2015. ➢ Evaluation des activités des CCC dans les quinze (15) communes, d'octobre à novembre 2015. ➢ Organisation de l'atelier sur l'amélioration du modèle CCC (Stabilisation), en février 2016. 																														
2-7 Expérimenter le renforcement des capacités des membres COGES à travers les CCC, dans la zone pilote.	<p>[En cours]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Le renforcement des capacités des membres des COGES par la CCC, en juillet et août 2016, a été réalisé comme suit: <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.10:</p> <p style="text-align: center;">Formation des membres de COGES à travers les assemblées générales de CCC dans les quinze (15) communes expérimentales</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>1^{ère} Assemblée Générale</th> <th>2^{ème} Assemblée Générale</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>410 personnes</td> <td>200 personnes</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p>	1 ^{ère} Assemblée Générale	2 ^{ème} Assemblée Générale	410 personnes	200 personnes																										
1 ^{ère} Assemblée Générale	2 ^{ème} Assemblée Générale																														
410 personnes	200 personnes																														

12

Activités	Etat d'avancement
2-8 Finaliser le modèle de CCC.	<ul style="list-style-type: none"> • Atelier de stabilisation du modèle de CCC, en février 2016. • Activités de mise à jour des guides pour les CCC, en mars 2016. • Rencontre des premiers responsables du MENA et du MATDSI sur le modèle de CCC, en octobre 2016. • Adaptation du modèle CCC dans les communes à statut particulier (Ouagadougou et Bobo Dioulasso), en novembre 2016.
3-1 Collecter des informations sur l'état des lieux des activités des COGES visant l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire au niveau des pays voisins et du Burkina Faso.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Participation à la rencontre de partage d'expériences des groupes de la zone des Projets sur « l'Éducation pour tous » au Niger, en mars 2015. • Réalisation de l'enquête de base par le Projet, de septembre à décembre 2015. • Participation à l'atelier sur l'approbation du rapport des résultats de l'enquête d'évaluation des résultats scolaires en 2014, organisée par DGESS/MENA, en mai 2015. • Participation à la rencontre de partage et d'utilisation des résultats de l'étude sur l'amélioration de l'éducation par la gestion participative des écoles, organisée par le bureau de la JICA, en février 2015. • Participation à la formation conjointe des pays francophones « Gestion communautaire participative des écoles et amélioration de la qualité de l'apprentissage de l'enseignement primaire », en novembre 2016.
3-2 Organiser des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés menant des activités d'amélioration de la qualité des apprentissages.	<p>【Achevée】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Organisation d'un atelier d'échanges sur la coordination entre les organismes connexes, en février 2015. • Partage d'informations avec les structures ayant des approches similaires avec le MENA/EQAmE/UNICEF, HI., en décembre 2014. • Participation à la mise à jour du guide de l'EQAmE, de janvier à novembre 2015. • Participation à l'atelier sur l'élaboration du module de formation de l'EQAmE, en août 2015. *Participation à la rencontre de partage et d'utilisation des résultats de l'étude sur l'amélioration de la qualité de l'éducation à travers la gestion participative de l'école, organisée par le bureau de la JICA en février 2015.

12



Activités	Etat d'avancement															
<p>3-3 Expérimenter et capitaliser les acquis des activités relatives à l'amélioration de la qualité des apprentissages, à travers les activités des COGES dans la zone pilote.</p>	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Organisation d'un atelier en novembre 2015, sur l'élaboration d'un manuel conceptuel pour les parents d'élèves, dans le but d'améliorer la qualité des apprentissages. • Le Projet pilote «Étude expérimentale pour l'amélioration de la qualité des apprentissages.», de février à novembre 2016. Ce projet a eu des résultats tangibles quant à l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la sensibilisation des enseignants et des parents d'élèves, La démarche a consisté à: <ul style="list-style-type: none"> ➤ L'intervention du Projet : <ol style="list-style-type: none"> 1) l'élaboration d'un manuel de sensibilisation des parents d'élèves pour l'amélioration de la qualité des apprentissages: Ce manuel est destiné aux parents, pour leur permettre de comprendre le système éducatif et le rendement des apprentissages des élèves. 2) la formation des enseignants en vue d'améliorer la qualité des apprentissages: Une série de formations pour les enseignants a été organisée dans neuf cent quatre-vingt-cinq (985) écoles dans les trois (3) provinces cibles. ➤ L'implication des parents <ol style="list-style-type: none"> 1) Une réunion entre parents et enseignants à travers les activités pilotes a été organisée. Les données se présentent comme suit : <div data-bbox="619 936 1337 1099" data-label="Table"> <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.11 Données sur les réunions des parents-enseignants</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Fréquence annuelle par école</th> <th>Total des rencontres organisées dans la zone pilote</th> <th>Total des Participants</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,3 fois</td> <td>2 300</td> <td>133 709</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> </div> 2) Organisation de cours supplémentaires et d'examens blancs à travers des activités de sensibilisation lors des assemblées générales des COGES, les réunions sur les activités de sensibilisation des COGES: Outre les AG des COGES, les réunions sur les activités de sensibilisation ont été organisées en moyenne 1,4 fois par chaque COGES, soit 1 223 fois au total avec 79 099 participants. <ul style="list-style-type: none"> ➤ Efforts fournis par les enseignants, les parents et les COGES <p>Au cours de l'année, 123 heures de cours supplémentaires au total ont été organisés par les enseignants et les COGES de chaque école Cette situation se présente comme suit :</p> <div data-bbox="608 1464 1350 1659" data-label="Table"> <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.12 Cours supplémentaires organisés par les enseignants et les COGES</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Volume horaire annuel par chaque école</th> <th>Total de la fréquence annuelle</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Par les Enseignants</td> <td>74 heures</td> <td>59 694 fois</td> </tr> <tr> <td>Par les COGES</td> <td>49 heures</td> <td>39 703 fois</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> </div> 	Fréquence annuelle par école	Total des rencontres organisées dans la zone pilote	Total des Participants	2,3 fois	2 300	133 709		Volume horaire annuel par chaque école	Total de la fréquence annuelle	Par les Enseignants	74 heures	59 694 fois	Par les COGES	49 heures	39 703 fois
Fréquence annuelle par école	Total des rencontres organisées dans la zone pilote	Total des Participants														
2,3 fois	2 300	133 709														
	Volume horaire annuel par chaque école	Total de la fréquence annuelle														
Par les Enseignants	74 heures	59 694 fois														
Par les COGES	49 heures	39 703 fois														

12

Activités	Etat d'avancement																																		
3-4 Partager les bonnes pratiques sur l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers les activités des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Bonnes pratiques de l'étude expérimentale sur l'amélioration de la qualité de l'apprentissage par les activités des COGES. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Production du matériel audiovisuel sur les bonnes pratiques des COGES, de juillet à septembre 2016. ➢ Partage de ces bonnes pratiques à l'aide du matériel audiovisuel, de septembre 2016 à nos jours • Partage des bonnes pratiques à travers les autres activités des COGES. • Participation aux activités de la DGESS sur les bonnes pratiques des COGES, d'octobre 2015 à avril 2016. 																																		
4-1 Collecter des informations sur l'état des lieux des activités des COGES, la gestion des ressources au niveau des pays voisins et au Burkina Faso.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Situation actuelle et enquête prospective réalisée par le MENA sur la cantine scolaire • Participation à un atelier sur les analyses du Projet SABER au sujet de la cantine scolaire, organisé par la FAO en juillet 2015. • Réalisation d'une enquête sur le suivi et la réhabilitation des infrastructures scolaires, de juin à juillet 2015. 																																		
4-2 Partager des expériences et des informations avec les acteurs concernés par la gestion des ressources au niveau de l'école sur le rôle des COGES.	<p>[Achevée]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Échanges sur la gestion du suivi des infrastructures scolaires par les COGES, de juin 2015 à nos jours. • Échanges sur la gestion des cantines scolaires par le COGES, de janvier 2015 à nos jours. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Élaboration d'un guide provisoire sur la gestion des cantines scolaires pour les COGES, en novembre 2015. ➢ Participation à la rencontre mensuelle du PDSEB, intitulée Groupe thématique « amélioration de la qualité », de février 2015 à nos jours ; ➢ Échanges avec la DAMSSE sur la coordination de la politique de la gestion des cantines scolaires, en juillet 2016. • Activités génératrices de revenus, réalisées par les COGES, de septembre 2015 à juillet 2016: Le Projet a réalisé en collaboration avec l'UNICEF, une expérience sur les activités génératrices de revenus de type collectif au profit de soixante-quinze (75) COGES dans la région du Sahel. L'approche a été bien appréciée par la DGEF et la DAMSSE. Cette intervention a contribué à l'amélioration de l'environnement des apprentissages des élèves. Les données ci-dessous donnent des précisions sur l'intervention. <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.13: Nombre de bénéficiaires par activité génératrice de revenus</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>COGES concernés</th> <th>Femmes</th> <th>hommes</th> <th>Total</th> <th>Nombre moyen des bénéficiaires des AGR par COGES</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">64</td> <td style="text-align: center;">1 031</td> <td style="text-align: center;">659</td> <td style="text-align: center;">1 690</td> <td style="text-align: center;">26,4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.14: Taux de COGES améliorés sa fonctionnalité à travers les activités génératrices de revenus</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Réponse</th> <th>Nombre de COGES</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Oui</td> <td style="text-align: center;">53</td> <td style="text-align: center;">82,8 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Non</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">17,2 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Total</td> <td style="text-align: center;">64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Rapport du Projet</p> <p style="text-align: center;">Tableau 3.2.15: Pourcentage de COGES ayant eu un impact positif sur la scolarisation des filles</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Réponse</th> <th>Nombre de COGES</th> <th>Taux</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Oui</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">71,4 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Non</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">28,6 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Total</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	COGES concernés	Femmes	hommes	Total	Nombre moyen des bénéficiaires des AGR par COGES	64	1 031	659	1 690	26,4	Réponse	Nombre de COGES	Taux	Oui	53	82,8 %	Non	11	17,2 %	Total	64		Réponse	Nombre de COGES	Taux	Oui	45	71,4 %	Non	18	28,6 %	Total	63	
COGES concernés	Femmes	hommes	Total	Nombre moyen des bénéficiaires des AGR par COGES																															
64	1 031	659	1 690	26,4																															
Réponse	Nombre de COGES	Taux																																	
Oui	53	82,8 %																																	
Non	11	17,2 %																																	
Total	64																																		
Réponse	Nombre de COGES	Taux																																	
Oui	45	71,4 %																																	
Non	18	28,6 %																																	
Total	63																																		

R

A

Activités	Etat d'avancement
4-3 Organiser des séminaires de partage d'expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'Ouest	[Achevée] Participation du groupe de la zone aux rencontres de partage d'expériences des Projets sur « l'Éducation pour tous » au Niger, en mars 2015.
4-4 Clarifier le rôle des COGES dans la gestion des ressources et renforcer les capacités de ses membres.	[Achevée] <ul style="list-style-type: none"> • Capacités des COGES renforcées sur la gestion financière et matérielle <ul style="list-style-type: none"> ➢ Formations organisées pour les COGES sur la gestion financière, dans treize (13) régions, en décembre 2015. • Clarification du rôle des COGES et renforcement des capacités des membres en matière de gestion des cantines scolaires. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Manuel élaboré sur la « Gestion des cantines scolaires par les COGES » comme projet pilote, en novembre 2015 ➢ Formation des COGES sur la gestion des cantines scolaires par les COGES comme projet pilote, en février et mars 2016. ➢ Rapport synthèse des activités de la gestion des cantines scolaires par les COGES comme projet pilote, de juillet à octobre 2016. • Clarification du rôle du COGES et renforcement des capacités des membres sur les activités génératrices de revenus. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Participation à un atelier sur la mise à jour du module de formation, en août 2015. • Formation des COGES sur AGR dans 75 écoles du Sahel.
4-5 Partager les bonnes pratiques sur la gestion des ressources au niveau de l'école. par le COGES	[En cours] <ul style="list-style-type: none"> • Reproduction de supports audio-visuels sur les bonnes pratiques des COGES, de juillet à septembre 2016. • Distribution des supports audio-visuels sur les bonnes pratiques des COGES en cours.

3-3. Réalisations du Projet

3-3-1. Les résultats

La plupart des activités prévues ont été mises en œuvre avec succès et les résultats sont en cours de finalisation; ce qui devrait contribuer à la réalisation de l'objectif du Projet.

Résultat 1: Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées

Indicateur 1-1: Au moins 80% des écoles disposent d'un COGES mis en place démocratiquement

Les COGES sont mis en place démocratiquement dans 83,4% des écoles primaires sur l'ensemble du territoire national; l'indicateur 1-1 a été donc atteint.

Tableau 3.3.1: Nombre et taux des COGES mis en place (2014-2015)

Régions	Ecoles	COGES	Taux de mise en place
(1) Boucle du Mouhoun	1 233	1 077	87,3%
(2) Cascades	521	518	99,4%
(3) Hauts-Bassins	1 297	891	68,7%
(4) Sud-ouest	810	778	96,0%
Sous Total (2014-2015)	3 861	3 264	84,5%
(1) Sahel	931	930	99,9%
(2) Nord	1 207	1 138	94,3%

Régions	Ecoles	COGES	Taux de mise en place
(3) Est	1 182	1 129	95,5%
(4) Centre-Ouest	1 220	1 100	90,2%
(5) Centre-Sud	609	597	98,0%
(6) Centre	1 221	378	31,0%
Sous Total (2015-2016)	6 370	5 272	82,8%
Total	10 231	8 536	83,4%

Indicateur 1-2: Au moins 75% de plans d'action et de bilans annuels de COGES ont été récupéré par les services concernés.

Le taux de collecte des bilans annuels est passé de 59,5% en 2014-2015 à 68,8% en 2015-2016, malgré le boycott de certaines activités pédagogiques et administratives par les encadreurs pédagogiques chargés de la collecte de ces bilans. La DGESS/MENA a pris en compte les principaux items conçus par le Projet dans les statistiques annuelles afin d'assurer la remontée des informations nécessaires pour le suivi. Parallèlement, les Bilans Annuels des COGES collectés par le Projet contribuent à améliorer le partage des informations sur les activités des COGES. Cependant, il est nécessaire de tenir compte de :

- 1) l'adéquation du timing et de la fréquence ;
- 2) la méthode de collecte des données ;
- 3) l'utilité de ces données pour les encadreurs pédagogiques pour une analyse éventuelle.

C'est dans cette démarche que l'indicateur 1-2 pourrait être atteint. Il est donc nécessaire de renforcer la capacité de collecte des plans d'action et des bilans annuels.

Tableau 3.3.2: Taux de collecte des bilans annuels

	COGES	2013-2014		2014-2015		2015-2016	
		Nombre de BA	Taux de collecte	Nombre de BA	Taux de collecte	Nombre de BA	Taux de collecte
Plateau Central	780	718	92,1%	552	70,8%	621	79,6%
Centre-Est	882	788	89,3%	411	46,6%	817	92,6%
Centre-Nord	1 018	738	72,5%	520	51,1%	834	81,9%
Boucle du Mouhoun	1 077	*NMP	NMP	676	62,8%	883	82,0%
Cascades	518	NMP	NMP	149	28,8%	449	86,7%
Hauts-Bassins	891	NMP	NMP	634	71,2%	628	70,5%
Sud-Ouest	778	NMP	NMP	592	76,1%	699	89,8%
Sahel	930	NMP	NMP	NMP	NMP	528	56,8%
Nord	1 138	NMP	NMP	NMP	NMP	910	80,0%
Est	1 129	NMP	NMP	NMP	NMP	547	48,4%
Centre Ouest	1 100	NMP	NMP	NMP	NMP	0	0,0%
Centre Sud	597	NMP	NMP	NMP	NMP	519	86,9%
Centre	378	NMP	NMP	NMP	NMP	278	73,5%
Total	11 216	2 244	83,7%	3 534	59,5%	7 713	68,8%

Source: Rapport du Projet
*NMP : Non mise en place

Résultat 2: Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé

Indicateur 2-1: Une structure chargée de la gestion décentralisée de l'école est mise en place dans l'organigramme du MENA.

Les arrêtés ministériels et gouvernementaux suivants ont été respectivement pris le 31 mai 2014, et le 31 mai 2016. L'indicateur 1 a été donc atteint.

- Arrêté n° 2014-0082/MENA/DRH, portant nomination des membres de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles (SCDGE)
- Décret No 2016-435/PRES/PM/MENA, portant organigramme du MENA, dans lequel le SCGDE relève de la Direction générale de l'Education formelle (DGEF)

Indicateur 2-2: Au moins soixante-quinze (75) % des COGES sont suivis par leur CEB, au moins deux fois par an.

L'indicateur 2-2 n'est pas atteint. Des efforts doivent être fournis en vue d'assurer un suivi régulier des COGES. Par conséquent, il est nécessaire de doter à temps et en quantité suffisante du carburant aux encadreurs pédagogiques des CEB.

- Le suivi des activités des COGES a été mentionné dans « les instructions officielles de rentrée de 2013-2014 ». Sa mise en application de façon continue est fortement attendue.
- Le nombre de suivis en moyenne exécutés par les CEB est de 1,1 en 2015-2016. Le nombre de CEB ayant effectué un suivi des COGES plus de 2 fois par an est de 47 sur 381, soit 12,3%. Cela s'explique par le boycott de certaines activités administratives et pédagogiques mené par les encadreurs pédagogiques.

Indicateur 2-3: Au moins soixante-quinze (75) % des CCC de la zone pilote tiennent leurs assemblées générales, deux fois par an.

L'indicateur 2-3 n'est pas atteint.

- Le taux des CCC de la zone pilote ayant organisé deux fois par an leurs assemblées générales est de 67% en 2015-2016. La deuxième assemblée générale des cinq (5) communes a été reportée à raison de fortes pluies. De plus, les assemblées générales prévues pour l'année scolaire 2016-2017, ont été reportées à cause du boycott de certaines activités par les encadreurs pédagogiques.

L'atteinte de l'indicateur 2-3 est attendue au cas où les CCC continueront d'organiser de façon régulière des assemblées générales. Les conditions climatiques telles que la pleine saison hivernale (août), les boycotts et le manque d'engagement des acteurs ne doivent constituer en aucun cas un blocage à la mise en œuvre de ces AG. Ce qui signifie qu'il y ait non seulement une bonne planification mais que les différents acteurs s'approprient la philosophie des CCC.

Tableau 3.3.3: Nombre de rencontres CCC sur la zone pilote

	2014–2015	CCC Tenue AG	2015–2016	CCC Tenue AG
Première AG	fév. 2015	15/15	nov.–déc. 2015	13/15
Deuxième AG	juil. 2015	15/15	juil. 2016	10/15
Troisième AG	sep. - oct. 2015	15/15	sep. 2016	

Source: Rapport du Projet

L'organisation de la troisième AG n'est plus obligatoire à partir de l'année scolaire 2015/16. La collecte des données de la deuxième et dernière AG de 2015-2016 se poursuivra jusqu'en février 2017 ; ces données n'ayant pas été collectées pendant la période du boycott des encadreurs pédagogiques.

Indicateur 2-4: Au moins 1 fois par an, la réunion régionale de suivi des COGES est tenue

La réunion régionale pour le suivi des COGES se tient de façon continue depuis 2015 comme l'indique le Tableau 3.3.4 ci-dessous. Ces réunions ont pour but de présenter les résultats du suivi de l'année précédente, distribuer les fiches de suivi de l'année en cours et partager les bonnes pratiques en matière de suivi. Par conséquent, l'indicateur 2-4 a été atteint. Les réunions régionales de suivi de 2017 sont programmées au niveau de la DGEF pour être exécutées entre mai et juin 2017.

Tableau 3.3.4: Réunions régionales de suivi des COGES

Timing de Réunion	Type de Réunion	Source du fonds
nov. 2015	Réunion au niveau national pour les points focaux régionaux et provinciaux de sept régions	JICA
nov. 2015	Réunions régionales pour les points focaux régionaux, provinciaux et ceux des CEB de sept régions	MENA
mai et juin 2016	Réunions régionales de suivi pour les treize régions pour les points focaux des DRENA, des DPENA et des CEB	MENA

Source: Rapport du Projet

Indicateur 2-5: Le modèle de CCC est stabilisé, évalué et validé.

L'indicateur 2-5 est atteint. Cependant, il est nécessaire de réviser le modèle de la CCC afin de l'améliorer, au regard de quelques écarts constatés, notamment le faible taux de participation de COGES et le boycott des encadreurs pédagogiques.

- Le modèle de CCC de la deuxième phase a été stabilisé, évalué et validé lors de l'atelier de stabilisation du modèle, en février 2016.
- Les activités de généralisation ont été réalisées en grande partie sur le compte du budget du MENA, à l'exception de quelques grandes villes.
- Le modèle de CCC a été adapté aux communes à statut particulier (Ouagadougou et Bobo Dioulasso) et approuvé lors d'un atelier en novembre 2016.
- Le président de la CCC qui était le maire a été remplacé par le secrétaire général de la mairie. Ce qui a amélioré le fonctionnement des CCC.
- L'arrêté conjoint n°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF du 27 mars 2013 portant composition et fonctionnement des COGES et des CCC sera révisé courant 2017.

Table 3.3.5 : Fonctionnalité des CCC en 2015-2016

Commune	Nbre COGES	Nbre. de participation des COGES		Pourcentage de participation des COGES	
		1er AG	2ème AG	1er AG	2ème AG
Dablo	20	-	12	-	60,0%
Pensa	23	-	-	-	-
Nasséré	13	11	9	84,6%	69,2%
Guibaré	25	25	-	100,0%	-
Zimtanga	21	21	21	100,0%	100,0%
Rollo	27	27	27	100,0%	100,0%
Mané	37	35	35	94,6%	94,6%
Korsimoro	55	55	22	100,0%	40,0%
Boussouma	74	70	-	94,6%	-
Zéguédéguin	24	24	17	100,0%	70,8%
Yalgo	35	35	18	100,0%	51,4%
Boala	26	24	24	92,3%	92,3%
Pibaoré	24	-	15	-	62,5%
Ziga	33	33	-	100,0%	-
Pissila	55	50	-	90,9%	-
15 communes	492	410	200	83,3%	40,7%

Résultat 3: Les activités des COGES visant l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et diffusées sur l'ensemble du territoire national

Indicateur 3-1: L'efficacité de l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers les activités des COGES est confirmée dans la zone pilote.

L'indicateur 3-1 sera atteint si des efforts continus sont faits.

- L'impact positif des activités des COGES sur les apprentissages scolaires au niveau CP et CM a été constaté.
- Le Projet est en train de réaliser des activités pilotes en 2017 dans le but d'améliorer les apprentissages à domicile et les résultats de ces apprentissages serviront à améliorer les résultats des examens et à renforcer à terme l'efficacité interne.

Tableau 3.3.6: Comparaison des résultats des écoles avec et sans cours supplémentaires

Classe	Avec cours supplémentaires	Sans cours supplémentaires	Ecart
CP1	67,20%	54,90%	12,30%
CP2	63,70%	55,20%	8,50%
CE1	46,80%	42,30%	4,50%
CE2	46,80%	46,70%	0,10%
CM1	38,60%	39,60%	- 1,00%
CM2	47,50%	38,10%	9,40%

Source: Rapport du Projet

Indicateur 3-2: Au moins 80% des COGES sont informés des bonnes pratiques visant l'amélioration de la qualité des apprentissages.

L'indicateur 3-2 n'était pas atteint au moment de l'évaluation finale. Des efforts continus sont donc requis en vue de l'atteindre.

- Du matériel audiovisuel a été produit pour le partage des bonnes pratiques en vue de motiver davantage et de donner des conseils aux communautés.
- Le matériel audio-visuel produit a été distribué aux communes dans huit (8) régions et les bonnes pratiques ont été partagées lors des assemblées générales des CCC à travers d'une projection des films. Les cinq (5) régions restantes recevront leur matériel lors de la réunion régionale 2016/2017.
- Les expériences des activités pilotes ont été partagées dans les trois (3) provinces cibles lors d'un atelier en janvier 2017.
- Les bonnes pratiques seront partagées lors des assemblées générales 2016/2017 des CCC.

Résultat 4: Le système de gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.

Indicateur 4-1: Au moins 80% des COGES sont informés des bonnes pratiques relatives à la gestion des ressources.

Même cas pour Résultat 3

3-3-2. But du Projet

But du projet: Les COGES dans les écoles primaires sur l'ensemble du territoire national sont fonctionnels

L'indicateur 1 du but du Projet relatif à la réalisation des activités des COGES n'a pas été clairement mesuré du fait de la difficulté à confirmer la situation des COGES n'ayant pas soumis leurs bilans annuels.

L'indicateur 2 du but du Projet non plus n'a pas été atteint dû au faible taux de mobilisation financière par les COGES.

L'indicateur 3 concernant la fréquence des réunions et des assemblées générales est partiellement atteint.

Par conséquent, le but du Projet n'est donc pas atteint lors de l'évaluation finale.

Indicateur 1: Au moins 80% des COGES exécutent au moins une activité programmée dans le plan d'actions

Les bilans annuels des activités des COGES pour l'année scolaire 2015-2016 montrent que 92% des COGES qui ont soumis leur BA ont réalisé les activités prévues dans leurs plans d'actions. Cependant, l'indicateur 1 n'est pas encore confirmé pour mesurer la tendance globale, car le taux de

collecte des BA était de 69%. Deux situations peuvent se présenter. Si le reste des COGES n'ayant pas soumis leurs BA n'ont exécuté aucune activité, alors le taux de réalisation sera de 68,8%. Par contre, si ces COGES ont exécuté au moins une activité, le taux s'en trouvera amélioré.

Tableau 3.3.7: Nombre et taux de COGES n'ayant réalisé aucune activité en 2015–2016

	Nmbre de COGES	Bilans Annuels collectés	COGES sans aucune activité	
Plateau Central	780	621	12	1,9%
Centre-Est	882	817	33	4,0%
Centre-Nord	1 018	834	35	4,2%
Boucle du Mouhoun	1 077	883	95	10,8%
Cascades	518	449	34	7,6%
Hauts-Bassins	891	628	59	9,4%
Sud-Ouest	778	699	93	13,3%
Sahel	930	528	49	9,3%
Nord	1 138	910	42	4,6%
Est	1 129	547	44	8,0%
Centre-Ouest	1 100			
Centre-Sud	597	519	56	10,8%
Centre	378	278	37	13,3%
Total	11 216	7 713	589	7,6%

Source: Rapport du Projet

NB: Les BA n'ont pas été collectés dans la région du Centre-Ouest en raison de la grève des encadreurs pédagogiques.

Indicateur 2: En moyenne 60 % du montant prévu dans le plan d'action des COGES sont mobilisés.

Le taux de mobilisation financière est de 42,4% en 2015-2016 ; ce qui est en dessous du taux cible de 60%. Ce qui signifie que l'indicateur 2 n'est pas atteint au moment de l'évaluation finale. Cependant, le taux de mobilisation financière des régions pionnières est de 72%. Son atteinte est donc fortement attendue.

Tableau 3-3-8: Taux de mobilisation du budget

Montant prévu pour activités des COGES	Montant mobilisé pour activités des COGES	Taux de mobilisation du budget
2 297 744 384 FCFA	973 721 547 FCFA	42,4%

Source: Bilan annuel des COGES

Bien que n'ayant pas été considérée comme indicateur, une série d'activités de qualité a été programmée et réalisée en vue d'atteindre le but du Projet à travers les activités telles que la sensibilisation des enseignants, des parents et d'autres acteurs, afin de rendre les COGES plus visibles et fonctionnels. Ces activités ont été menées particulièrement dans le milieu rural où l'importance de l'éducation n'était pas bien perçue par les communautés.

12

15

Indicateur 3: En moyenne, 1 fois par an le compte rendu financier est fait, 2 fois par an les AG, 3 fois par an les réunions du bureau COGES sont organisés.

En moyenne, le nombre des comptes rendus financiers par chaque COGES était 1,4 fois. Le nombre des assemblées générales était 2,2 fois, et celui des réunions du bureau était 2,6 fois. Par conséquent, l'indicateur 3 a partiellement atteint au moment de l'évaluation finale.

Région	Nbre. de COGES	Nbre. de réunions du bureau		Nbre. d'AG		Nbre. de CR financiers	
		Nbre. total	Nbre./ COGES	Nbre. total	Nbre./ COGES	Nbre. total	Nbre./ COGES
BOUCLE DU MOUHOUN	862	2 115	2,5	1 495	1,7	997	1,2
CASCADES	370	888	2,4	739	2,0	510	1,4
CENTRE	271	722	2,7	647	2,4	285	1,1
CENTRE-EST	773	2 101	2,7	1 735	2,2	1 304	1,7
CENTRE-NORD	834	2 563	3,1	2 183	2,6	1 354	1,6
CENTRE-SUD	503	1 146	2,3	920	1,8	441	0,9
EST	526	1 398	2,7	1 367	2,6	785	1,5
HAUTS-BASSINS	615	1 351	2,2	1 067	1,7	755	1,2
NORD	806	2 241	2,8	1 982	2,5	1 200	1,5
PLATEAU CENTRAL	620	1 784	2,9	1 482	2,4	973	1,6
SAHEL	528	1 403	2,7	1 209	2,3	687	1,3
SUD-OUEST	683	1 817	2,7	1 344	2,0	858	1,3
Total général	7 391	19 529	2,6	16 170	2,2	10 149	1,4

Source: Rapport du Projet

3-3-3. Objectif Global

Objectif Global: La gestion participative de l'école primaire est améliorée sur l'ensemble du territoire national.

Indicateur 1: les salles de classes disponibles par rapport aux effectifs des élèves sont assurés (= moins de 50 élèves par salle de classe)

Le nombre moyen d'élèves par classe est réduit de 54,2 en 2008/2009 à 47,9 en 2015/2016. L'indicateur 1 a été atteint tel qu'indiqué dans le tableau 3-3-9. Le nombre de classes sous paillottes a été fortement augmenté pendant la période.

R

OX

Tableau 3-3-9: Nombre d'élèves/classe/type d'école

Année	2008 – 2009			2012 - 2013			2015 - 2016		
	Public	Privé	Total	Public	Privé	Total	Public	Privé	Total
Dur	25 642	4 159	29 801	33 135	5 973	39 108	39 993	8 879	48 872
Semi- dur	1 116	1 640	2 756	1 633	2 453	4 086	2 242	3 377	5 619
Sous paillottes	2 134	336	2 470	3 920	568	4 488	4 670	661	5 331
Autres	54	48	102	22	5	27	100	16	116
Total	28 946	6 183	35 129	38 658	8 987	47 645	47 005	12 933	59 938
Nombre d'élèves	1 635 036	271 243	1 906 279	2 059 856	406 523	2 466 379	2 314 070	558 979	2 873 049
Elèves/Classe	56,9	43,9	54,2	53,3	45,2	51,8	49,2	43,2	47,9

Source: Données statistiques de la DGESS

Indicateur 2 : Le volume horaire nécessaire aux apprentissages est assuré (= le volume horaire d'apprentissage atteint par le COGES à travers les activités de qualité est au moins 65 heures en moyenne/ COGES/ an).

L'indicateur 2 n'est pas atteint lors de l'évaluation finale comme décrit ci-dessous.

- Le nombre moyen d'heures de cours supplémentaires était de 32 heures/an organisés par les COGES et 61 heures/an par les enseignants.
- Le nombre moyen d'heures de cours supplémentaires dans la zone pilote était de 49 heures/an organisés par les COGES et 74 heures/an par les enseignants.

Il est nécessaire d'impliquer les enseignants et les communautés dans la gestion de l'école afin d'améliorer les apprentissages. Il est particulièrement nécessaire que les COGES prennent des dispositions pour mieux gérer les écoles et organiser des «cours supplémentaires» afin que le temps d'apprentissage qui est inclus dans l'indicateur soit approprié.

Le système de gestion des écoles sera renforcé lorsque les COGES joueront d'importants rôles au sujet : (i) des cantines scolaires offerts par le MENA et par les partenaires techniques et financiers; (ii) l'implication des communautés dans le suivi de la réalisation des infrastructures scolaires; (iii) l'augmentation des revenus; et (iv) l'amélioration de l'environnement et des rendements scolaires. En outre, les mairies comprennent les besoins des COGES de chaque école et fournissent convenablement les informations appropriées, en vue de créer un environnement d'apprentissage à travers la construction des infrastructures scolaires, l'octroi du matériel nécessaire, notamment les manuels scolaires, les bureaux, les tableaux etc... La gestion participative des écoles sera améliorée avec l'implication des communes lorsque les encadreurs pédagogiques communiqueront les informations relatives à la situation de l'éducation, et clarifieront les rôles des différents acteurs (la communauté, les encadreurs pédagogiques, l'école les COGES et les élèves) lors des assemblées générales des CCC.

3-3-4. Finalité

Finalité: L'accès à l'éducation et la qualité des apprentissages à l'école primaire sont améliorés.

Le taux brut de scolarisation, le taux d'admission, le taux d'achèvement, le nombre d'abandons et le taux de réussite au CEP sont les indicateurs fixés pour évaluer la finalité du Projet. Depuis la mise en œuvre de la première phase du Projet en 2009, les taux d'admission et de scolarisation se sont constamment améliorés comme indiqués dans le Tableau 3-3-10. Bien que cela relève de plusieurs facteurs qui ont permis d'accroître ces indicateurs, la contribution des activités des COGES qui ont permis d'accroître ces indicateurs a été fortement évoquée et identifiée lors des interviews au cours de l'évaluation finale.

Tableau 3-3-10: Indicateurs sur l'Education

	Taux brut de scolarisation	Taux d'admission	Taux d'Achèvement	Nombre d'abandons	Taux de réussite au CEP
2009-2010	74,8%	85,8%	45,9%	207 271	65,9%
2010-2011	77,6%	85,7%	52,1%	178 322	64,0%
2011-2012	79,6%	88,3%	55,1%	191 753	65,2%
2012-2013	81,3%	92,8%	59,5%	182 013	60,9%
2013-2014	83,0%	97,0%	57,6%	178 317	82,2%
2014-2015	83,7%	98,8%	59,3%	151 275	73,4%
2015-2016	86,1%	100,1%	57,9%	143 795	67,3%

Source: Statistiques de l'Education de base, DGESS

3-4. Résultats de l'Évaluation

3-4-1. Processus de mise en oeuvre

(1) Facteurs positifs au processus

Intégration des activités du Projet dans la politique nationale

L'approche et les activités du Projet sont bien intégrées dans la politique nationale du MENA. Certaines structures du MENA ainsi que d'autres partenaires ont commencé à valoriser les COGES mis en place par le Projet. La présentation et le partage d'informations sur les résultats du Projet au cours de divers séminaires et ateliers ont convaincu plus d'un de la pertinence de la généralisation des COGES dans le pays. C'est l'opinion que nous avons eue par exemple, en présentant les résultats du Projet lors du "séminaire d'information et de réflexion sur les résultats de trois études concernant l'amélioration de la qualité de l'éducation via la gestion participative de l'école" organisé par la JICA" (fév. 2015). Cela a permis de soutenir davantage, financièrement et techniquement, la stratégie de généralisation de la mise en place des COGES à l'échelle nationale et de leur pérennisation.

L'accent mis sur l'amélioration de la qualité des apprentissages par la mise en œuvre des activités des COGES

Le Projet s'est focalisé sur l'introduction des activités des COGES qui agissent

directement sur l'amélioration des enseignements/apprentissages des élèves en partant des besoins réels de la communauté et la contribution de parents. Cela a renforcé le volet amélioration des résultats scolaires au détriment du volet environnement scolaire. De plus, la participation de la communauté s'est améliorée avec le partage d'informations de base sur le système éducatif et les résultats des apprentissages des élèves. Sur la base de cette expérience, la philosophie du COGES est mieux comprise et acceptée par les communautés comme indiqué dans la section "5. Recommandation".

Fort engagement de la partie burkinabè

Le fait que le Gouvernement du Burkina Faso couvre la majeure partie des coûts du Projet à hauteur de 70 % et la mise en place du Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des écoles indiquent que la partie burkinabè s'est fortement engagée pour la mise en œuvre des activités du Projet. Toutes les formations pour la généralisation des COGES ont été soutenues et suivies par les membres de l'équipe nationale qui ont déployé d'énormes efforts pour résoudre les problèmes de boycott par les participants et cela à travers de nombreuses démarches menées auprès des structures syndicales (partenaires sociaux de l'éducation de base). La présence du service en charge des COGES permettra d'assurer la durabilité du suivi des COGES.

(2) Facteurs négatifs

Le boycott des encadreurs pédagogiques

En 2016, les encadreurs pédagogiques ont observé un mot d'ordre de boycott de leur syndicat. Ainsi, les activités administratives et pédagogiques ont fait l'objet de suspension sur le terrain. Cette situation a joué négativement sur le suivi et la collecte des données des COGES et des CCC.

Acteurs principaux du terrain non formés (Directeurs d'école, Encadreurs pédagogiques)

Après la généralisation des COGES, compte tenu de la mobilité du personnel, les directeurs d'école, tout comme les encadreurs pédagogiques, maillon incontournable du système de suivi, n'ont pas bénéficié de la formation. Il appartient au MENA de trouver un cadre de formation pour ces acteurs.

3-4-2. Évaluation par les cinq Critères

Les résultats de l'évaluation par les cinq critères à savoir la pertinence, l'efficacité, l'efficience, l'impact et la viabilité sont résumés ci-dessous.

12

Pertinence: Elevé

Besoins des acteurs concernés

(+) Etant donné que les COGES appuyés par le Projet bénéficient des cantines scolaires de la part du MENA, l'amélioration de la qualité des apprentissages et les activités génératrices de revenus, le but du Projet répond aux besoins des acteurs concernés. Tout en réalisant les activités selon leurs plans d'actions, les COGES répondent aux besoins des communautés.

Priorité Politique

(+) PDSEB (Programme de Développement stratégique de l'Education de Base 2012-2021): Les COGES qui ont été mis en place dans le cadre du Projet sur le plan national devront servir continuellement d'acteurs de la mise en œuvre de la politique en matière d'éducation. La généralisation des COGES est un enjeu important dans le PDSEB. Ainsi, le MENA a fourni le budget nécessaire pour cette généralisation, malgré la crise socio politique qu'a connue le Burkina Faso. Le MENA reconnaît le caractère démocratique et transparent de la gestion des COGES dans le processus, et s'attend au potentiel des COGES telles que les activités génératrices de revenus, l'utilisation des ingrédients dans les cantines scolaires, la gestion de la construction des écoles au niveau communautaire, le rôle de liaison pour recevoir les subventions etc... PDSEB 2012–2021 vise ; entre autres, la mise en place des COGES dans toutes les écoles du Burkina Faso avant 2015.

(+) Le plan de coopération du Ministère des Affaires Etrangères du Japon pour le Burkina Faso (avril 2015) indique son assistance prioritaire pour l'amélioration de la qualité de l'éducation. L'offre d'assistance pour la gestion basée sur l'école à travers les Projets "École pour Tous" a été acceptée lors de la 5^{ème} Conférence Internationale de Tokyo sur le Développement de l'Afrique (TICAD) en 2013.

Opportunité des Moyens

(+) Les facteurs importants à prendre en compte pour rendre les «COGES fonctionnels» sont :

- 1) le choix des membres par élection démocratique ;
- 2) la tenue de formations sur la gestion des écoles ;
- 3) la gestion transparente des ressources mobilisées par les COGES ;
- 4) le système de suivi continu.

Ils ont été inclus sur la base des expériences de PACOGES phase 1 et de projets similaires d'autres pays. En outre, l'appui pour la mise en place du modèle des CCC depuis la phase 1 du Projet est une approche importante pour les autorités de la décentralisation afin de prendre en compte les besoins des communautés dans la promotion de la décentralisation en lien avec le système éducatif. En atteste la nomination du point focal (FP) des activités des COGES au niveau du MATDSI. Le choix des régions pilotes des CCC a également été confirmé comme étant raisonnable, en raison de l'accessibilité à partir

12

du centre et de la disponibilité des personnes concernées.

(+) Le Projet a pris en compte d'importants éléments, afin de rendre les COGES fonctionnels, tels que les élections démocratiques, la formation sur la gestion participative des écoles et le suivi durable, à base des expériences de la phase I du Projet et des expériences de projets similaires dans d'autres pays.

Efficacité: Modéré

Potentiel pour atteindre le but du Projet

(Les COGES sont fonctionnels dans toutes les écoles primaires du pays)

(-) Comme indiqué au 3.3.2 But du Projet, les indicateurs appropriés pour mesurer l'atteinte du But du Projet n'ont pas été réunis lors de l'évaluation finale. Comme le projet travaille à collecter les BA nécessaires prouvant l'atteinte du But du Projet, ce type de suivi devrait se poursuivre.

Relations de Cause à effet

(+) Les relations logiques entre le But du Projet et chaque résultat sont appropriées. Sans le renforcement des capacités des acteurs du COGES (résultat 1) et le système d'appui/suivi durable (résultat 2), l'amélioration de la qualité des apprentissages (résultat 3) et le système de gestion des ressources (résultat 4) le but de Projet ne serait pas atteint.

Facteurs favorisant et facteurs entravant l'efficacité

(+) Le Projet a favorisé l'amélioration de la qualité des apprentissages des écoliers à travers les COGES. Selon les bilans annuels de l'année scolaire 2015-2016, 83% des activités des COGES ont contribué directement à l'amélioration de la qualité des apprentissages plutôt qu'à la promotion des conditions d'apprentissage et des infrastructures scolaires. Cette approche utilise efficacement les ressources financières du COGES pour atteindre l'Objectif Global du Projet.

Efficience: Relativement Élevé

Activités et apports pour la production des résultats

(+) Les matériels élaborés par le Projet incluant les guides sont appréciés et pleinement utilisés par les acteurs.

(+) Le Projet a exécuté les activités avec un minimum de dépenses en reprenant les infrastructures et équipements de la phase I du Projet. Le Projet a été aussi en mesure de bien exploiter les expériences passées et les matériels élaborés dans la première phase avec des modifications mineures.

(+) L'introduction d'un nouveau système de rapport/suivi a rendu plus efficace les données sur les apports et le calcul des plans d'action et des bilans annuels. Cela a aussi renseigné l'équipe nationale sur les situations détaillées de chaque COGES.

(+) On s'attend à ce que l'utilisation du système existant de suivi des CEB assure le mécanisme fonctionnel et efficace de suivi des COGES. Cela va certainement rehausser le niveau d'implication et l'appropriation au niveau communal.

(+) La plupart des membres de l'équipe nationale et les points focaux sont toujours en place depuis que le Projet a commencé et le nombre et la qualification des agents permettent une bonne mise en œuvre du Projet.

Facteurs contribuant et facteurs entravant l'efficience

(+) Durant la période de mise en œuvre, le Projet a en outre, exécuté des activités de gestion des lampes pour les apprentissages pendant la nuit, de programme de santé scolaire et d'offre d'informations sur la fièvre hémorragique à virus Ebola à travers le COGES en répondant aux besoins et aux priorités du moment.

(-) La mise en place des COGES a pris du retard par rapport au plan d'opérationnalisation initial à cause de l'allocation tardive des fonds dû à la crise socio-politique de 2014. La période de généralisation dans les six régions a dû aussi affecter la qualité des formations pour la généralisation de COGES.

Coordination avec d'autres appuis japonais

(+) Une série de coopérations financières non-remboursables et de coopération technique ont permis de construire des salles de classe d'écoles primaires, une ENEP et d'améliorer les compétences des élèves en mathématiques et en sciences. Ces appuis ont favorisé le développement de la composante matérielle de l'enseignement primaire parallèlement à la composante technique de ce Projet. Le Projet a participé au séminaire sous régional de partage d'expériences pour le groupe du Projet « École Pour Tous » au Niger en mars 2015 et a également fait un partage d'expériences avec des Projets similaires de la Côte d'Ivoire, du Ghana, de Madagascar, du Mali, du Niger et du Sénégal. .

Impact: Élevé

Perspectives pour l'atteinte de l'Objectif Global et de la Finalité

(+) Comme indiqué dans 2.3.3 (Objectif Global) et dans 2.3.4 (Finalité), le Projet a contribué à améliorer certains indicateurs.

Logique entre l'Objectif Global du Projet et le But du Projet

(+) Il est certain que l'atteinte du But du Projet contribuera à l'amélioration de la gestion participative des écoles primaires, car les COGES sont engagés pour l'amélioration de la gestion des écoles par les parents, les enseignants et les acteurs concernés, au niveau communautaire à travers le pays.

L'impact du Projet sur le MENA, au sujet de l'élaboration des politiques

(+) Le Projet vise la généralisation du modèle des CCC au niveau des communes. Cependant le MENA réalise déjà la généralisation des CCC sur le plan national à travers le budget de la contrepartie de 2016. Ceci est conforme aux besoins du MENA, qui est disposé à promouvoir la décentralisation de l'éducation au niveau communautaire parce que le Projet a confirmé les avantages sur l'efficience interne, les résultats au CEP, et la promotion du développement de l'éducation au niveau communautaire à travers des activités pilotes.

Effets du Projet sur les facteurs techniques des COGES.

(+) Les activités des COGES contribuent à la coordination des interventions et à l'amélioration de l'impact des activités des membres de la communauté, des enseignants et des autres acteurs. Cela peut être illustré de façon concrète par la réduction du taux d'absence des enseignants, des élèves en raison de l'appui des membres de la communauté et l'utilisation efficace du budget, du matériel et des informations fournies par la commune et le MENA.

Autres Impacts

(+) L'amélioration du niveau de compréhension et de connaissance des parents d'élèves sur l'éducation a contribué à augmenter le temps d'apprentissage des élèves et a créé un environnement d'apprentissage meilleur dans le secteur de l'éducation en milieu rural. Il est donc nécessaire d'accroître l'efficacité interne des indicateurs éducatifs, tels que la réduction du taux de redoublement et d'abandon.

(+) De divers efforts à travers les COGES, tels que les services dans le secteur de l'éducation, la décentralisation et la participation des communautés dans la construction des écoles ont été promus, non seulement par le MENA, mais aussi par d'autres partenaires techniques et financiers.

(+) La collaboration entre les acteurs des COGES et la gestion transparente des ressources ont contribué à promouvoir le capital social au niveau de la communauté.

Durabilité: Modéré

(-) Etant donné que le système du suivi et le cadre de concertation au niveau de commune ne fonctionnent pas comme prévu, la durabilité des COGES n'est pas encore assurée.

Aspects politique et institutionnel

(-) La mise en place du nouvel organigramme du MENA, conduit la plus part les responsables formés pour la mise en place des COGES à connaître une mobilité ; ce qui ne favorise pas le suivi des COGES.

(+) La mise en place des COGES a déjà été validée en tant que structure officielle d'organisation

R

DA

communautaire dans le “Décret No. 2008-236 portant organisation de l’enseignement primaire” pris en 2008.

Aspect Institutionnel

(+) L’arrêté ministériel portant nomination des membres du SCGDE (N°2014-0082/MENA/SG/DGEB) a été signé le 02 juillet 2014. Le SCGDE s’occupe exclusivement de la promotion des COGES avec un personnel de 8 agents relevant de la DGEF/ MENA.

(+) Le Projet a encouragé l’application du modèle COGES par les programmes des autres structures du MENA et par d’autres agences d’aide à travers divers séminaires et ateliers. Le fonctionnement du COGES étant renforcé par des soutiens supplémentaires incluant des ressources financières venant de ces programmes, il va s’en dire que la viabilité institutionnelle du COGES sera aussi renforcée.

(-) Il est important d’éclaircir les fonctions de la structure en charge du fonctionnement des écoles, et de la coordination de la gestion décentralisée des Ecoles à l’après-Projet. Bien que le suivi relève des responsabilités de cette structure, diverses activités des COGES peuvent être confiées à un service spécifique à l’avenir qui utilisera séparément les COGES pour exécuter ses tâches, par exemple, la gestion des cantines scolaires, des infrastructures scolaires des subventions scolaires et des activités génératrices de revenus. Par conséquent, il est nécessaire de clarifier les autres responsabilités en plus de celles des suivis.

Aspects Financiers

(+) Le nombre des membres de la structure en charge de la Coordination de la Gestion décentralisée qui était de trois (3) au début du Projet, est passé à huit (8). Un (1) est admis à la retraite et un (1) à un concours professionnel ; donc deux (02) départs. quitté. Le budget a été également suffisant pour la rénovation du bâtiment de la structure en 2015 et pour la réalisation des activités. En outre, les frais pour le suivi des COGES au niveau des CEB étaient également toujours disponibles.

(+) La réflexion va se poursuivre au niveau du MENA en matière de subvention en lien avec la gestion de la cantine scolaire par les COGES.

Aspect Technique

(+) La majorité des formateurs nationaux a assez de compétence pour conduire des formations relative à la mise en place du COGES, et la plupart des participants expriment leur satisfaction pour ces formateurs.

R

A

4. Conclusion

La généralisation des COGES fonctionnels au niveau des écoles primaires sur l'ensemble du territoire a été conduite par le MENA. Le fonctionnement des COGES a été renforcé au regard des résultats du Projet. Le Projet a contribué positivement pour l'atteinte du but final du Projet visant à améliorer l'indicateur de l'éducation tel que le taux de scolarisation.

Etant donné que les besoins des groupes cibles et les politiques du Burkina Faso et du Japon sont restés constants par rapport au but du Projet jusqu'à l'évaluation finale. Cette évaluation finale se résume ainsi qu'il suit :

- La pertinence est jugée élevée. Puisque les indicateurs du but du Projet par rapport aux résultats n'ont pas été totalement atteints ;
- L'efficacité est considérée modérée car les activités du Projet ont été exécutées avec un peu de retard à cause des troubles socio-politiques ;
- Quant à l'efficience du Projet, elle est évaluée comme étant relativement élevée. La quantité, la qualité et le timing des contributions sont aussi relativement appropriés ;
- L'impact du Projet est évalué comme élevée. En effet, quand bien même des études détaillées d'impact sont requises, certaines contributions des activités COGES sur le but global et le but final ont été identifiées ;
- Enfin, la durabilité est évaluée comme modérée. Les aspects politiques et financiers de la viabilité ont été identifiés; mais le système de suivi et le cadre de concertation sont nécessaires à améliorer pour assurer la pérennité des activités des COGES.

Sur la base de l'évaluation, des recommandations pour la période restante du Projet sont mentionnées dans le chapitre suivant. Il est jugé nécessaire de faire la prolongation de la période du Projet jusqu'en décembre 2017 afin de répondre aux recommandations.

5. Recommandations

L'Equipe de l'évaluation finale du PACOGES 2 a formulé les recommandations suivantes en vue de capitaliser et de pérenniser les acquis du Projet :

- (1) Pérenniser le renforcement des capacités des acteurs autour des Comités de Gestion d'Ecole (COGES) sur le territoire national ;
- (2) Consolider le dispositif de suivi-accompagnement des COGES ;
- (3) Finaliser le modèle de Coordination Communale des COGES (CCC) fonctionnelle ;
- (4) Assurer le renouvellement régulier des bureaux COGES ;
- (5) Consolider le modèle d'amélioration des apprentissages appuyée par les COGES ;
- (6) Renforcer la coordination et la collaboration entre le SCGDE et les différentes structures autour des COGES ;
- (7) Capitaliser, documenter et partager les expériences du Projet.

<p>(1) Pérenniser le renforcement des capacités des acteurs autour des Comités de Gestion d'Ecole (COGES) sur le territoire national</p> <p>Suite à la généralisation du modèle de COGES, il est nécessaire de renforcer les capacités des différents acteurs autour des COGES de manière continue et à temps. Les cibles sont entre autres les encadreurs pédagogiques et les directeurs d'école nouvellement affectés ou n'ayant pas assisté à la formation sur le COGES et les membres des bureaux COGES nouvellement mis en place ou renouvelés.</p>		
Tâches	Responsables	Période
➤ Organiser la formation et le recyclage des membres des bureaux COGES à l'occasion des assemblées générales des Coordinations communales des COGES (CCC) ;	SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	Pendant et après le Projet
➤ Intégrer les modules de formation sur le COGES dans les programmes de formation initiale et continue des enseignants et des encadreurs pédagogiques ;	SCGDE/DGEF, DGPFC/MENA	Pendant et après le Projet
➤ Elaborer un dispositif de mise à disposition des outils/supports relatifs au COGES et à la CCC (en identifiant les structures responsables et en budgétisant leur reprographie et leur distribution).	SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	Pendant et après le Projet
<p>(2) Consolider le dispositif de suivi-accompagnement des COGES</p> <p>Pour pérenniser le fonctionnement des COGES, il est essentiel de consolider le dispositif de suivi-accompagnement des COGES.</p>		
Tâches	Responsables	Période
➤ Prendre en compte le suivi-accompagnement des COGES dans la lettre de mission des encadreurs pédagogiques. L'ensemble des activités administratives et pédagogiques font l'objet de suivi par les encadreurs pédagogiques;	SCGDE/DGEF/MENA	Pendant et après le Projet
➤ Budgétiser et organiser la réunion régionale des Points Focaux COGES pour le suivi-accompagnement des COGES ;	SCDGE/DGEF, DGESS/MENA	Pendant et après le Projet
➤ Assurer le suivi-accompagnement régulier des CCC pour leur bon fonctionnement ;	SCDGE/DGEF/MENA, MATDSI	Pendant et après le Projet
➤ Elaborer et publier le rapport annuel du fonctionnement des COGES.	SCDGE/DGEF, DGESS/MENA	Pendant et après le Projet
<p>(3) Finaliser le modèle de Coordination Communale des COGES (CCC) fonctionnelle</p> <p>La CCC a joué et jouera des rôles importants dans le renforcement du fonctionnement des COGES en facilitant le partage d'expériences entre les COGES à l'occasion de ses AG, la communication entre les COGES et la commune (sur la dotation de fournitures scolaires, l'approvisionnement des vivres pour la cantine scolaire, la construction de salles de classe) et le renforcement des capacités des COGES.</p> <p>Cependant, il a été constaté que certains COGES participaient à la CCC de façon passive et</p>		

que le fonctionnement de la CCC était largement influencé par la disponibilité des acteurs au niveau de la commune et/ou de la CEB. Cela pourrait s'expliquer par le fait que la CCC est un organe dirigé par l'autorité, alors que dans le cas du COGES, il est géré par la communauté.

Il semble donc précoce de procéder à la généralisation du présent modèle de CCC et nécessaire de capitaliser les expériences des CCC pour que le modèle soit consolidé et finalisé.

Tâches	Responsables	Période
➤ Réviser le modèle de CCC pour que la communauté puisse participer à la CCC de manière plus active (par exemple, en responsabilisant davantage les représentants des COGES dans le fonctionnement du bureau CCC) ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	D'ici à la fin du Projet
➤ Favoriser le partage d'expériences entre les CCC à travers l'organisation régulière de rencontres des CCC au niveau régional ou provincial ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	Pendant et après le Projet
➤ Elaborer un texte réglementaire qui va faciliter l'exécution du budget de la commune pour le fonctionnement des COGES ;	MENA, MATDSI	D'ici à la fin du Projet
➤ Expérimenter le modèle de CCC dans les communes urbaines à statut particulier de Ouagadougou et de Bobo-Dioulasso ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	Après l'élaboration du texte réglementaire
➤ Réviser l'Arrêté conjoint N°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF du 27 mars, portant composition et fonctionnement du Comité de Gestion de l'Ecole sur la base du modèle de CCC finalisé.	MENA, MATDSI	Après la finalisation du modèle de CCC

(4) Assurer le renouvellement régulier des bureaux COGES

Il est important de renouveler les bureaux COGES dont le mandat a expiré pour assurer la gestion transparente et le bon fonctionnement des COGES. Pour le moment, la période de renouvellement varie entre les COGES en fonction de la période de leur mise en place. Il serait pertinent d'harmoniser la période du renouvellement pour tous les COGES afin de faciliter l'organisation d'une campagne nationale sur cette problématique.

Tâches	Responsables	Période
➤ Prendre un texte pour harmoniser la période de renouvellement de tous les COGES afin de faciliter l'organisation et le suivi d'une campagne nationale ;	SCGDE/DGEF/MENA	Pendant et après le Projet
➤ Organiser régulièrement une campagne nationale pour le renouvellement des bureaux COGES.	SCGDE/DGEF/MENA	Après le Projet

(5) Consolider le modèle d'amélioration des apprentissages appuyée par les COGES

Selon le rapport des activités pilotes pour l'amélioration des apprentissages en 2015-2016, les résultats de la composition harmonisée trimestrielle, surtout chez les élèves de CP et de CM2,

ont été améliorés grâce aux cours supplémentaires et au travail à la maison appuyés par les COGES. Les résultats du CM2 seraient liés à l'utilisation des annales pour les examens d'entrée en 6ème. Quant aux CP, il semble nécessaire de faire une étude approfondie pour établir le lien concret de cause à effet entre les interventions et les résultats au niveau de chaque école même s'il est possible que la formation des parents d'élèves sur l'éducation ait impacté positivement sur les résultats. Par rapport aux CE, il n'était pas possible de confirmer une amélioration des résultats. Compte tenu de l'importance de la consolidation des acquis dès le CP et le CE, il importe de trouver la démarche appropriée et les moyens nécessaires pour renforcer et pérenniser ces acquis.

Pour l'année scolaire 2016-2017, le Projet a démarré une activité pilote ciblant les élèves de CP uniquement. Il est donc proposé de capitaliser les acquis de cette activité jusqu'à la fin du Projet. En plus, il est recommandé que le MENA suive les résultats scolaires des élèves après la fin du Projet pour qu'il puisse identifier et mesurer l'impact des interventions pour les élèves de CP sur leurs apprentissages dans les classes supérieures. Cela permettra de renforcer l'orientation du ministère vers l'éducation de qualité pour tous en s'appuyant sur la participation communautaire.

Tâches	Responsables	Période
➤ Mener une analyse pour mesurer l'impact de l'intervention du Projet sur l'amélioration des apprentissages scolaires au CP avec l'appui des COGES ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF, DGESS/MENA	D'ici à la fin du Projet
➤ Suivre les acquis de cette intervention et les pérenniser dans les classes de CE et CM.	SCGDE/DGEF, DGESS/MENA	Après le Projet

(6) Renforcer la coordination et la collaboration entre le SCGDE et les différentes structures autour des COGES

Le Service de la coordination de la gestion décentralisée des écoles (SCGDE) a joué de plus en plus des rôles importants pour le renforcement du fonctionnement des COGES et pour l'accompagnement dans les différentes initiatives autour des COGES (la cantine scolaire, la construction de salles de classe, la subvention scolaire, etc.). Ces initiatives autour de la gestion décentralisée, cependant, exigent la coordination et la collaboration avec les structures chargées des problématiques et la prise de décision en tant que ministère qui dépasserait la responsabilité du SCGDE. A cet effet, il serait idéal d'ériger le SCGDE en direction technique pour que les différentes initiatives autour de la gestion décentralisée soient prises en charge comme recommandé à l'occasion de l'évaluation à mi-parcours. Si cela ne peut pas se réaliser dans un bref délai, il est recommandé de prendre des mesures pour assurer la coordination et la collaboration entre les différentes structures.

Tâches	Responsables	Période
➤ Redéfinir les missions et les attributions du SCGDE et de ses divisions ;	MENA	D'ici à la fin du Projet
➤ Repositionner le SCGDE dans une direction ayant une relation en termes de suivi et de capitalisation ;	MENA	D'ici à la fin du Projet
➤ Assurer le budget pour la mise en œuvre des activités du SCGDE ;	MENA	Pendant et après le Projet
➤ Mettre en place un mécanisme de collaboration et de coordination entre les	MENA	Pendant et après le Projet

P

DA

	différentes structures concernées autour de la gestion décentralisée en s'appuyant sur les COGES (par exemple la mise en place d'un cadre de concertation sur la cantine scolaire).		
(7)	Capitaliser, documenter et partager les expériences du Projet Il est proposé d'effectuer les activités ci-dessous pendant la phase de prolongation du Projet jusqu'au mois de décembre 2017.		
	Tâches	Responsables	Période
	➤ Mettre en œuvre les activités en tenant compte des recommandations faites ci-dessus ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	D'ici à la fin du Projet
	➤ Collecter et compiler les données relatives aux indicateurs d'évaluation du cadre logique du Projet et au fonctionnement des COGES pour l'année scolaire 2016-2017 ;	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	août – novembre 2017
	➤ Organiser un atelier national de partage des expériences du Projet.	Equipe PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	novembre – décembre 2017

6. Leçons apprises

Impact multisectoriel du COGES : catalyseur/facteur de développement communautaire

L'école primaire en Afrique est l'une des structures publiques la plus proche de la communauté. À partir de la généralisation des Comité de gestion d'école, il est désormais possible de l'utiliser pour aborder différentes questions. Le Comité de gestion d'école, en tant qu'organe du système éducatif, peut également contribuer à résoudre des problèmes multisectoriels au-delà du secteur de l'éducation grâce à la participation des différents membres de la communauté et à la confiance mutuelle créée entre eux.

Dans le cadre du PACOGES du Burkina Faso, une campagne de sensibilisation a été organisée au début de l'année 2015 pour la prévention de la fièvre hémorragique à virus Ebola à travers le réseau des COGES. C'est une bonne pratique qui a débuté avec quatre (4) formateurs centraux par la formation des encadreurs pédagogiques dans les quatre (4) régions cibles et a abouti à la sensibilisation de près de sept-cent mille (700 000) membres de la communauté. En plus, d'autres initiatives sont en cours en collaboration avec différents partenaires techniques et financiers en s'appuyant sur les COGES fonctionnels. Il s'agit entre autres de la gestion de la cantine scolaire et du suivi de la construction de salles de classes. Outre ces perspectives heureuses, le ministère a entrepris d'apporter un appui aux COGES par rapport à la mise en œuvre de leur plan d'action.

D'un point de vue plus élargie, il est donc important d'apprécier et de reconnaître, le Comité de gestion d'école fonctionnel à sa juste valeur.

FIN

12

DA

ANNEXES

ANNEXE 1. Contributions du Projet

- 1-1. Liste des Experts de la JICA
- 1-2. Liste des Matériels et Equipements fournis par la JICA
- 1-3. Liste des Contreparties
- 1-4. Liste des Participants aux formations su Japon et dans d'autres pays
- 1-5. Liste des Terres, Bâtiments et Infrastructures
- 1-6. Dépenses du Budget

ANNEXE 2. Le Cadre Logique du Projet

ANNEXE 3. Plan d'Opération et l'état d'avancement des Activités

ANNEXE 1 Contributions du Projet

1-1. Liste des Experts de la JICA (Décembre 2015)

No	Nom et Prénom	Titre	de	à	Organisation
1	HARA Masahiro	Chef conseiller	Août 2014	Août 2014	AsukaWorld Consultants
2	HARA Masahiro	Chef conseiller	Oct. 2014	Oct. 2014	Asuka World Consultants
3	SUGIMOTO Kikue	Coordinateur/Gestion d'école	Juin 2014	Mai 2015	-
4	SUGIMOTO Kikue	Chef conseillère/Gestion d'école	Mai 2015	Avril 2017	-
5	OTA Emi	Coordinatrice du Projet/Planification des formations	Juin 2014	Avril 2017	-
6	YAMASHIRO Yoshinori	Appui technique pour la fabrication des supports audiovisuel	Déc. 2014 Juill. 2016	Fév. 2015 Sep. 2016	TAC International Inc.
7	KINOSHITA Akiko	Gestion du projet/Suivi des COGES	Juin 2015	Avril 2017	-

1-2. Liste des Machines et Equipements fournis par la JICA (Décembre 2015)

No	Matériels et Equipement	(Modèle/Numéro de série)	Quantité	Prix	Sous-total	Date	Lieu	Condition
				Unitaire (FCFA)	(FCFA)			
1	Véhicule	TOYOTA Prado	2	21.000.000	42.000.000	2014/9/18	Bureau PACOGES	bonne
2	Photocopieuse	Canon iRADVANCE 6255i	1	7.400.000	7.400.000	2015/1/9	Bureau PACOGES	bonne
3	Ordinateur	TOSHIBA SATELLITE L50-B-11G	1	460,200	460.200	2015/6/25	Bureau PACOGES	bonne
Total					49.860.200			

1-3. Liste du personnel de la Contrepartie

(1) Equipe du Projet (Contrepartie Nationale)

No	Nom et Prénom	Position	Période	
			de	à
1	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Coordonnatrice Nationale	Mai. 2014	Déc. 2016
2	KIEMDE Joël	Personnel du projet (DICI)	Mai. 2014	Déc. 2016
3	KOMBOIGO Pascal	Personnel du projet (DFRC)	Mai. 2014	Déc. 2016
4	YONLI Yacouba	Agent d'Administration des finances	Mai. 2014	Juin. 2014
5	BELEMKOABGA Louis	Agent d'Administration des finances	Juin. 2014	Déc. 2016
6	KOUAMA Germain	Personnel du projet (DSEC)	Mai. 2014	Nov. 2015
7	KINDA Adama	Personnel du projet (DFRC)	Juil. 2014	Déc. 2016
8	COMPAORE Zarara	Personnel du projet (DFRC)	Juil. 2014	Déc. 2016
9	DIABOUGA Yabré Joseph	Personnel du projet (DSEC)	Juil. 2014	Déc. 2016
10	CONGO Adama	Personnel du projet (DICI)	Juil. 2014	Déc. 2016
11	TRAORE Issoufou	Personnel du projet (DFRC)	Mars. 2015	Jul. 2016
12	TRAORE Abou	Agent d'Administration des finances	Jan. 2016	Déc. 2016
13	SAWADOGO Antoinette	Personnel du projet (DFRC)	Nov. 2015	Déc. 2016

DFRC: Division de la Formation et du Renforcement des Capacités des COGES et CCC

DSEC: Division du Suivi et de l'Evaluation des COGES et CCC

(2) Points focaux des Directions Régionales de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation

No	Nom et Prénom	Région
1	YARO Bassima	BOUCLE DU MOUHOUN
2	ZONGO Ahamadou	CASCADES
3	TOURE Idrissa	CENTRE
4	SAMANDOULGOU Moumouni	CENTRE-EST
5	SAWADOGO Yaguédéba	CENTRE-NORD
6	ZONGO Martine	CENTRE-OUEST
7	DIBLONI Olio	CENTRE-SUD
8	THIOMBIANO P. Joséphine	EST
9	SANE Souleymane	HAUTS-BASSINS
10	SOW Dramane	NORD
11	OUEDRAOGO Jean Claude	PLATEAU-CENTRAL
12	CISSE Moussa	SAHEL
13	SOUMDA Sanoua	SUD-OUEST

1-4. Liste des Participants aux Formations au Japon et dans d'autres pays

No	Nom et Prénom	Position	Titre de la formation/séminaire	Période
1	COMPAORE Dakissaga Zarata	Formatrice Nationale/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance et Administration: Accent mis sur la qualité de l'Education de base, l'Efficiency interne et l'Equité(B)	03 Nov. 2014 - 13 Déc. 2014
2	COMPAORE Yabiri Aminata	Formatrice Nationale/DPENA du Kadiogo		
3	TRAORE Issoufou	Formateur National/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance et Administration: Accent mis sur la qualité de l'Education de base, l'Efficiency interne et l'Equité(B)	01 Nov. 2015 - 12 Déc. 2015
4	KABORE Sibiri	Formateur National/ Chef de la CEB Yargatenga		
5	TRAORE/Ouattara Chantal	Point Focal du PACOGES /Agent de la Direction de la Formulation des Politiques/ DGESS		
6	SEGUEDA Benewende Bonaventure	Directeur de la Direction des Statistiques Sectorielles /DGESS		
7	BAMOUNI Innocent	Chef service de la santé-hygiène et nutrition / DAMSSE		
8	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/Coordinatrice Nationale du PACOGES	Gestion Participative et Décentralisée des écoles, et Amélioration de la qualité des apprentissages de l'éducation primaire	13 Nov. 2016 - 30 Nov. 2016
9	NEYA DONBWA Angéline	Formateur National/ Directrice de la Direction Régionale de l'Education Nationale du SAHEL	Gestion Participative et Décentralisée des écoles, et Amélioration de la qualité des apprentissages de l'éducation primaire	13 Nov. 2016 - 30 Nov. 2016

12

No	Nom et Prénom	Position	Titre de la formation/séminaire	Période
1	KORBEOGO Sibiri	Directeur Général de l'Education de Base	Séminaire Régional de partage d'expériences sur la Gestion basée sur l'Ecole en 2015 au Niger	10 Mars. -13 Mars. 2015
2	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/Coordinatrice Nationale du PACOGES		
3	KOMBOIGO Pascal	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
4	Diabouga Joseph Yabré	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
5	CONGO Adama	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
6	SANON Ibrahima	Directeur Général de l'Institut de la Réforme de l'Education et de la Formation		
7	OUEDRAOGO Henri	Directeur de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Educatives		
8	OUEDRAOGO/ OUEDRAOGO Andréa	Directrice du Développement de l'Enseignement Primaire Public		
9	BAZONGO Bagnikoué	Directeur de la Prospective et de la Programmation Opérationnelle		
10	ZONGO Charles	Conseiller Pédagogique Itinérant de Boulsa		
11	OUEDRAOGO Ousmane	Point Focal du Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité		
12	SAWADOGO Abdoul Aziz	Secrétaire Général / Mairie de Koubri		
13	BELEMKOABGA Louis	Gestionnaire/PACOGES		

1-5. Liste des Terres, Bâtiments et Infrastructures

No.	Bâtiment/Infrastructures	Lieu
1	Bureau du Projet	Bâtiment du projet construit par le MENA

1-6. Dépenses du Budget de la JICA

(1) Dépenses du Budget pour le Coût opérationnel local par an (FCFA)

	2014	2015	2016	Total	Proportion
Gouvernement of Burkina Faso	500 976 000	794 459,710	107 550 000	1 402 985 710	68,6%
JICA	277 718 243	222 622 309	141 078 003	641 418 555	31,4%
Total	778 694 243	1 017 082 019	248 628 003	2 044 404 265	100%

12



ANNEXE 2. Cadre Logique du Projet (PDM)

Titre du Projet: Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Ecole Phase II (PACOGES II)

Date: XX Février 2014

Zone ciblée: Toutes les 13 régions

Ver.1

Groupe cible: Communautés, Membres de COGES, Communes/Arrondissement, CEB, DPENA, DRENA, DGEB

Durée: Mai 2014- Avril 2017 (3 ans)

RESUME NARATIF	INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES	MOYENS DE VERIFICATION	CONDITIONS CRITIQUES
<p>FINALITE</p> <p>L'accès de l'éducation et la qualité des apprentissages au niveau de l'école primaire sont améliorés.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Taux de scolarisation Taux d'abandon Taux de réussite Taux d'achèvement 	<ul style="list-style-type: none"> Données statistiques de MENA 	<p>—</p>
<p>OBJECTIF GLOBAL</p> <p>La gestion participative de l'école primaire est améliorée sur l'ensemble du territoire national.</p>	<ul style="list-style-type: none"> Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école Nombre total de classes construites par les COGES Nombre total d'heures de cours supplémentaires Nombre total d'heures d'études de nuit 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport d'activités du Projet Rapport de l'étude de base Rapport de l'étude de fin du Projet 	<ul style="list-style-type: none"> La fréquence des grèves des enseignants n'est pas maîtrisée.
<p>BUT DU PROJET</p> <p>Les COGES dans les écoles primaires sur l'ensemble du territoire national sont fonctionnels.</p>	<ul style="list-style-type: none"> XX % de COGES exécutent les activités programmées dans le plan d'actions. XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. Participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier. 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport du Projet 	<ol style="list-style-type: none"> Le nombre de la population scolarisable de l'enseignement primaire n'est pas manifesté à cause de l'augmentation rapide de la population. Les économies de ménages ne se détériorent pas.
<p>RESULTATS</p> <p>1. Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 1.3 XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 Rapport 1.2 plan d'action 1.3 Bilan annuel 	<ol style="list-style-type: none"> Les fonds du MENA pour la généralisation des COGES sont régulièrement versés. La politique de gestion de l'école en mode décentralisé est maintenue. Les membres des COGES qui ont été formés n'ont pas quitté leurs postes avant la date d'expiration de la durée de leurs mandats. La situation de la sécurité ne se détériore pas.
<p>2. Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2.1 Le rapport est élaboré. 2.2 Au moins XX par an, le suivi du MENA s'est tenu dans la zone de projet pilote. 2.3 Au moins XX par an, AG de CCC se sont tenues par dans la zone de projet pilote. 2.4 Au moins XX fois par an, la réunion provinciale/régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Une atelier sur la capitalisation et la validation du modèle de la CCC a été organisé. 2.6 Validation du modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC. 	<ol style="list-style-type: none"> 2.1. Rapport d'étude 2.2. Rapport de suivi 2.3. Rapport du suivi et PV de CCC 2.4. Rapport des fora régionaux des CCC 2.5. Document de la validation 2.6. Liste des participants 	<p>(Continued from previous row)</p>
<p>3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 3.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 3.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum. 	<ol style="list-style-type: none"> 3.1. Rapport 3.2. Recueil de capitalisation 3.4. Liste des participants 3.5. Liste des participants 3.6. Liste des participants 	<p>(Continued from previous row)</p>
<p>4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 4.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum. 	<ol style="list-style-type: none"> 4.1. Rapport 4.2. Liste des participants 4.3. Rapport 4.4. Liste des participants 	<p>(Continued from previous row)</p>

ACTIVITES	CONDITIONS CRITIQUES		
	JAPON	BURUKINA FASO	
<p>1.1 Elaborer un plan opérationnel pour la généralisation des COGES.</p> <p>1.2 Reproduire le guide et traduire les supports auto-visuel</p> <p>1.3 Organiser une formation préparatoire des Formateurs Nationaux sur la généralisation des COGES</p> <p>1.4 Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES.</p> <p>1.5 Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES par émissions radiodiffusées et télévisées.</p> <p>1.6 Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.7 Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arrondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.8 Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.9 Organiser des sessions de formation des COGES sur la planification et la gestion participative des écoles.</p> <p>1.10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations.</p> <p>1.11 Organiser des sessions d'ateliers de partage d'expériences.</p> <p>1.12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation.</p> <p>2.1 Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles à l'orientation et la gestion des services décentralisés et déconcentrés du secteur de l'éducation de base.</p> <p>2.2 Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la Phase I.</p> <p>2.3 Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la Phase I pour expérimenter le système du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>2.4 Organiser des fora régionaux des CCC (scolarisation des filles etc.).</p> <p>2.5 Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>2.6 Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>3.1 Organiser une étude sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire au niveau des pays voisins et au Burkina Faso.</p> <p>3.2 Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.3 Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.4 Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui vise à l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.5 Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I.</p> <p>4.1 Réaliser une étude sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.), aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.</p> <p>4.2 Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.</p> <p>4.3 Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.</p> <p>4.4 Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.</p>	<p><Experts Japonais></p> <p>(1) Chef Conseiller (expert à court terme basé au Japon)</p> <p>(2) Chef conseiller adjoint/Gestion des formations (expert à long terme)</p> <p>(3) Développement des capacités des COGES/ Gestion du Projet (expert à long terme)</p> <p>(4) Gestion du Projet (expert à long terme)</p> <p>-Experts à court terme (selon la nécessité)</p> <p><Coûts d'activité du Projet></p> <p>1. Frais pour l'organisation des ateliers et séminaires</p> <p>2. Frais des études de base et fin du Projet</p> <p>3. Frais pour les activités du Projet Pilote</p> <p><Fourniture d'équipement></p> <p>1. Véhicule(s)</p> <p>2. Selon la nécessité</p>	<p><Homologue></p> <p>1. MENA</p> <p>● Secrétaire Générale</p> <p>● DGEB</p> <p>● Service chargé de la promotion des COGES/DGEB</p> <p>2. Le (la) DRENA, DPENA</p> <p>3. Points Focaux de DRENA, DPENA et CEB</p> <p>4. Les directeurs</p> <p><Les frais relatifs aux formations dans le cadre de la généralisation des COGES></p> <p><Les frais relatifs du suivi (le carburant) pour la première année des COGES></p> <p><Les années suivantes ce suivi sera intégré dans les activités traditionnelles des acteurs></p> <p><Les frais relatifs aux dépenses courantes></p> <p><Locaux du projet et les coûts afférents></p>	<p>1. Les fonds du MENA pour la généralisation des COGES sont régulièrement versés.</p> <p>2. La politique de gestion de l'école en mode décentralisé est maintenue.</p> <p>3. Administrateurs qui ont été formés ne sont pas mutés.</p> <p>4. Les membres des COGES qui ont été formés n'ont pas quitté leurs postes avant la date d'expiration de la durée de leurs mandats.</p>
			<p>CONDITIONS PREALABLES</p> <p>1. La politique de gestion décentralisée de l'école est maintenue.</p> <p>2. Les frais relatifs à la généralisation des COGES sont alloués.</p>

12

ANNEXE 3. Plan d'Opérationnel (PO)

Activités prévues	Résultat	2014												2015												2016												2017											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
Résultat 1. Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.																																																	
1-1 Elaborer un plan opérationnel pour la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-2 Reproduire le guide et traduire les supports audio-visuel	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-3 Organiser une formation préparatoire des Formateurs Nationaux sur la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-4 Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-5 Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES par émissions radiodiffusées et télévisées	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-6 Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-7 Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-8 Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-9 Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-11 Organiser des sessions d'atelier de partage d'expériences	Programmé																																																
	Réalisé																																																
1-12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation	Programmé																																																
	Réalisé																																																
Résultat 2. Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.																																																	
2-1 Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles dans l'orientation et la gestion des services décentralisés et déconcentrés du secteur de l'éducation de base	Programmé																																																
	Réalisé																																																
2-2 Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la Phase I	Programmé																																																
	Réalisé																																																
2-3 Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la Phase I pour expérimenter le système du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC.	Programmé																																																
	Réalisé																																																
2-4 Organiser des fora régionaux des CCC (scolarisation des filles etc.).	Programmé																																																
	Réalisé																																																
2-5 Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC.	Programmé																																																
	Réalisé																																																
2-6 Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arondissement avec le modèle de la CCC	Programmé																																																
	Réalisé																																																

Résultat 3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.		
3-1	Organiser une étude et une évaluation sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion	Programmé
		Réalisé
3-2	Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages	Programmé
		Réalisé
3-3	Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages	Programmé
		Réalisé
3-4	Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui visent à l'amélioration de la qualité des apprentissages.	Programmé
		Réalisé
3-5	Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I	Programmé
		Réalisé
Résultat 4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.		
4-1	Réaliser une étude et l'évaluation sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.	Programmé
		Réalisé
4-2	Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.	Programmé
		Réalisé
4-3	Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.	Programmé
		Réalisé
4-4	Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.	Programmé
		Réalisé
4-5	Comité du pilotage	Programmé
		Réalisé
4-6	Evaluation	Programmé
		Réalisé



**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF BURKINA FASO
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
“SCHOOL MANAGEMENT COMMITTEE SUPPORT PROJECT PHASE II”**

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) headed by Mr. Nobuhiro KUNIEDA, visited Burkina Faso from 8 to 27 January 2017 for the purpose of the Terminal Evaluation of “School Management Committee Support Project Phase II (PACOGES II)” (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in Burkina Faso, the Team had a series of discussions with the Burkinabe authorities concerned, jointly evaluated the achievements of the Project, and exchanged views for further improvement of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

This Minutes of Meeting has been prepared in French and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence in interpretation, the English text shall prevail.

Ouagadougou, January ## 2017

Nobuhiro KUNIEDA
Leader,
Japanese Terminal Evaluation Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan

Yombo Paul DIABOUGA
Secretary General,
Ministry of National Education and Literacy,
Burkina Faso

List of Abbreviations and Acronyms

AFD	French Agency for Development
AG	General Assembly
AGR	Income Generating Activity
AME	Educative mothers Association
APE	Student's Parent Association
BA	Annual Report
CCC	COGES Communal Coordination
CEB	Basic Education District
CEP	Primary School Certificate
COGES	School Management Committee
DAMSSE	Directorate of Specific Means Allocation to Educational Institutions
DDEPrim	Directorate of the Development of the Primary Education
DFIPEB	Directorate of Initial Training of Basic Education Staff
DGEB	General Directorate of Basic Education
DGESS	General Directorate of Sector-based Studies and Statistics
DPENA	Provincial Directorate of National Education and Literacy
DRENA	Regional Directorate of National Education and Literacy
ENEP	National School of Teachers for Primary Education
ENS/UK	High School Teacher Training Institute/ University of Koudougou
EPFEP	Private Training School of Teachers for Primary Education
EQAmE	School of Quality Children's Friend
FCFA	CFA Franc
FDC	Foundation for Community Development
IP	Main School-master
MATDSI	Ministry of Territorial Administration, Decentralization and Internal Security
MEF	Ministry of Economy and Finance
MENA	Ministry of National Education and Literacy
PA	Action Plan
PACOGES	Project of Support to the Committees of Schools Management
PAM	World Food Programme
PDM	« Logical Framework of the Project »
PDSEB	Programme for Strategic Development of Basic Education
R/D	« Minutes of the Discussions »
SCGDE	Department for the Coordination of the Decentralized Management of the Schools
SP-PDSEB	Permanent Secretariat of the Programme for Strategic Development of Basic Education
TICAD	International Conference of Tokyo on the Development of Africa
UNICEF	United Nations Children's Fund

TABLE OF CONTENTS

List of Abbreviations and Acronyms

1. INTRODUCTION	1
1-1. Objectives of the final evaluation	1
1-2. Schedule of the final evaluation	2
1-3. Membres of the Evaluation Team	3
1-4. Medothology of the Evaluation	3
1-5. Amendements of the Logical Framework of the Project	4
2. Outline of the Project	5
2-1. Backgroud of the Project	5
2-2. Summary of the Project	6
3. Project Performance and Implementation Process	7
3-1. Inputs.....	7
3-2. Progress of the activities	8
3-3. Achievements of the Project	18
3-4. Outputs	27
4. Conclusion	34
5. Recommendations	34
6. Lessons learnt	38

ANNEX

ANNEX: 1. Inputs to the Project

- 1-1. List of the Experts of the JICA
- 1-2. List of the Equipment provided by the JICA
- 1-3. List of the Compensations
- 1-4. List of the Participants to the Training organized in Japan and in other countries.
- 1-5. List of the Plots, Buildings and Facilities
- 1-6. Budget Expenditure

ANNEX: 2. Project Design Matrix

ANNEX: 3. Functioning Plan and the Progress of the Activities

1. Introduction

The Government of Burkina Faso has developed and is implementing the Strategic Development Programme for Basic Education (PDSEB 2012-2021) which aims at improving the access to a basic education of quality, and at improving the non-formal education and the system of decentralized education. Under this programme, the Ministry of National Education and Literacy (MENA) has begun to expand the Schools Management Committee (COGES) model developed by the Technical Committee in charge of the preparation of the expansion of COGES with the support of the Schools Management Committees Support Project (Phase I). The School Management Committee is defined as a body of participatory management of the school in a decentralized mode in accordance with the objectives assigned by the PDSEB. The first phase which started in November 2009 and ended in March 2014, contributed to establish 2,469 COGES in three (3) regions which are the Central East, the Plateau-Central, Central North and a part of the Centre region. The COGES model was part of the expansion strategy of COGES approved by MENA in March 2013. To expand COGES model in the whole country, MENA requested to the Government of Japan for the technical cooperation in the second phase of the Project. As a response to that request, the second phase of the Project was launched in May 2014 for a three-year-duration with the following objectives:

- 1) Ensure the quality and the efficiency of the functional COGES expansion nationwide that will be implemented by MENA;
- 2) Improve the model of functional COGES focusing on the learning quality;
- 3) Take into account the innovations mentioned in the Strategic Development Programme for Basic Education (PDSEB) for the development of decentralized management of the Burkinabe education system.

The terminal evaluation was jointly conducted by the Team and the concerned authorities of Burkina Faso in order to evaluate the Project achievements.

1-1. Objectives of the terminal evaluation

The Objectives of the terminal evaluation are the following ones:

- (1) Examine and evaluate the inputs, the activities, the structure, the implementation process and the Project achievements;
- (2) Identify essential issues and questions for a successful implementation of the Project during the remaining period;
- (3) Make recommendations for the activities during the remaining period;
- (4) Reexamine and revise the Project Design Matrix (PDM).

1-2. Schedule of the terminal evaluation

The terminal evaluation was conducted from 08th to 27th January, 2017 in Burkina Faso.

Date		Activities
08 Jan	Sun.	18:00 Arrival at Burkina Faso
09 Jan	Mon.	Courtesy call to the Secretary General of MENA Meeting with the Japanese experts Interview with PACOGES National Coordinator
10 Jan	Tue.	Interview with DGEF, DGESS and DAMSSE
11 Jan	Wed.	Interview with PA-PDSEB Project of AFD
12 Jan	Thu.	Interview with CCC of Pissila, CEB of Boala, COGES of Yagbtenga 1
13 Jan	Fri.	Interview with COGES of Lallogo, CEB and CCC of Zéguédéguin
14 Jan	Sat.	Documentation
15 Jan	Sun.	Idem
16 Jan	Mon.	Interview with the Focal Point of the Kadiogo DEPENA, and the Focal Point of the South West DRENA
17 Jan	Tue.	Correction of the first part of the evaluation Report by the National Coordinator and her counterparts Interview with CEB of Ouaga17, the urban COGES of La Cité de l'Avenir, COGES of Wend Kuni
18 Jan	Wed.	Correction of the first part of the evaluation Report by the National Coordinator and her counterparts Last correction of the first part of the Evaluation Report
19 Jan	Thu.	Confirmation of the first part of the evaluation Report by the evaluation team Interview with COGES of Namassa (Ziniaré I) and that of Kouila (Ziniaré III)
20 Jan	Fri.	Documentation of the complete version of the evaluation Report Interview with CCC of Korsimoro, COGES of Nababouli and that of Aïcha's school
21 Jan	Sat.	Meeting of the Japanese side for the development of the final version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M).
22 Jan	Sun.	Idem
23 Jan	Mon.	Meeting with JICA office in Burkina Faso. Confirmation of the temporary final version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M).
24 Jan	Tue.	Confirmation of the temporary final version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M). Interview with COGES of Nioniopalogo (Zitenga II)
25 Jan	Wed.	Verification of the final version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M), and submission to SG/MENA.
26 Jan	Thu.	Finalization of the version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M) by the concerned people of both sides. Submission of the final version of the evaluation Report and the minutes of meeting (M/M) to SG/MENA.
27 Jan	Fri.	Signing on the minutes of meeting (M/M). Report to JICA Office in Burkina Faso Courtesy call to Embassy of Japan in Burkina Faso Departure from Ouagadougou

1-3. Members of the terminal evaluation Team

1) Burkinabe side

Name and Surname	Position and Institution
Mr. LALLOGO Edouard Fortune	DCPP/DGESS
Mrs. KONFE TASSEMBEDO Fatimata	PACOGES National Coordinator

2) Japanese side

Name and Surname	Designation	Position and Institution
Mr. Nobuhiro KUNIEDA	Chief of the Team	Senior Advisor in Basic Education, JICA
Mr. Takao MARUYAMA	Cooperation Planning	Deputy Director, Team 2 of Basic Education, Human Development Department, JICA
Mr. Masaya OMAE	Evaluation Analysis	General Manager, Success Project Management Office

1-4. Methodology of the Evaluation

The Terminal Evaluation was conducted in accordance with the JICA's Project Evaluation Guidelines. On the basis of the Project Design Matrix PDM (ver.2) and the Plan of Operations (ver.2), which had been revised and authorized on 14th November, 2016 by both sides, the terminal evaluation is meant for clarifying the following aspects, as indicated in the Appendix 1 and 2 respectively:

- 1) Achievement reached by the Project on the basis of the PDM indicators
- 2) Implementation process
- 3) Evaluation by five evaluation criteria

To draft the report, the achievement of the outputs, the Project Purpose and the Overall Goal of the Project as well as the implementation process were evaluated. The information on the achievement includes the level of fulfillment of the indicators. The implementation process entails the progress of the activities, the communication issues and the ownership of the Project by the Burkinabe side. After the collection of information, the achievements of the Project were evaluated by the following five (5) evaluation criteria, as a result of the discussions among the terminal evaluation team.

Table 1-5-1: Five (5) evaluation criteria

Criteria	Designation
Relevance	Degree of compatibility between the development assistance and priority of policy of the target group, the recipient, and the donor.
Effectiveness	A measurement of the extent to which an aid activity attains its objectives.
Efficiency	Efficiency measures the outputs – qualitative and quantitative – in relation to the inputs. It is an economic term which is used to assess the extent to which aid uses the least costly resources possible in order to achieve the desired results. This generally requires comparing alternative approaches to achieving the same outputs, to see whether the most efficient process has been adopted.
Impact	The positive and negative changes produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or unintended. This involves the main impacts and effects resulting from the activity on the local social, economic, environmental and other development indicators.

Sustainability	Sustainability is concerned with measuring whether the benefits of an activity are likely to continue after donor funding has been withdrawn. Projects need to be environmentally as well as financially sustainable.
-----------------------	---

Source: New JICA Guideline for Project Evaluation, First Edition (June 2010) P.23

The five criteria were evaluated at five (5) different levels, as indicated below:

Table 1-5-2: Five different levels of Evaluation

1	2	3	4	5
Low	Relatively low	Moderate	Relatively High	High

1-5. Amendments of the Project Design Matrix

In the PDM version 1 which was approved on 10th February, 2014, the target values of several indicators were not determined and some indicators were not described clearly in order to be able to evaluate the progress of the Project. Thus, the revised indicators (as shown in Table 2) agreed with the Team and the concerned authorities were used for the mid-term review. The indicators were then revised again and approved by JICA, the members of the Project and the concerned authorities, on 14th November, 2016, as shown in Table 2. These finalized indicators were used in the terminal evaluation.

Table 2: Revised indicators of the PDM

	PDM Ver. 1	Revised during the mid-term review	Finalized on 14 th November, 2016
Overall Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. Number of pupils (male and female in each school) 2. Total number of classes built by COGES 3. Total hours of supplementary classes 	<ol style="list-style-type: none"> 2. Number of students (boys and girls in each school) 3. Total number of classes built by COGES 4. Total number of hours of supplementary classes organized by COGES (60 hours or more) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Number of classes of primary schools is secured consistent with number of pupils across the country (number of pupils per class is not over fifty (50). Necessary learning time is secured (average hours of supplementary classes and night classes is over sixty five (65) hours per year.
Project Purpose	<ol style="list-style-type: none"> 1. XX% of COGES that have implemented activities in school action plan 2. XX% of COGES that are established through democratic election. 3. XX% of COGES that have developed school action plans and annual reports. 4. XX% of collected school action plans and annual reports 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 80% of COGES implemented the activities programmed in the action plan. 2. Commune participation in participatory management of the school is increased -Budget execution rate of Action Plan per COGES is 60%. or more -Frequency of meetings: 1 Accounting report, 2 General meetings and 3 Secretariat meetings 	<ol style="list-style-type: none"> 1. At least 80% of COGES implement the school action plans. 2. Budget execution rate of the school action plans of COGES is over sixty (60) % on an average. Each COGES implements accounting report once, general meetings twice and secretariat meetings three (3) times per year on an average.
	<ol style="list-style-type: none"> 1. The extent of commune participation and financial contribution to participatory school management. 		

	PDM Ver. 1	Revised during the mid-term review	Finalized on 14 th November, 2016
Output 1	<p>1.1 XX% of COGES that are established through democratic election.</p> <p>1.2 XX% of COGES that have developed school action plans and annual reports.</p> <p>1.3 XX% of plans and assessment of COGES have been collected.</p>	<p>1.1 80% of COGES are established with democratic election.</p> <p>1.2 75% of action plans and annual reports of COGES were collected by concerned institutions.</p>	<p>1.1 Over eighty (80) % of primary schools across the country establish COGES through democratic election.</p> <p>1.2 Over seventy-five (75) % of COGES submit school action plans and annual reports.</p>
Output 2	<p>2.1 Survey report about decentralized and decentralized their rules.</p> <p>2.2 Number of monitoring by MENA at the Project sites (xx times per year).</p> <p>2.3 Numbers of CCC meetings (xx times per year).</p> <p>2.4 Numbers of meeting at the regional and provincial level about COGES and its monitoring (at least xx times per year).</p> <p>2.5 Numbers of workshop and CCC model evaluation and information sharing.</p> <p>2.6 Validation and evaluation of COGES monitoring model using CCC (by MENA).</p>	<p>2.1 The structure of decentralized school management is set up in MENA.</p> <p>2.2 75% of COGES are monitored by their CEB at least 2 times/year.</p> <p>2.3 75% of CCC held their general meetings 3times/year in the pilot area.</p> <p>2.4 Regional meeting for COGES monitoring was held at least once /year.</p> <p>2.5 The CCC model is established, evaluated and validated.</p>	<p>2.1 The organization for decentralized school management is established in MENA.</p> <p>2.2 CEB monitors over seventy-five (75) % of COGES at least twice a year.</p> <p>2.3 Over seventy-five (75) % of CCC at the pilot site organize the general meetings twice a year.</p> <p>2.4 The general meeting for COGES monitoring at the provincial level at least once a year.</p> <p>2.5 CCC model is constructed, evaluated and approved.</p>
Output 3	<p>3.1 Stock of good practices by thematic and categories region.</p> <p>3.2 Sharing of good practices through the media and the forum.</p>	<p>3.1 Effectiveness of improving the quality of learning through the COGES activities was identified in the pilot area.</p> <p>3.2 Good practices for improving the quality of learning in the pilot area are accumulated.</p> <p>3.3 80% of COGES share good practices to improve the quality of learning.</p>	<p>3.1 An effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning is confirmed.</p> <p>3.2 Over eighty (80) % of COGES share the good practice related to improvement of learning effect.</p>
Output 4	<p>4.1 Stock of good practices by thematic and categories region.</p> <p>4.2 Sharing of good practices through the media and the forum.</p>	<p>4.1 Good practices in resource management are accumulated.</p> <p>4.2 80% of COGES share good practices regarding the resource management.</p>	<p>4.1 Over eighty (80) % of COGES share the good practice related to resource management.</p>

2. Outline of the Project

2-1. Background of the Project

Since 2009, the JICA has supported the implementation model of the functional COGES through the phase 1 of the Schools Management Committee Support Project (PACOGES) which established the COGES and to develop the capacity of the concerned staff in the four pilot regions which are Plateau-Central, Centre- East, Centre-Nord and the Centre.

The Burkinabe government issued the joint Ordinance N°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF of 27th March on the composition and functioning of the School Management Committee which formalized the model of the established COGES, for its nationwide expansion. Moreover, the nationwide establishment of the COGES in all the primary schools has been taken into account by the Basic Education Strategic Development Programme (PDSEB), 2012-2021, in Burkina Faso.

Under this circumstance, JICA launched the phase II of the PACOGES in May 2014 for a three-year-duration in order to expand the COGES model approved by the Burkinabe Government.

2-2. Summary of the Project

The project was fulfilled on the basis of the PDM version 2 (Ref Annex 1), approved on 14th November 2016. The main points are the following ones:

(1) Super Goal

Access and quality of primary education are improved.

(2) Overall Goal

Participatory school management in primary school is improved across the country.

(3) Project Purpose

COGES in Primary schools across the country are functional.

(4) Outputs

- Output 1: COGES are set up across the country and the capacity of stakeholders is strengthened.
- Output 2: A sustainable monitoring and support system of COGES is strengthened.
- Output 3: An effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning through the commune participation is verified and shared nationwide.
- Output 4: COGES resource management system and COGES's capacities to utilize it are strengthened.

(5) Period of the Project

From 1st April, 2014 to 30th April, 2017

(6) Implementing Institution of the Project

Ministry of National Education and Literacy (MENA)

3. Project Performance and Implementation Process

3-1. Inputs

3-1-1. Inputs by the Japanese Side

The Table 3.1.1 shows a comparison of the planned in the PDM in February 2014 with the actual inputs from the Japanese side.

Table 3.1.1: Input by Japanese side

Planned (PDM ver. 1)	Actual																				
<p>[Japanese Experts]</p> <ol style="list-style-type: none"> Chief advisor (short term expert based in Japan) Deputy Chief Advisor / School Management (long-term expert) Training Management / Coordinator (First year), Quality Improvement for Learning / Coordinator (Second year) (long-term expert) COGES Resource Management / Coordinator (long-term expert) -Short Term Experts (as needed) 	<p>[Japanese Experts] (See Annex 1-1)</p> <p>Following long-term and short-term experts are dispatched</p> <p>Long term experts</p> <ol style="list-style-type: none"> Chief Advisor/School Management Coordinator/Training Plan Coordinator/COGES Monitoring <p>Short term experts</p> <ol style="list-style-type: none"> Chief Advisor (as of Apr.2015) Audiovisual for COGES Sensitization <p>Japanese expert dispatch was almost good; however sub-chief advisor could not be dispatched in the first year of the Project.</p> <p>It was highly evaluated that the long-term experts were permanently resided at site to achieve the Project purpose even though there were some negative factors, such as the delay of budget, boycott of educational administrators and teachers and political chaos. Such long-term experts have been working with counterparts to overcome such situation flexibly and timely. This kind of action cannot be done by the short-term based experts.</p>																				
<p>[Machinery and Equipment]</p> <ol style="list-style-type: none"> Vehicle (s) As needed 	<p>[Equipment] (See Annex 1-2)</p> <p>In total 3 items such as vehicles, photocopy and computers were procured. the total amount of expense was 49,860,200 FCFA</p>																				
<p>[Project Operational Cost]</p> <ol style="list-style-type: none"> Costs for the organization of workshops and seminars Costs of Baseline Survey and End line Survey of the Project Costs for activities of the Pilot Projects 	<p>[Project Operational Cost] (See Annex 1-5)</p> <p>In total 577,611,209 FCFA (Approx. 108 million Yen)¹ has been allocated as the project operational cost (Personal, operating expenses, equipment, travel and meeting costs) The expenditure is 95 % of the original estimation which agreed in the Record of Discussions (R/D).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>RD</th> <th>Actual</th> <th>Rate</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>259, 670,000</td> <td>126, 067,295</td> <td>49 %</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>226, 720,000</td> <td>310, 462,595</td> <td>137 %</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>140, 920,000</td> <td>141, 081,319</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>627, 310,000</td> <td>577, 611,209</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>		RD	Actual	Rate	2014	259, 670,000	126, 067,295	49 %	2015	226, 720,000	310, 462,595	137 %	2016	140, 920,000	141, 081,319	100%	Total	627, 310,000	577, 611,209	95%
	RD	Actual	Rate																		
2014	259, 670,000	126, 067,295	49 %																		
2015	226, 720,000	310, 462,595	137 %																		
2016	140, 920,000	141, 081,319	100%																		
Total	627, 310,000	577, 611,209	95%																		
<p>[Counterpart Training in Japan and other countries]</p>	<p>[Counterpart Training in Japan and other countries](See Annex 1-4)</p> <p>The counterparts have been participating to the training by subject; however they could</p>																				

¹ Exchange rate 1CFA=0.18707 Yen (JICA rate in January 2017)

Planned (PDM ver. 1)	Actual
	<p>not participated in 2016 due to the working language which was English.</p> <p>It is necessary to draw plan of action for post-training at the counterpart training in Japan; however it needed to prepare a budget for implementation of the plan. It is difficult to be approved on the national budget for the action plan which was drawn only with the knowledge acquired in the training in a short span of time. It is also difficult to provide from the budge of Project because it is necessary to coordinate with activities prescribed in PDM. Therefore, it is necessary to clarify the position and how to achieve in the Project activities. Therefore the position and how to achieve “action plan” drawn by the counterpart at training should be clarified for actual implementation. Some follow-up action is necessary to implement such action plan additionally.</p>

3-1-2. Inputs from the Burkinabe Side

The Table 3.1.2 shows a comparison of the planned with actual inputs from the Burkinabe Side.

Tableau 3.1.2: Contributions de la partie burkinabè

Planned (PDM version. 1)	Actual (until December 2016)																				
<p>[Allocation of counterpart staff]</p> <p>1. MENA -Secretary General -DGEB -Department for the Coordination of the decentralized management of the schools(SCGDE)/General Directorate of Formal Education (DGEF)</p> <p>2. DRENA, DPENA, CEB and Directors</p>	<p>[Allocation of counterpart staff] (See Annex 1-3)</p> <p>1. Project team (MENA): 13 2. Focal Points of DRENA (Regional Directorate for Education and Literacy): 13</p>																				
<p>[Project Operational cost]</p> <p>1. Directional cost related to training for the expansion in nationwide of the COGES</p> <p>2. Monitoring Budget (fuel) for the COGES in the first year</p> <p>3. From the second year, the monitoring budget is paid out by a regular monitoring system</p> <p>4. Directional charges for running cost</p> <p>5. Directional Charges for running cost. Project Office and related costs</p>	<p>[Project Operational cost] (See Annex 1-5)</p> <p>In total, 1, 402, 985, 710 FCFA (around 262 million Yen)² has been allocated as the Project cost by the Burkinabe Side (staff, Operational Expenditures, Equipment, travels and meetings costs). The expenditures consist of 136% of the initial estimation agreed on in the minute.</p> <p>The Budget for the 2016 activities implementation was delayed. In fact, the releasing was effective in June 2016. Such delay should be avoided in order to start the activities the earlier possible. In as much, provisions must be made to avoid the delay in the allocation of the fees for fuel at the level of the CEB.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Amount Planned (Minutes)</th> <th>Amount Spent</th> <th>Rate</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014</td> <td>583, 013, 493</td> <td>500, 976 ,000</td> <td>85,9%</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>901, 437, 024</td> <td>794, 459, 710</td> <td>88,1%</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>44, 938 ,324</td> <td>107 ,550 ,000</td> <td>239,3%</td> </tr> <tr> <td>Total</td> <td>1,529, 388 ,841</td> <td>1, 402 ,985 ,710</td> <td>91,7%</td> </tr> </tbody> </table>		Amount Planned (Minutes)	Amount Spent	Rate	2014	583, 013, 493	500, 976 ,000	85,9%	2015	901, 437, 024	794, 459, 710	88,1%	2016	44, 938 ,324	107 ,550 ,000	239,3%	Total	1,529, 388 ,841	1, 402 ,985 ,710	91,7%
	Amount Planned (Minutes)	Amount Spent	Rate																		
2014	583, 013, 493	500, 976 ,000	85,9%																		
2015	901, 437, 024	794, 459, 710	88,1%																		
2016	44, 938 ,324	107 ,550 ,000	239,3%																		
Total	1,529, 388 ,841	1, 402 ,985 ,710	91,7%																		

3-2. Progress of the Activities

Overall, the activities of the project were well implemented as planned, even though some activities were delayed because of political instabilities the country had gone through. At the period of the terminal evaluation, most of the activities of the Output 1 (development of capacities to establish the COGES) and the Output 2 (development of the COGES monitoring and support system) were fulfilled,

² Exchange rate 1CFA=0.18707 Yen (JICA rate in January 2017)

but further efforts are necessary to reach some indicators. The fulfillment of the Output 1 and 2 permitted the Project to carry out the implementation of activities of the Output 3 and 4 aiming at the improvement of the learning quality and the COGES resources management

Given that the Project planned many additional activities through the COGES in response to the strategy and the needs of the MENA that are “underway”, in the below Table 3.2, a further efficient implementation of the Project is required for the remaining period.

Table 3.2: Progress of the Activities (May 2014-Nov. 2015)

Activities	Progress
1-1 Develop a plan of operation for the COGES expansion nationwide.	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Plan of operation for the nationwide expansion workshop in June 2014. • Assistance for the plan of operation for the nationwide expansion in 2014 for the first round and in 2015 for the second round. • Assistance for the budget allocation for the plan of operation for the nationwide expansion in 2015 by MENA.
1-2 Reproduce the guides and translate the audio-visual media into local languages	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> • The guide for the COGES participatory management was reproduced (16 ,400 copies) • The Summary on the COGES participatory management was reproduced (14 ,800 copies) • Five (5) audio-visual media were translated into local languages, from October 2014 to January 2015.
1-3 Organize trainings for National Trainers for the COGES expansion	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> • The first training/retraining seminars for National Trainers in August 2014, and the second round in March 2015. • Preliminary meeting for National Trainers in April 2015 for the first round, and in December 2015 for the second round. • Training for New National Trainers and the ENEP teacher in December 2014. • Support for the drafting of an inter-ministerial Order on the increase of the National Trainers in number, in January 2015.
1-4 Organize a national workshop of information and exchanges on the COGES expansion.	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sharing of information and ideas on the start of the expansion, the explanation of the model, the expansion process, the goal, the period etc. during the launching ceremony of the Phase 2 of the Project, in June 2014. • The starting of the expansion nationwide was effective and the experiences of the phase 1 were shared with the concerned staff at the start of the expansion ceremony.

Activities	Progress																																				
<p>1-5 Organize a series of sensitization on the COGES promotion through radio and TV shows.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> • A mass media survey related to information documents on the COGES expansion nationwide was carried out, in December 2014. <ul style="list-style-type: none"> ➢ For radio (two (2) minutes x seven (7) parts) ➢ For TV (ninety (90) seconds for spot enlightenment x two (2) parts) ➢ For TV (five (5) minutes x one (1) part) ♦ The enlightenment activities for nationwide expansion of COGES through mass media were implemented from February to October 2015. ♦ Radio program of “COGES promotion” were broadcasted in September 2015. ♦ Materials for COGES and promotion for the democratic election were produced. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Leaflet of COGES approach was produced in November 2014. ➢ Election campaign posters were produced and distributed in October 2015. ♦ COGES was introduced by “ARC” which was the journal published by MENA in September. ♦ Radio spot program production and enlightenment activities for re-election of secretariat of COGES from August to September 2016. 																																				
<p>1-6 Organize information sharing seminars in the regions not covered by the Project intended to local officials (DRENA, DPENA, Governors, High Commissioners, Mayors) on participatory school management and the support of the COGES</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦ Seminars for responsible staff on decentralization in ten (10) regions as follows. <p style="text-align: center;">Table 3.2.1: Meeting for responsible staff on decentralization in ten (10) regions (unit: persons)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">Governor of Region</th> <th colspan="3">DRENA/DPENA</th> <th colspan="3">Mayor</th> <th colspan="3">APE/AME</th> </tr> <tr> <th>Plan</th> <th>Actual</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actual</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actual</th> <th>%</th> <th>Plan</th> <th>Actual</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>41</td> <td>87.2</td> <td>45</td> <td>46</td> <td>102.2</td> <td>293</td> <td>278</td> <td>94.9</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>98.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>	Governor of Region			DRENA/DPENA			Mayor			APE/AME			Plan	Actual	%	Plan	Actual	%	Plan	Actual	%	Plan	Actual	%	47	41	87.2	45	46	102.2	293	278	94.9	62	61	98.4
Governor of Region			DRENA/DPENA			Mayor			APE/AME																												
Plan	Actual	%	Plan	Actual	%	Plan	Actual	%	Plan	Actual	%																										
47	41	87.2	45	46	102.2	293	278	94.9	62	61	98.4																										
<p>1-7 Organize Provincial/regional training seminars intended to the focal points of the DRENA, DPENA, CEB, and the people in charge of Education in Districts, on the establishment of the COGES democratically</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦ Data on the training for DRENA, DPENA, CEB, focal points and the responsible staff for the education in the districts are shown as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.2: Training for the actors</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>Plan</th> <th>Participants</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ,273</td> <td>1 ,228</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>	Plan	Participants	%	1 ,273	1 ,228	96.5%																														
Plan	Participants	%																																			
1 ,273	1 ,228	96.5%																																			
<p>1-8 Organize school principal training seminars on the establishment of the COGES and the schools participatory management.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦ Training data for school principals on the participatory management of schools and the establishment of the COGES are shown as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.3: Training for school Principals in ten (10) regions (unit :persons)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>Number of School</th> <th>Number of participant</th> <th>Attendance rate</th> <th>Number of session</th> <th>Number of venue</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 ,181</td> <td>9 ,434</td> <td>92.7%</td> <td>25</td> <td>183</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>	Number of School	Number of participant	Attendance rate	Number of session	Number of venue	10 ,181	9 ,434	92.7%	25	183																										
Number of School	Number of participant	Attendance rate	Number of session	Number of venue																																	
10 ,181	9 ,434	92.7%	25	183																																	

Activities	Progress										
<p>1-9 Organize training sessions for COGES members on participatory planning and management of schools.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Data on the training seminars of the COGES members on the planning of participatory management of schools are shown as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.4: Records of COGES training (unit: persons)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th data-bbox="655 416 794 488">Number of School</th> <th data-bbox="794 416 951 488">Number of COGES</th> <th data-bbox="951 416 1139 488">Rate of public school</th> <th data-bbox="1139 416 1358 488">Number of fostered COGES members</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="655 488 794 526">10,231</td> <td data-bbox="794 488 951 526">8,536</td> <td data-bbox="951 488 1139 526">83.4%</td> <td data-bbox="1139 488 1358 526">44,539 personnes</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Education Statistics in school year 2014-2015</p>	Number of School	Number of COGES	Rate of public school	Number of fostered COGES members	10,231	8,536	83.4%	44,539 personnes		
Number of School	Number of COGES	Rate of public school	Number of fostered COGES members								
10,231	8,536	83.4%	44,539 personnes								
<p>1-10 Organize the monitoring and evaluation related to the different trainings.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Five (5) training /retraining seminars for national trainers were organized. ♦Training seminars for responsible personnel on decentralization at regional level. ♦Training seminars for DRENA-FP, DPENA-FP, executive officers, persons in charge on education in the Districts were implemented. ♦The training seminars for COGES members on participatory planning and management of schools were implemented. ♦The budget implementation and collection of proofs of payment were made at each training seminar 										
<p>1-11 Organize experience sharing workshops</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦The Project participated periodically to the joint evaluation mission of PDSEB (Ten-year Plan for Basic Education) and the themed meeting , from May 2014 to April 2016 ♦Excellent COGES/CCC were called visits by national trainers. ♦DGESS/MENA hosted to the COGES good practice packet preparation workshop in October 2015. ♦Topsider meeting of MENA-MATDSI related to COGES/CCC model was organized in October 2016. 										
<p>1-12 Evaluate and review the operational plan for the COGES mid-term expansion of the expansion nationwide.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦The Plan of Operation was evaluated and examined as follow: <p style="text-align: center;">Table 3.2.5: Evaluation and examination of the Plan of Operation for the expansion during the terminal evaluation.</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th data-bbox="635 1429 820 1467">Periods</th> <th data-bbox="820 1429 1378 1467">Activities</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="635 1467 820 1541">November 2014</td> <td data-bbox="820 1467 1378 1541">First workshop on mid-term evaluation of the expansion</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1541 820 1579">December 2014</td> <td data-bbox="820 1541 1378 1579">First sum-up activities and workshop</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1579 820 1653">June 2015</td> <td data-bbox="820 1579 1378 1653">Second workshop on mid-term evaluation of expansion</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1653 820 1691">March 2016</td> <td data-bbox="820 1653 1378 1691">Sum-up workshop on the expansion nationwide</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>	Periods	Activities	November 2014	First workshop on mid-term evaluation of the expansion	December 2014	First sum-up activities and workshop	June 2015	Second workshop on mid-term evaluation of expansion	March 2016	Sum-up workshop on the expansion nationwide
Periods	Activities										
November 2014	First workshop on mid-term evaluation of the expansion										
December 2014	First sum-up activities and workshop										
June 2015	Second workshop on mid-term evaluation of expansion										
March 2016	Sum-up workshop on the expansion nationwide										

Activities	Progress																												
<p>1-13 Develop the concerned actors' capacities to ensure the sustainability of the COGES functioning.</p>	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Participation to the annual joint evaluation mission of PDSEB in April 2015 and in May 2016. ♦Organizing the seminar on the COGES approach for MENA in July 2015. ♦Open lectures on COGES in the ENEP (teacher training school) from May to June 2015 as follows: <p style="text-align: center;">Table 3.2.6: Participants to the Open Lectures in the seven (7) ENEP of the country (unit: persons)</p> <table border="1" data-bbox="523 524 1417 680"> <thead> <tr> <th colspan="3">First batch from 11 to 12 May</th> <th colspan="3">Second batch from 3 to 4 June</th> <th rowspan="2">Number of lecture in the ENEP</th> </tr> <tr> <th>Enroll men</th> <th>Participants</th> <th>Attendance rate</th> <th>Enroll men</th> <th>Participants</th> <th>Attendance rate</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,231</td> <td>5,205</td> <td>99.5%</td> <td>5,008</td> <td>4,755</td> <td>94.9%</td> <td>23(9)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦The results of the training conducted by the MENA through the monitors annual pedagogical lecture from July to August on the monitoring of COGES nationwide by present agents are shown as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.7: The Participants Number at the training conducted by the MENA on the Monitoring of the COGES</p> <table border="1" data-bbox="823 976 1187 1057"> <thead> <tr> <th>IEPD</th> <th>CPI</th> <th>IP</th> <th>Total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>837</td> <td>868</td> <td>2,556</td> <td>4,261</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Discussions on the continuous strengthening of the relations between the COGES and the DGFPIIC actors were held in October 2016 	First batch from 11 to 12 May			Second batch from 3 to 4 June			Number of lecture in the ENEP	Enroll men	Participants	Attendance rate	Enroll men	Participants	Attendance rate	5,231	5,205	99.5%	5,008	4,755	94.9%	23(9)	IEPD	CPI	IP	Total	837	868	2,556	4,261
First batch from 11 to 12 May			Second batch from 3 to 4 June			Number of lecture in the ENEP																							
Enroll men	Participants	Attendance rate	Enroll men	Participants	Attendance rate																								
5,231	5,205	99.5%	5,008	4,755	94.9%	23(9)																							
IEPD	CPI	IP	Total																										
837	868	2,556	4,261																										
<p>1-14 Experiment the functional model of the urban COGES and make recommendations.</p>	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Survey on the urban COGES present situation from May to June 2016 ♦Workshop for results sharing on the urban COGES in July 2016 																												
<p>2-1 Identify the role of the unit in charge of the decentralized management of the school in the MENA and make recommendations.</p>	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Establishment of the unit responsible for the decentralized school management in MENA in June 2014. ♦Discussions on the routine work for the decentralized school management unit at the fourth joint coordinating committee in August 2016. ♦Proposal of the routine work for the decentralized school management unit and budget request in September 2016. 																												

Activities	Progress																														
2-2 Improve the COGES monitoring system by the MENA and develop the capacities of executive officers.	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Workshop on the improvement of the monitoring system, in April 2016. ♦The training of pedagogical monitors on the COGES monitoring, from May to June 2016 is as follows: <p style="text-align: center;">Table 3.2.8: Training of pedagogical monitors on the COGES monitoring in thirteen (13) regions.</p> <table border="1" data-bbox="655 488 1358 568"> <thead> <tr> <th>Number of CEB-PF</th> <th>Participants</th> <th>Fostering rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>553 persons</td> <td>550 persons</td> <td>99.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Introduction of the annual summary table in school statistics of COGES and the DGESS ♦Development of the capacities of the officers in charge of the COGES monitoring at the Ministry, from March to date. 	Number of CEB-PF	Participants	Fostering rate (%)	553 persons	550 persons	99.5%																								
Number of CEB-PF	Participants	Fostering rate (%)																													
553 persons	550 persons	99.5%																													
2-3 Conduct present situation evaluation of CCC model in the pilot area of the Phase I.	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦The approach conception workshop for the education development through the community participation in September 2014 ♦Current evaluation of CCC model of target in the first phase from November to December 2015 																														
2-4 Conduct the experience sharing meetings in the CCC trial area including the pilot area of Phase I.	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Workshop on the current evaluation of CCC of target in the first phase and improvement of the model in September 2014 ♦CCC experience sharing in the central north region including the target area in the second phase as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.9: Participants to the experience sharing meetings in three (3) provinces in the central north region</p> <table border="1" data-bbox="523 1205 1385 1435"> <thead> <tr> <th></th> <th>DRENA/D PENA</th> <th>District</th> <th>CEB</th> <th>COGES</th> <th>Total/CCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bam</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>Namentenga</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>Sanmatenga</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>Regional total</td> <td>8</td> <td>45</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>		DRENA/D PENA	District	CEB	COGES	Total/CCC	Bam	4	12	4	8	28	Namentenga	2	9	3	6	20	Sanmatenga	2	24	12	16	54	Regional total	8	45	19	30	102
	DRENA/D PENA	District	CEB	COGES	Total/CCC																										
Bam	4	12	4	8	28																										
Namentenga	2	9	3	6	20																										
Sanmatenga	2	24	12	16	54																										
Regional total	8	45	19	30	102																										
2-5 Conduct a technical assistance to the regions at the COGES regional monitoring meetings nationwide.	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Regional meeting for the COGES monitoring, in seven (7) regions in November 2015. ♦Annual meeting of DRENA-FP, DPENA-FP in seven (7) regions in November 2015. ♦Regional monitoring meeting in thirteen (13) regions from May to June 2016 																														

Activities	Progress				
2-6 Experiment the CCC improved model in the pilot area and organize an evaluation workshop	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Experimentation of the CCC improved model <ul style="list-style-type: none"> ➢ Training of CCC actors in fifteen (15) districts of three (3) provinces of the central north region, in January 2015. ➢ Establishment of CCC in fifteen (15) target districts in February 2015. ➢ Development of CCC temporary action plans in fifteen (15) target districts in February 2015. ➢ Organization of general meetings for the development of the action plans of the CCC of the fifteen (15) target districts in March 2015 ➢ Evaluation of the CCC activities in fifteen (15) districts from October to November 2015 ➢ Organization of the workshop on the improvement of the CCC model (Stabilization) in February 2016 				
2-7 Experiment the development of the COGES members' capacities through the CCC, in the pilot area	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ The capacity building of the COGES members by the CCC, in July and August 2016, was carried out as follows : <p style="text-align: center;">Table 3.2.10: Training of the COGES members through the CCC general meetings in fifteen (15) experimental districts.</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th data-bbox="719 898 1007 936">1st General Meeting</th> <th data-bbox="1007 898 1289 936">2nd General Meeting</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="719 936 1007 974">410 persons</td> <td data-bbox="1007 936 1289 974">200 persons</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p>	1 st General Meeting	2 nd General Meeting	410 persons	200 persons
1 st General Meeting	2 nd General Meeting				
410 persons	200 persons				
2-8 Finalize the CCC model	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Workshop of the CCC model stabilization, in February 2016. ◆ Updating activities of the guides for the CCC, in March 2016. ◆ Meetings of senior executive officers of the MENA and the MATDSI on the CCC model, in October 2016. ◆ Adaptation of the CCC model in the district with specific status (Ouagadougou and Bobo Dioulasso), in November 2016. 				
3-1 Collect information on the progress of COGES activities aiming at the improvement of the learning quality through a community management in neighboring countries and Burkina Faso	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Participation to the experience sharing meeting of the Projects area groups on “Education for All” in Niger in March 2015. ◆ Implementation of the baseline survey by the Project from September to December 2015. ◆ Participation to the workshop on the approval of the survey results report of the school results evaluation study in 2014, organized by DGSS/MENA in May 2015. ◆ Participation to the seminar on sharing and utilization of the research findings on educational improvement through the participatory school management organized by JICA office in February 2015. ◆ Participation to the joint training for French-speaking countries “The participatory community school management and the improvement of the learning quality of the school master”, in November 2016. 				

Activities	Progress															
<p>3-2 Organize experience and information sharing meetings with the concerned actors conducting activities for improvement of the learning quality.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Organization of a sharing workshop on the coordination between related bodies, in February 2015. ♦Sharing of information with structures having similar approaches as MENA/EQAmE/UNICEF, HI., in December 2014. ♦Participation to EQAmE guide updating, from January to November 2015. ♦Participation to the workshop on the preparation of the EQAmE training module, in August 2015. ♦Participation to the meeting of sharing and utilization of the survey results on the improvement of the quality of education through the participatory school management, organized by the JICA office in February 2015. 															
<p>3-3 Experiment and capitalize the achievements of the activities of improvement of learning quality through those executed by the COGES in the pilot area.</p>	<p>【implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Organization of a workshop in November 2015, on the development of a conceptual handbook for students' Parents, in order to improve of the learning quality. ♦The Pilot Project « Experimental survey for the improvement of the learning quality », from February to November 2016. That Project had tangible results as for the improvement of the learning quality through sensitization of teachers and student's Parents. The approach consisted in: <ul style="list-style-type: none"> ➤ The Project intervention : <ol style="list-style-type: none"> 1) Preparation of a students' parents' sensitization handbook, for the improvement of the learning quality: this handbook is meant for parents, to make them understand the educational system and the students learning output. 2) Teachers training in order to improve the learning quality: a series of teachers training was organized in nine-hundred-and-eighty-five (985) schools in three (3) target provinces. ➤ Parents implication <ol style="list-style-type: none"> 1) A meeting between parents and teachers through pilot activities was organized. The data are as follows : <div style="text-align: center;"> <p>Table 3.2.11 Data on Parents-teachers meetings</p> <table border="1" data-bbox="625 1160 1385 1312"> <thead> <tr> <th>Annual frequency per school</th> <th>Total of the meetings organized in the pilot area</th> <th>Participants in total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.3 times</td> <td>2,300 times</td> <td>133,709</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Project Report</p> </div> 2) Organization of further lessons and mock exams through sensitization activities during COGES general meeting, meetings on COGES sensitization activities : Besides the COGES General Meetings, the meetings on sensitization activities were organized on average 1.2 times by each COGES, be it 1,223 times in total with 79,099 participants. ➤ Efforts made by teachers, parents, the COGES <p>During the year, 123 hours overtime classes in total were organized the teachers and the COGES of each school. This situation is shown as follows :</p> <div style="text-align: center;"> <p>Table 3.2.12 Overtime classes organized by the teachers and the COGES</p> <table border="1" data-bbox="616 1760 1398 1877"> <thead> <tr> <th></th> <th>Hours per school annually</th> <th>Annual frequency in total</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By teachers</td> <td>74 hours</td> <td>59,694 times</td> </tr> <tr> <td>By the COGES</td> <td>49 hours</td> <td>39, 703 times</td> </tr> </tbody> </table> <p>Source: Project Report</p> </div> 	Annual frequency per school	Total of the meetings organized in the pilot area	Participants in total	2.3 times	2,300 times	133,709		Hours per school annually	Annual frequency in total	By teachers	74 hours	59,694 times	By the COGES	49 hours	39, 703 times
Annual frequency per school	Total of the meetings organized in the pilot area	Participants in total														
2.3 times	2,300 times	133,709														
	Hours per school annually	Annual frequency in total														
By teachers	74 hours	59,694 times														
By the COGES	49 hours	39, 703 times														

Activities	Progress
<p>3-4 Share good practices on the improvement of the learning quality through the COGES activities.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Good practices of the experimental survey on the quality learning improvement by the COGES activities. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Production of audio-visual equipment on the COGES practices, from July to September 2016. ➢ Sharing of the good practices with audio-visual equipment, from September 2016 to date. ◆ Sharing of the good practices through the COGES other activities ◆ Participation to the DGESS activities on the COGES good practices, from October 2015 to April 2016.
<p>4-1 Collect information on the progress of the COGES activities, the resources management at the level of neighboring countries and Burkina Faso.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Current situation and prospective survey achieved by the MENA on the school canteen ◆ Participation to the workshop on the Project SABER about the school canteen, organized by WFP in July 2015. ◆ Achievement of a survey on the monitoring and the rehabilitation of school facilities, from June to July 2015.

Activities	Progress																																		
<p>4-2 Share experiences and information with the concerned actors by the resources management on the COGES role at the school level.</p>	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Exchanges on the management of the school facilities monitoring by the COGES, from June 2015 to date. ◆ Exchanges on the management of school canteens by the COGES, from January 2015 to date. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Development of a temporary handbook on the School canteens management by the COGES, in November. ➢ Participation to the PDSEB monthly meeting, entitled themed-Group « quality improvement », from February 2015 to date. ➢ Exchanges with DAMSSE on the coordination on the management policy of the school canteens, in July 2016. ◆ Income generating activities by the COGES, achieved by the COGES, from September 2015 to July 2016: The Project achieved, in cooperation with UNICEF, an experience on the income generating activities of collective type for seventy-five (75) COGES in the Sahel region. The approach was well appreciated by the DGEF and the DAMSSE. This intervention contributed to the improvement of the student's learning environment. <p style="text-align: center;">Table 3.2.13: number of the beneficiaries by income generating activity</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Concerned COGES</th> <th>Femal</th> <th>Male</th> <th>Total</th> <th>Average number of the AGR beneficiaries per COGES</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">64</td> <td style="text-align: center;">1, 031</td> <td style="text-align: center;">659</td> <td style="text-align: center;">1, 690</td> <td style="text-align: center;">26.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p> <p style="text-align: center;">Table 3.2.14: The COGES improved their functionality rate through the income generating activities</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Number COGES</th> <th>Rate</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Yes</td> <td style="text-align: center;">53</td> <td style="text-align: center;">82.8 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">No</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">17.2 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Total</td> <td style="text-align: center;">64</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">Source: Project Report</p> <p style="text-align: center;">Table 3.2.15: Percentage of the COGES which had had positive impact on the female schooling</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Number COGES</th> <th>Rate</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Yes</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">71.4 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">No</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">28.6 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Total</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Concerned COGES	Femal	Male	Total	Average number of the AGR beneficiaries per COGES	64	1, 031	659	1, 690	26.4%	Response	Number COGES	Rate	Yes	53	82.8 %	No	11	17.2 %	Total	64		Response	Number COGES	Rate	Yes	45	71.4 %	No	18	28.6 %	Total	63	
Concerned COGES	Femal	Male	Total	Average number of the AGR beneficiaries per COGES																															
64	1, 031	659	1, 690	26.4%																															
Response	Number COGES	Rate																																	
Yes	53	82.8 %																																	
No	11	17.2 %																																	
Total	64																																		
Response	Number COGES	Rate																																	
Yes	45	71.4 %																																	
No	18	28.6 %																																	
Total	63																																		
<p>4-3 Organize seminars on the COGES experience sharing in West Africa</p>	<p>【Implemented】</p> <p>Participation of the group of the zone to the meetings on the experience sharing on the Projects “School for All” in Niger, in March 2015</p>																																		

Activities	Progress
4-4 Clarify the role of COGES in the resources management to strengthen the members' capacities.	<p>【Implemented】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦COGES capacities strengthened on financial and physical management <ul style="list-style-type: none"> ➢ Trainings conducted for the COGES on financial management, in thirteen (13) regions, in December 2015. ♦Clarification of the COGES role and development of the members' capacities at the level of school canteens management. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Handbook drafted on the "school canteens management by the COGES" as pilot project, in November 2015 ➢ Training of the COGES on the schools canteens management as pilot project, in February and March 2016. ➢ Sum-up report of the activities of the school canteens management by the COGES as pilot project, from July to October 2016. ♦Clarification of the role of the COGES and development of the members' capacities on the income generating activities. <ul style="list-style-type: none"> ➢ Participation to workshop of the training module updating, in August 2015. ♦Training of the COGES on AGR in the Seventy-five (75) Sahel schools.
4-5 Share good practices on the resource management at the school level by the COGES	<p>【Underway】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♦Reproduction audio-visual formats on the COGES good practices, from July to September 2016. ♦Distribution of audio-visual formats on the underway COGES good practices.

3-3. Project Achievement

3-3-1. Outputs

Most of the planned activities were implemented with success and the outputs are on the way to be finalized; that which would contribute to the achievement of the Project Purpose.

Output 1: COGES are set up across the country and the capacity of stakeholders are strengthened.

Indicator 1-1: Over eighty (80) % of primary schools across the country establish COGES through democratic election.

The COGES are established democratically in 83.4% of primary schools nationwide; the indicator 1-1 was therefore achieved.

Table 3.3.1: number and rate of the COGES established (2014-2015)

Regions	Schools	COGES	Establishment rate
(1) Boucle du Mouhoun	1,233	1,077	87.3%
(2) Cascades	521	518	99.4%
(3) Hauts-Bassins	1,297	891	68.7%
(4) Sud-ouest	810	778	96.0%
Sub Total (2014-2015)	3,861	3,264	84.5%
(1) Sahel	931	930	99.9%
(2) Nord	1,207	1,138	94.3%
(3) Est	1,182	1,129	95.5%
(4) Centre-Ouest	1,220	1,100	90.2%
(5) Centre-Sud	609	597	98.0%
(6) Centre	1, 221	378	31.0%

Regions	Schools	COGES	Establishment rate
Sub Total (2015-2016)	6, 370	5, 272	82.8%
Grand Total	10, 231	8, 536	83.4%

Indicator 1-2: Over seventy-five (75) % of COGES submit school action plans and annual reports.

The Collection rate of annual reports went from 59.5% in 2014-2015 to 68.8% in 2015-2016, despite the boycott of some pedagogical and administrative activities by the pedagogical monitors in charge of these annual reports collection. The DGESS/MENA took into account the main items designed by the Project in the annual Statistics to ensure necessary information reach the executives for the monitoring. At the same time, the COGES Annual Reports collected by the Project contribute to the improvement of information sharing on the COGES activities. However, it is necessary to take into account:

- 1) Appropriateness of the timing and the frequency;
- 2) Data collection method;
- 3) Unit of these data for the pedagogical monitors, for a possible analysis.

It is in this approach that the indicator 1-2 could be achieved. It is therefore necessary to develop the collection capacity of action plans and annual reports.

Table 3.3.2: Annual reports collection rate

	COGES	2013–2014		2014–2015		2015–2016	
		Number of AR	Collection rate	Number of AR	Collection rate	Number of AR	Collection rate
Plateau Central	780	718	92.1%	552	70.8%	621	79.6%
Centre-Est	882	788	89.3%	411	46.6%	817	92.6%
Centre-Nord	1,018	738	72.5%	520	51.1%	834	81.9%
Boucle du Mouhoun	1,077	*NMP	NMP	676	62.8%	883	82.0%
Cascades	518	NMP	NMP	149	28.8%	449	86.7%
Hauts-Bassins	891	NMP	NMP	634	71.2%	628	70.5%
Sud-Ouest	778	NMP	NMP	592	76.1%	699	89.8%
Sahel	930	NMP	NMP	NMP	NMP	528	56.8%
Nord	1,138	NMP	NMP	NMP	NMP	910	80.0%
Est	1,129	NMP	NMP	NMP	NMP	547	48.4%
Centre Ouest	1,100	NMP	NMP	NMP	NMP	0	0.0%
Centre Sud	597	NMP	NMP	NMP	NMP	519	86.9%
Centre	378	NMP	NMP	NMP	NMP	278	73.5%
Total	11,216	2,244	83.7%	3,534	59.5%	7,713	68.8%

Source: Project Report
*NMP : Not established

Output 2: A sustainable monitoring and support system of COGES is strengthened.

Indicator 2-1: The organization for decentralized school management is established in MENA.

The following ministerial and governmental orders were respectively issued on 31st May, 2014 and on 31st May 2016. The indicator was therefore achieved.

- Order n° 2014-0082/MENA/DRH, on the appointment of the members of the Coordination of the Schools Decentralized Management (SCDGE)
- Order No 2016-435/PRES/PM/MENA, on MENA organizational chart, in which the SCGDE pertains to General Directorate of Formal Education (DGEF)

Indicator 2-2: CEB monitors at least seventy-five (75) % of COGES at least twice a year.

The indicator 2-2 is not achieved. Efforts must be made to ensure a regular monitoring of the COGES. Therefore, it is necessary to provide educational monitors with time and sufficient quantity of fuel.

- The monitoring of the COGES was mentioned in “official instructions of the start of the new school year 2013-2014”. Its implementation on a continuous basis is strongly awaited.
- The monitoring number on average carried out by the CEB is of 1.1 in 2015-2016. The number of CEB to monitor the COGES more than twice per year is 47 out of the 381, be it 12.3%. This is explained by the boycott of some educational and administrative activities conducted by the educational monitors.
- The number of monitoring, on average, is carried out by the CEB is 1.1 times in 2015-2016. The number of CEB to monitor the COGES more than twice per year is 47 (12.3%) out of 381. This is explained by the boycott of some administrative and educational activities conducted by educational monitors.

Indicator 2-3: Over seventy-five (75) % of CCC at the pilot site organize the general meetings twice a year.

The indicator 2-3 is not achieved.

- The rate of the pilot area which organized CCC general meetings twice a year is 67% in 2015-2016. The second general meeting of the five (5) districts was postponed because of heavy rains. Moreover, the general meetings planned for the school year 2016-2017, were postponed because of the boycott of some activities by the executive officers.
- The achievement of the indicator 2-3 is expected in case the CCC will continue to organize general meetings on a regular basis. The climate conditions like the full rainy season (August), the boycotts and the lack of commitment from the part of the actors must not hinder the implementation of these general meetings. This means that there is not only a good planning, but also the different actors take ownership of this philosophy of the CCC.

Table 3.3.3: Number of CCC meetings on the pilot area

	2014–2015	CCC General Meeting held	2015–2016	CCC General Meeting held
First G.M.	Feb. 2015	15/15	Nov.–Dec. 2015	13/15
Second G.M.	Jul. 2015	15/15	Jul. 2016	10/15
Third G.M.	Sep. - Oct. 2015	15/15	Sep. 2016	

Source: Project Report

The organization of the third general meetings is not obligatory from the school year 2015-2016. The data collection of the second and last general meeting of 2015-2016 will continue until February 2017; these data, having not been collected during the boycott period by the school inspector.

Indicator 2-4: The general meeting for COGES monitoring at the provincial level is organized at least once a year.

The regional meeting for the COGES monitoring has been held on a continuous basis since 2015 as shown in the Table 3.3.4 below. These meetings are meant for presenting the monitoring outputs of the previous year, distributing monitoring sheets of the current year and sharing the good practices as far as the monitoring is concerned. Therefore, the indicator 2-4 was achieved. The 2017 regional monitoring meetings are scheduled at the level of the DGEF to be worked out between May and June.

Table 3.3.4: Regional monitoring meetings of the COGES

Timing of Meeting	Kind of Meeting	Funding source
November 2015	Provincial level meeting for seven (7) provinces	MENA
November 2015	Annual Meeting for seven (7) provinces and regional Focal Points	JICA
May & June 2016	National Monitoring Meeting for thirteen (13) target provinces CEB-FP.	MENA

Source: Project Report

Indicator 2-5: CCC model is consolidated, evaluated and approved

The indicator 2-5 is achieved. However, it is necessary to revise the CCC model in order to improve it, with regard to some gaps noticed, particularly the low rate of the COGES participation and the boycott of school inspector.

- The CCC model of the second Phase is consolidated, evaluated and validated during workshop of the model consolidation, in February 2016
- The expansion activities had been widely achieved by the budget of the MENA, with exception to some big cities.
- The CCC model was adapted to districts with specific statutes (Ouagadougou and Bobo Dioulasso), and approved during a workshop in November 2016.
- The chairperson of the CCC who was a mayor had been replaced by district. That which improved the functioning of the CCC.
- The joint order n°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF of 27th March, 2013 on the composition and the functioning of the COGES and the CCC will be revised in 2017.

Table 3.3.5: Functionality of the CCC in 2015-2016

Districts	Nbr of COGES	Nbr. COGES participation		Pourcentage de participation des COGES	
		1st GM	2nd GM	1st GM	2 nd GM
Dablo	20	-	12	-	60.0%

Pensa	23	-	-	-	-
Nasséré	13	11	9	84.6%	69.2%
Guibaré	25	25	-	100.0%	-
Zimtanga	21	21	21	100.0%	100.0%
Rollo	27	27	27	100.0%	100.0%
Mané	37	35	35	94.6%	94.6%
Korsimoro	55	55	22	100.0%	40.0%
Boussouma	74	70	-	94.6%	-
Zéguédéguin	24	24	17	100.0%	70.8%
Yalgo	35	35	18	100.0%	51.4%
Boala	26	24	24	92.3%	92.3%
Pibaoré	24	-	15	-	62.5%
Ziga	33	33	-	100.0%	-
Pissila	55	50	-	90.9%	-
15 Districts	492	410	200	83.3%	40.7%

Output 3: An effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning through the commune participation is verified and shared nationwide.

Indicator 3-1: An effectiveness of COGES activities that aim to improve the quality of learning is confirmed.

The indicator 3-1 will be achieved if efforts are continued to be made.

- The positive impact of the COGES activities on the school learning at the level of Primary Education is noticed
- The Project has been implementing pilot activities in 2017 in order to improve learning at home and the outputs of the learning will permit to improve exams results and strengthen at the end the internal effectiveness.

Table 3.3.6: Comparison of the school results with or without overtime classes

Grade	With overtime classes	Without overtime classes	Gaps
CP1	67.20%	54.90%	12.30%
CP2	63.70%	55.20%	8.50%
CE1	46.80%	42.30%	4.50%
CE2	46.80%	46.70%	0.10%
CM1	38.60%	39.60%	- 1.00%
CM2	47.50%	38.10%	9.40%

Source: Project Report

Indicator 3-2: Over eighty (80) % of COGES share the good practice related to improvement of learning effect.

The indicator 3-2 was not achieved at the moment of the terminal evaluation. Continued

efforts are therefore required in order to achieve the indicator 3-2.

- The Audio-visual equipment had been prepared for the sharing of good practices in order to motivate more and give advice to the communities.
- The Audio-visual equipment prepared was distributed to the districts in eight (8) regions and the good practices were shared during general meetings in the CCC through movies show. The five (5) remaining regions will receive their equipment during the regional meeting 2016-2017.
- The experience on the pilot activities were shared in three (3) target provinces during a workshop in January 2017.
- The good practices will be shared during the CCC general meetings 2016-2017

Output 4: COGES resource management system and COGES's capacities to utilize it are strengthened.

Indicator 4-1: Over eighty (80) % of COGES share the good practice related to resource management

Same case for Output 3

3-3-2. Project Purpose

Project Purpose: COGES in the primary schools across the country are functional.

The indicator 1 of the Project Purpose related to the achievement of the COGES activities was not clearly measured, because of the difficulty to finalize the situation of the COGES which had not submitted their annual reports.

The indicator 2 of the Project Purpose was neither achieved due to the low rate of the financial mobilization by the COGES.

The indicator 3 related to the meetings and general meetings frequency has been partially achieved.

CONSEQUENTLY, the Project Purpose has not been achieved during the terminal evaluation.

Indicator 1: At least 80% of COGES implement the school action plans.

The annual reports of the COGES activities for the school year 2015-2016 show that 92% of the COGES which submitted their AR achieved the activities planned in their action plans. However, the indicator 1 has not yet been finalized to measure the overall trend, because the collection rate of the AR was 69%. Two situations can be shown. If the remaining COGES which have not submitted AR have not carried out any activity, then the achievement rate will be 68.8%. On the other hand, if these COGES have carried out at least, the rate will be improved.

Table 3.3.7: Number and rate of the COGES which have achieved no activity in 2015–2016

	Number of COGES	Collected Annual reports	COGES with no activity	
Plateau Central	780	621	12	1.9%
Centre-Est	882	817	33	4.0%
Centre-Nord	1,018	834	35	4,2%
Boucle du Mouhoun	1,077	883	95	10.8%
Cascades	518	449	34	7.6%
Hauts-Bassins	891	628	59	9.4%
Sud-Ouest	778	699	93	13.3%
Sahel	930	528	49	9.3%
Nord	1,138	910	42	4.6%
Est	1,129	547	44	8.0%
Centre-Ouest	1,100			
Centre-Sud	597	519	56	10.8%
Centre	378	278	37	13.3%
Total	11,216	7,713	589	7.6%

Source: Project Report

NB: The AR were not collected in the Centre-Ouest region because of the boycott of school inspector.

Indicator 2: Budget execution rate of the school action plans of COGES is over sixty (60) % on an average.

The financial mobilization rate is 42.4% in 2015-2016; which is below the targeted rate of 60%. It means that the indicator 2 has not been achieved at the moment of the final evaluation. However, the financial mobilization rate in pioneer regions is 72%. Its achievement is strongly expected.

Table 3-3-8: Budget mobilization rate

Expenses for COGES planned activities	Budget mobilized COGES activities	Budget mobilization rate
2,297,744,384 FCFA	973,721,547 FCFA	42.4%

Source: Annual reports of the COGES

In spite of not being considered as an indicator, a series of quality activities was scheduled in order to achieve the Goal of the Project through activities such as the sensitization of teachers, parents and other actors to make COGES more visible and functional. These activities were particularly conducted in rural areas where the importance of education was not well perceived by the community.

Indicator 3: Each COGES implements accounting report once, general meetings twice and secretariat meetings three (3) times per year on an average.

On average, the number of financial accounts performed by each was 1.4 times. The number of General Meetings was 2.2 times, and that of the office meetings was 2.6 times. Consequently, the indicator 3 has been partially achieved at the moment of the terminal evaluation.

Region	Number of COGES	Number of Secretariat Meetings		Number of General Meetings		Number of Accounting Report	
		Total Number	Number./ COGES	Total Number	Number./ COGES	Total Number	Number./ COGES
BOUCLE DU MOUHOUN	862	2,115	2.5	1,495	1.7	997	1.2
CASCADES	370	888	2.4	739	2.0	510	1.4
CENTRE	271	722	2.7	647	2.4	285	1.1
CENTRE-EST	773	2,101	2.7	1,735	2.2	1,304	1.7
CENTRE-NORD	834	2,563	3.1	2,183	2.6	1,354	1.6
CENTRE-SUD	503	1,146	2.3	920	1.8	441	0.9
EST	526	1,398	2.7	1,367	2.6	785	1.5
HAUTS-BASSINS	615	1,351	2.2	1,067	1.7	755	1.2
NORD	806	2,241	2.8	1,982	2.5	1,200	1.5
PLATEAU CENTRAL	620	1,784	2.9	1,482	2.4	973	1.6
SAHEL	528	1,403	2.7	1,209	2.3	687	1.3
SUD-OUEST	683	1,817	2.7	1,344	2.0	858	1.3
Overall Total	7,391	19,529	2.6	16,170	2.2	10,149	1.4

Source: Project Report

3-3-3. Overall Goal

Overall Goal: Participatory school management in primary schools is improved across the country .

Indicator 1: Number of classes of primary schools is secured consistent with number of pupils across the country (number of pupils per class is not over fifty (50)).

The average number of students per classroom is reduced from 54.2 in 2008-2009 to 47.9 in 2015-2016. The indicator 1 has been achieved as indicated in the table 3-3-9. The number of classes has increased in the period.

Table 3-3-9: Number of Students per classroom by type

Year Type of school	2008-2009			2012-2013			2015-2016		
	Public	Private	Total	Public	Private	Total	Public	Private	Total
Concrete	25,642	4,159	29,801	33,135	5,973	39,108	39,993	8,879	48,872
Sun-dry brick	1,116	1,640	2,756	1,633	2,453	4,086	2,242	3,377	5,619
Straw splash	2,134	336	2,470	3,920	568	4,488	4,670	661	5,331
Other	54	48	102	22	5	27	100	16	116
Total	28,946	6,183	35,129	38,658	8,987	47,645	47,005	12,933	59,938
Number of students	1,635,036	271,243	1,906,279	2,059,856	406,523	2,466,379	2,314,070	558,979	2,873,049
Student/Class	56.9	43.9	54.2	53.3	45.2	51.8	49.2	4.2	47.9

Source: Statistic data of the DGESS

Indicator 2: Necessary learning time is secured (average hours of supplementary classes and night classes is over sixty five (65) hours per year.

The indicator 2 was not achieved during the terminal evaluation as described below:

- The average number of supplementary classes was 32 hours/year organized by COGES and 61 hours/year by teachers.
- The average number of supplementary classes in the pilot area was 49 hours/year organized by COGES and 74hours/year by teachers.

It is necessary to involve teachers and communes into the school management in order to improve the learning. It is specifically necessary that the COGES make provision to better run the schools and organize “supplementary classes” in order to get appropriate the learning time included in the indicator.

The schools management system will be strengthen when the COGES will play important roles on: (i) school canteens assisted by MENA and their technical and financial partners; (ii) involvement of communes into monitoring and construction of school facilities; (iii) income generation; and (iv) improvement of school environment and learning outputs. Besides, communes understand the needs of the COGES of each school and suitably provide appropriate information, in order to create a learning environment through the construction of school facilities, the allocation of necessary equipment notably textbooks, desks, blackboards, etc. The participatory management of schools will be improved with the involvement of the communes when the school inspector will communicate information related to the education situation, and will clarify the different actors’ roles (commune, school inspector, school, COGES and students) during the CCC general meetings.

3-3-4. Super Goal

Super Goal: Access and quality of primary education are improved.

The gross schooling rate, the admission rate, the achievement rate, the dropout number, and the success rate in the CEP are the fixed indicators for the Super Goal evaluation. Since the implementation of the first phase of the Project in 2009, the admission and schooling rates constantly improved as indicated in the table 3-3-10. Though that is due to many factors which permitted to increase these indicators, the input of the COGES activities which permitted to increase these indicators was strongly debated, identified during the interviews in the terminal evaluation.

Table 3-3-10: Indicators on Education

	Gross schooling/ enrollment rate	Admission rate	Achievement rate	Dropout number	Success rate to CEP
2009–2010	74.8%	85.8%	45.9%	207,271	65.9%
2010–2011	77.6%	85.7%	52.1%	178,322	64.0%
2011–2012	79.6%	88.3%	55.1%	191,753	65.2%
2012–2013	81.3%	92.8%	59.5%	182,013	60.9%
2013–2014	83.0%	97.0%	57.6%	178,317	82.2%
2014–2015	83.7%	98.8%	59.3%	151,275	73.4%
2015-2016	86.1%	100.1%	57.9%	143,795	67.3%

Source: Basic Education Statistics, DGEES

3-4. Evaluation Result

3-4-1. Implementation Process

(1) Contribution factors to the process

Integration of the Project activities in the national policy

The approach and the activities of the Project are well integrated in the national policy of the MENA. Some departments of the MENA as well as other partners have started to value COGES established by the Project. The presentation and the sharing of information on the outputs of the underway project of several seminars and workshops convince more than one on the relevance of the COGES expansion in the country. It is the opinion that we have got for example, when presenting the outputs of the Project during the “seminar of information and reflection on the outputs of three survey about the improvement of the quality of the education through the participatory management of the school” organized by the JICA in February 2015. This permitted to further support financially and technically the expansion strategy of COGES establishment nationwide and their sustainability.

The focus on the improvement of the learning quality by the implementation of COGES activities

The Project has focused on the introduction of COGES activities which have a direct impact on the improvement the teaching/learning of students starting from the actual needs of communes and the parents inputs. This has strengthened the outputs improvement level to the detriment of that of the school

environment. Furthermore, the participation of the general public was improved with the sharing of basic information on the educational system and the outputs of the students' learning. On the basis of the experience, the philosophy of COGES is better understood and accepted by communes as indicated in the section "5.Recommendation".

Strong commitment of the Burkinabe side

The fact that the government covers the great part of the costs of the Project up to 70% and the establishment of the Department for Coordination of the Decentralized Schools Management show that the Burkinabe side has been strongly committed for the implementation of the Project activities. All the trainings for COGES expansion were supported and monitored by the national team members who performed a lot of efforts to solve the boycott issue by the participants and this, through many approach conducted to the Unions (social partners of Basic Education). The presence of the department in charge of COGES will permit to ensure the sustainability of COGES monitoring.

(2) Hindering factors against the process

Boycott of school inspectors

In 2016, the school inspectors went on to observe the boycott launched by their Unions. Thus, the administrative and educational activities were suspended in the field. That situation had negative impact on the monitoring and the data collection of COGES and CCC.

Main untrained actors in the field (school principals, school inspectors)

After the COGES expansion, due to the mobility of the staff, school principals, and school inspectors too, the key component of the monitoring system, have not benefited from training. It belongs to the MENA to find a training framework for these actors.

3-4-2. Evaluation by thr five Criteria

The Evaluation outputs by the five criteria such as Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability are summarized below.

Relevance: High**Needs of the concerned actors**

(+) As the COGES supported by the Project benefit of school canteens from the part of the MENA, the improvement of the learning quality and the income generating activities, the Project Purpose answers to the needs of its concerned actors. By achieving the activities according to their actions plans, COGES answers to the needs of communes.

Political Priority

(+) PDSEB (Basic Education Strategic Development Programme of 2012-2021): COGES established in the framework of the Project at the national level will have to continually play as implementation actors of the policy as regards to education. COGES expansion is an important stake in the PDSEB. Thus, the MENA provided the necessary budget for that expansion, despite the social and political crisis in Burkina Faso. MENA recognized the democratic and transparent aspect of COGES management in the process, and expects the potential of COGES, such as income generating activities, management of ingredient in the school canteens, management in the construction of schools at the commune level, the role of the liaison for receiving subsidies, etc. PDSEB 2012–2021 aims at; among others, the establishment of COGES in all schools of Burkina Faso before 2015.

(+) The cooperation plan of the Ministry of Foreign Affairs of Japan for Burkina Faso (April 2015) indicates its prior assistance for the improvement of the quality of education. The assistance offer for the management centered on the school through the “School for All Program” was accepted during the 5th Tokyo International Conference on Africa Development (TICAD) in 2013.

Appropriateness of Means

(+) The important factors to take into account to make “Functional COGES” are :

- 1) Selection of the members through democratic elections ;
- 2) Organization of trainings on schools management;
- 3) Transparent management of the resources mobilized by COGES;
- 4) Continuous monitoring system.

They were included on the basis of the experiences of PACOGES phase 1 and similar projects from other countries. Besides, the support for the establishment of CCC model since the phase 1 of the Project is an important approach for decentralization authorities in order to take into account the needs of communes in the promotion of decentralization related to educational system. This is confirmed by the appointment of the focal point (FP) of COGES activities at the level of the MATDSI. The choice of CCC pilot areas was also finalized as reasonable, because of the accessibility from the center and the availability of the concerned actors.

(+) The Project took important factors into account in order to make functional COGES, such as

democratic elections, training on participatory management of schools and sustainable monitoring on the basis of the experiences of the phase 1 of the Project and the experience of other countries.

Effectiveness: Moderate

Potential to achieve the Project Purpose

(The COGES are functional in all the primary schools of the country)

(-) As indicated in 3.3.2 Project Purpose, the appropriate indicators to measure the achievement of the Project Purpose were not gathered during the terminal evaluation. As the Project has been working on collecting the necessary AR showing the achievement of the Project Purpose, this kind of monitoring should continue.

Cause-effect Relations

(+) Logical relations between the Project Purpose and each Output are appropriate. Without the capacity development of the COGES actors (Output 1) and the sustainable support and monitoring system (Output 2), the improvement of the learning quality (Output 3) and the resources management system (Output 4), the Project Purpose will not be achieved.

Promoting and hindering Factors in Effectiveness

(+) The Project promoted the improvement of learning quality of pupils through COGES. According to the annual reports of the school year 2015-2016, 83% of COGES activities contributed directly to the improvement of learning quality, rather than promotion of learning conditions and school facilities. This approach uses effectively the financial resources of COGES to achieve the Overall Goal of the Project.

Efficiency : Relatively High

Activities and Inputs for Outputs production

(+) Materials developed by the Project including COGES guides are appreciated and fully used by actors.

(+) The Project implemented activities with a minimum expenditures by using the facilities and equipment of the phase I of the Project. The Project did used past experiences, and materials worked out in the first phase with minor amendments.

(+) The introduction of a new monitoring system made efficient the data on the inputs and the calculation of the action plans and the annual reports. This has also given information on the detailed situation of each COGES to the national Team.

(+) It is expect that the utilization of the current monitoring system of the CEB to ensure the functional and efficient mechanism of COGES monitoring. This will certainly enhance the involvement level and ownership at the commune level.

(+) Most members of the national Team and focal points have always been in place since the Project has started; and the number and the qualification of counterparts permit a better implementation of the Project.

Promoting and Hindering Factors in Efficiency

(+) During implementation period, the Project additionally implemented activities such as, lamp using management for overnight leaning, the school health programme and the provision of information on Ebola hemorrhagic fever through COGES responding to the needs and current priorities.

(-) The installation process of COGES fell behind the original plan because of the delay in the allocation of necessary funds that was postponed due to the social and political crisis in 2014.

Coordination with other Japanese assistance.

(+) A series of the grant project and technical cooperation provided the construction of primary school classrooms, one ENEP³ and to develop the students' competences in mathematics and science. This assistance contributed to the development of the hard component of basic education in paralell to the technical component of this Project. The Project participated to the sub-regional seminar of experience exchange for the Team of the Project "School for All" in Niger in March 2015, and also shared experiences with similar Projects of Côte d'Ivoire, Ghana, Madagascar, Mali, Niger and Senegal.

Impact: High

Prospect for Achieving the Overall Goal and Super Goal

(+) As mentioned in 2.3.3 Overall Goal and in 2.3.4 Super Goal, the Project contributed to develop some indicators.

Logic between Overall Goal and Project Purpose

(+) It is sure that the achievement of the Project Purpose will contribute to the improvement of the Participatory management of primary schools, because the COGES are committed into the improvement of the management of schools by parents, teachers and concerned actors, at the commune level nationwide.

The Project impact on MENA, as for the Policies development

(+) The Project aims at the CCC model expansion at commune level. However, the MENA already starts CCC model expansion at national level trough the counterpart budget of 2016. This is in line with the needs of MENA, which is willing to promote education decentralization at the commune level because

³ ENEP : National Teachers Adademy for Primary Education

the Project finalized the advantages on the internal efficiency, the CEP results, and the promotion of the education at the commune level through pilot activities.

The Project Impact on the COGES technical factors.

(+) The COGES activities contribute to coordinate interventions and improvement of the impacts of activities of commune members, the teachers, and other actors. This can concretely be illustrated by the reduction of the absence rate of teachers, students, due to the support of the commune members and the effective utilization of budget, equipment and information provided by the commune and MENA.

Other Impacts

(+) The improvement of understanding and recognition of parents in the rural area on education have increased the opportunity to learn for pupils and created better learning environment even though assisted parents whose literacy rate are low. It is expected to improve the internal efficiency in the educational indicators, such as improvement on rate of stay in the same class and withdrawal.

(+) Various efforts through COGES, such as services in the domain of education, decentralization and the participation of the commune in schools construction were promoted, not only by MENA but also by other technical and financial partners.

(+) The co-operation between the COGES actors and the transparent management of the resources contributed to promote the regional social capital.

Sustainability: Moderate

(-) As the monitoring system and the dialogue framework at the commune level do not work as planned, the COGES sustainability is not yet ensured.

Political and Institutional Aspects

(-) The creation of the new organizational chart of MENA, leads most of the trained executives for the COGES establishment to recognize a mobility; which does not promote the COGES monitoring.

(+) The COGES creation was already validated as official institution of community organization in the Decree No. 2008-236 on the organization of the Primary Education” adopted in 2008.

Institutional Aspect

(+) The ministerial order on the appointment of the SCGDE members (N°2014-0082/MENA/SG/DGEB) was signed on 02th July 2014. The SCGDE is exclusively responsible for COGES promotion with 8 staff members from the DGEF/MENA.

(+) The Project has encouraged the application of the COGES model through the programmes of the other institutions of MENA, and by other aid agencies through various seminars and workshops. The COGES functioning being strengthened by supplementary support including financial resources from these programmes, it can be thought that the institutional sustainability of the COGES will be strengthened too.

(-) It is important to clarify the function of the institution in charge of the schools functioning, and the coordination of the decentralized management of the schools after the Project. Though the monitoring pertains to the responsibilities of this institution, various COGES activities can be entrusted to a specific department in the future, which will use COGES separately to carry out a task, for example, the management of school canteens, school facilities, school subsidies, and income generation activities. Consequently, it is necessary to clarify the other responsibilities in addition to the monitoring ones.

Financial Aspects

(+) The number of members in charge of the decentralized management coordination which were three (3) at the beginning of the Project, increased to eight (8). One (1) has been retired and one (1) admitted to a professional competitive examination; so two (2) have been left. The budget was also sufficient for the renovation of the building in 2015 and for the implementation of the activities. In addition, the costs for COGES monitoring at CEB level were also always available.

(+) The reflection will continue at the level of MENA regarding the subsidies related to the management of the school canteens by COGES.

Technical Aspect

(+) Most national trainers have sufficient competence to conduct the trainings related to the establishment of COGES, and most participants show their satisfaction for these trainers.

4. Conclusion

The nationwide expansion of the functional COGES at the primary school level was conducted by MENA. COGES function was strengthened with regard to the outputs of the Project. The Project contributed positively to achieve the Overall Goal of the Project aiming at improving the education indicator such as the school enrollment ratio.

As the needs of targeted groups and the policies from Burkina Faso and Japan have remained constant with regard to the Project Purpose until the terminal evaluation. This terminal evaluation is summed up as follows:

- The relevance is considered high. Because the indicators of the Project Purpose were not fully achieved with regard to the outputs ;
- The effectiveness is considered moderate because the activities of the Project were achieved with a little delay by reasons of social and political troubles;
- As for the efficiency of project, it is evaluated as relatively high. The inputs quantity, quality and timing are relatively appropriate too;
- The impact of the Project is evaluated as high. In fact, even though some detailed impact studies are required, some inputs of the COGES activities on the Overall Goal and the Super Goal were identified ;
- Finally, the sustainability is evaluated as moderate. The political and financial aspects of the sustainability were identified, but the monitoring system and the dialogue framework must necessarily be improved to ensure the continued existence of the COGES activities.

On the basis of the evaluation, some recommendations for the remaining period of the Project are mentioned in the following chapter. It is judged necessary to extend the period of the Project until December 2017 in order to respond to the recommendations.

5. Recommendations

The terminal evaluation team of PACOGES 2 has formulated the following recommendations in order to capitalize and secured the continued existence of the Project achievements:

- (1) Secured the capacity building of the actors of the Schools Management Committees (COGES) nationwide;
- (2) Consolidate COGES monitoring and support system;
- (3) Finalize the Commune Coordination model of the functional COGES (CCC);
- (4) Ensure a regular renewing of COGES committees;
- (5) Consolidate the model of the learning improvement supported by COGES;
- (6) Strengthen the coordination and cooperation between various institutions around COGES;
- (7) Capitalize, gather information, and share the Project experiences.

(1)	<u>Sustain the capacity building of the actors of the Schools Management Committees (COGES) nationwide</u>		
<p>Following COGES model expansion, it is necessary to strengthen the capacities of various actors of COGES continually and on time. The targets among other school inspector and school principals, newly appointed or having not attended the training on COGES, and the members of COGES offices newly created or renovated.</p>			
Tasks	Responsible	Period	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Organize the training and retraining of COGES office members during general meetings of the Commune Coordination of COGES (CCC); 	SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	During and after the Project.	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Integrate the training modules on COGES in the initial and continuous Training programs of teachers and pedagogic advisors and inspectors; 	SCGDE/DGEF, DGPFIC/MENA	During and after the Project	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Carry out a system of tools/handbooks provision related to COGES and the CCC (by identifying the responsible structures and by budgeting for their reprography and their distribution). 	SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	During and after the Project	
(2)	<u>Consolidate COGES monitoring and support system</u>		
<p>To sustain COGES functioning, it is essential to consolidate COGES monitoring and support system.</p>			
Tasks	Responsible	Period	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Take into account the COGES monitoring and support system in the school inspectors' mission letter. All the administrative and educational activities are monitored by the pedagogic advisors and inspectors; 	SCGDE/DGEF/MENA	During and after the Project	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Budgeting and organizing the regional meeting of COGES Focal Points for the COGES monitoring and support; 	SCDGE/DGEF, DGESS/MENA	During and after the Project	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Ensure the regular monitoring and support of CCC for a good functioning ; 	SCDGE/DGEF/MENA, MATDSI	During and after the Project	
<ul style="list-style-type: none"> ➤ Prepare and publish COGES functioning annual report. 	SCDGE/DGEF, DGESS/MENA	During and after the Project	
(3)	<u>Finalize the Communal Coordination model of the functional COGES (CCC)</u>		
<p>CCC played and will play important roles in the development of COGES functioning by facilitating the sharing of experience between COGES at the General Meetings, the communication between COGES and commune (on the school-kit allocation, the supply of the school canteens with food, construction of classrooms) the development of COGES capacities.</p> <p>However, it has been noticed that some COGES participated to CCC passively and the functioning of CCC was largely influenced by the availability of actors at the level of the districts and /or of CEB. This could be explained by the fact that CCC is an organ managed by the authority, whereas it is carried out by the commune in the case of the COGES.</p> <p>It seems too earlier, to carry out the expansion of the current CCC model and it is necessary to capitalize CCC experiences so that the model is consolidated and finalized.</p>			
Tasks	Responsible	Period	

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Revise CCC model so that the commune can participate to CCC effectively (for example, by giving more power to COGES representatives in the functioning of CCC office) ; 	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	By the end of the Project
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Promote experience sharing between CCC though the regular organization of CCC regional or provincial meetings; 	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	During and after the Project
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Prepare the statutory text which will facilitate commune budget implementation for COGES functioning ; 	MENA, MATDSI	By the end of the Project
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Experiment CCC model in urban district with specific statutes like Ouagadougou and Bobo-Dioulasso ; 	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA, MATDSI	After the devise of the statutory text
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Revise joint Order N°2013-029/MENA/MATS/MATD/MEF of 27th March on the constitution and functioning of the School Management Committee on the basis of the finalized CCC. 	MENA, MATDSI	After the finalization of the CCC model
(4)	<p><u>Ensure a regular refreshing of COGES committees</u></p> <p>It is important to renew the COGES offices whose mandate has expired to ensure a transparent management and a good functioning of COGES. Time being, the renewal period varies between COGES depending on their establishment period. It'd be relevant to harmonize the renewing period for all COGES in order to facilitate the organization of a national campaign on this issue.</p>		
	Tasks	Responsible	Period
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Prepare a text to harmonize the renewing period of all COGES in order to facilitate the organization and the monitoring of national campaign. ; 	SCGDE/DGEF/MENA	During and after the Project
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Regularly organize a national campaign to renew COGES offices. 	SCGDE/DGEF/MENA	After the Project
(5)	<p><u>Consolidate the model of the learning improvement supported by COGES.</u></p> <p>According to the report of the pilot activities for the improvement of the learning in 2015-2016, the results of the harmonized exam, notably with pupils in CP and CM2, were better thanks to the supplemental classes and the home-working backed by COGES. The CM2 results would be linked to the use of manuals for exams into secondary school. As for the CP, it seems necessary to perform a deep survey in order to provide a concrete Cause-effect link between the interventions and the results at the level of each school even if it is possible that the training of students' parents on education had impacted positively on the results. As to the CE, it was not possible to confirm an improvement of results. Due to the consolidation of the achievements from the CP and the CE, it is better to find an appropriate approach and necessary means to strengthen and secure the achievements.</p> <p>For the School year 2016-2017, the Project has launched a pilot activity targeting only the CP pupils. It's there been proposed to capitalize the achievement of that activity till the end of the Project. Moreover, it is recommended that the MENA supervise pupils' school results after the end of the Project so that it can identify and measure the interventions impact for the CP pupils on their learning in higher classes. This will permit to strengthen the position of the ministry towards the education of quality for all through general public participation.</p>		

Taks	Responsible	Period
➤ Conduct an analysis to measure the intervention impact of the Project on the improvement of school leaning in CP with the assistance of COGES ;	Team PACOGES, SCGDE/DGEF, DGESS/MENA	By the end of the Project
➤ Follow the achievements of that intervention and secure them in the CE and CM classes.	SCGDE/DGEF, DGESS/MENA	After the Project
(6) <u>Strengthen the coordination and cooperation between various institutions around COGES</u>		
<p>The department for the coordination of the schools decentralized management (SCGDE) played more and more important role for the strengthening of COGES functioning and for the assistance in various initiatives around COGES (school canteens, construction of classrooms, school grant, etc.). These initiatives around the decentralized management, nevertheless, require the coordination and the cooperation with institutions in charge of the problem and the decision making as ministry which would have higher responsibilities than SCGDE. Therefore, it would be better to make SCGDE a technical directorate so that the various initiatives around the decentralized management are dealt with as recommended during the mid-term evaluation. If it can be achieved within a sort deadline, it is recommended to take measures to ensure the coordination and the cooperation between various institutions.</p>		
Tasks	Responsible	Period
➤ Redefine SCGDE missions and the assignments and their distributions ;	MENA	By the end of the Project
➤ Position SCGDE in a direction with relation in terms of monitoring and capitalization;	MENA	By the end of the Project
➤ Secure the budget for the implementation of SCGDE activities;	MENA	During and after the Project
➤ Establish a cooperation and coordination mechanism between the various concerned institutions around the decentralized management through COGES (for example, the establishment of a dialogue framework on the school canteens).	MENA	During and after the Project
(7) <u>Capitalize, gather information, and share the Project experiences</u>		
<p>It is proposed to carry out the following activities during the extension phase of the Project till the month of December 2017.</p>		
Tasks	Responsible	Period
➤ Implement the activities taking into account the recommendations mentioned above;	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	By the end of the Project
➤ Collect and compile data related to the evaluation indicators of PDM and COGES functioning for the school year 2016-2017 ;	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	August-September 2017
➤ Organize a national sharing workshop on the Project experience.	Team PACOGES, SCGDE/DGEF/MENA	November-December 2017

6. Lessons learnt

Multi-sectoral-impact of COGES: Commune development catalyst/factor

Primary school in Africa is one of the public institutions the most closest to commune. From the expansion of the School Management Committee, it is from now on possible to use it to address to various issues. The School Management Committee, as a organ of the education system can also contribute to solving multi-sectoral-based problems beyond the field of education through the participation of the various members of the community and the mutual trust created between them.

In the framework of PACOGES in Burkina Faso, a campaign of sensitization was organized at the beginning of the year 2015 for the prevention against the hemorrhagic fever from the Ebola Virus through the network of the COGES. It is a good practice that has started with four (4) central trainers by the training of educational monitors in the four (4) targeted regions and resulted to the sensitization of about seven-hundred-thousand (700,000) community members. Furthermore, other initiatives are in progress, in cooperation with various technical and financial partners through the functional COGES. It is among others, about the management of the school canteens and the monitoring of the classrooms construction. Besides these fine perspectives, the ministry has begun to assist the COGES concerning the implementation of their action plan.

Broadly, it is therefore important to rightly appreciate and recognize the functional School Management Committee.

ANNEX 1. Inputs to the Project

1-1. List of JICA Experts

1-2. List of Materials and Equipment Provided by JICA

1-3. List of Counterparts

1-4. List of Participants in training in Japan and other countries

1-5. List of Land, Buildings and Facilities

1-6. Budget Expenditure

ANNEX 2. Project Design Matrix

ANNEX 3. Plan of Operation and the Progress of Activities

ANNEX 1 Inputs to the Project

1-1. List of JICA Experts (as of December 2015)

No	Name	Title	From	To	Belong
1	HARA Masahiro	Chief Advisor	Aug. 2014	Aug. 2014	AsukaWorld Consultants
2	HARA Masahiro	Chief Advisor	Oct. 2014	Oct. 2014	Asuka World Consultants
3	SUGIMOTO Kikue	Coordinator/School Management	Jun. 2014	May. 2015	-
4	SUGIMOTO Kikue	Chief advisor/School Management	May. 2015	Apr. 2017	-
5	OTA Emi	Coordinator/Training Plan	Jun. 2014	Apr. 2017	-
6	YAMASHIRO Yoshinori	Audiovisual for COGES Sensitization	Dec. 2014 Jul. 2016	Feb. 2015 Sep.2016	TAC International Inc.
7	KINOSHITA Akiko	Coordinator/COGES Monitoring	Jun. 2015	Apr. 2017	-

1-2. List of Machinery and Equipment Provided by JICA (as of December 2015)

No	Materials and equipment	(Model/serial number)	Quant	Unit price	Sub-total	Date	Place	Condition
				(FCFA)	(FCFA)			
1	Vehicle	TOYOTA Prado	2	21,000,000	42,000,000	2014/9/18	PACOGES Office	good
2	Photocopy	Canon iR ADVANCE 6255i	1	7,400,000	7,400,000	2015/1/9	PACOGES Office	good
3	Computer	TOSHIBA SATELLITE L50-B-11G	1	460,200	460,200	2015/6/25	PACOGES Office	good
Total					49,860,200			

1-3. List of Counterparts

(1) Project Team (National Counterparts)

No	Name	Post	Period	
			from	to
1	KONFE/TASSENBEDO Fatimata	National Coordinator	May. 2014	Dec. 2016
2	KIEMDE Joël	Projet staff (DICI)	May. 2014	Dec. 2016
3	KOMBOIGO Pascal	Project staff (DFRC)	May. 2014	Dec. 2015
4	YONLI Yacouba	Financial Service Auditor	May. 2014	Jun. 2014
5	BELEMKOABGA Luis	Financial Service Auditor	Jun. 2014	Dec. 2016
6	KOUAMA Germain	Project staff (DSEC)	May. 2014	Nov. 2016
7	KINDA Adama	Project staff (DFRC)	Jul. 2014	Dec. 2016
8	COMPAORE Zatar	Project staff (DSEC)	Jul. 2014	Dec. 2016
9	DIABOUGAYabré Josheph	Project staff (DSEC)	Jul. 2014	Dec. 2016
10	CONGO Adama	Project staff (DICI)	Jul. 2014	Dec. 2016
11	TRAORE Issoufou	Project staff (DFRC)	Mar. 2015	Jul. 2016
12	TRAORE Abou	Financial Service Auditor	Jan.2016	Dec. 2016
13	SAWADOGO Antoinette	Project staff (DFRC)	Nov.2015	Dec. 2016

DFRC: Body for the Training and Strengthening of the COGES and CCC Capacities

DSEC: Body for the COGES and CCC Monitoring and Evaluation

DICI: Body for the Innovations and the Interventions Coordination

(2) FP of the Regional Directorate of Education and Literacy

No	Name	Region
1	YARO Bassima	BOUCLE DU MOUHOUN
2	ZONGO Ahamadou	BANFORA
3	TOURE Idrissa	CENTRE
4	SAMANDOULGOU Moumouni	CENTRE-EST
5	SAWADOGO Yaguédéba	CENTRE-NORD
6	ZONGO Martine	CENTRE-OUEST
7	DIBLONI Olio	CENTRE-SUD
8	THIOMBIANO P. Joséphine	EST
9	SANE Souleymane	HAUTSBASSINS
10	SOW Dramane	NORD
11	OUEDRAOGO Jean Claude	PLATEAU-CENTRAL
12	CISSE Moussa	SAHEL
13	SOUMDA Sanoua	SUDOUEST

1-4. List of participants to the training in Japan and other countries

No	Name and Surname	Position	Title of the training/seminar	Period
1	COMPAORE Dakissaga Zarata	National Trainer/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance and Administration: Stress set on the quality of Basic Education, Internal Efficiency and Equity(B)	03 Nov. 2014 - 13 Dec. 2014
2	COMPAORE Yabiri Aminata	National Trainer/DPENA du Kadiogo		
3	TRAORE Issoufou	National Trainer/ Agent SCGDE/DGEB	Education, Finance and Administration: Stress set on the quality of Basic Education, Internal Efficiency and Equity(B)	01 Nov. 2015 - 12 Dec. 2015
4	KABORE Sibiri	National Trainer/ Chief of the CEB Yargatenga		
5	TRAORE/Ouattara Chantal	Focal Point of the PACOGES /Agent of the Directorate for the Policies Formulation/ DGESS		

6	SEGUEDA Benewende Bonaventure	Director of the Directorate for the sector-based statistics/DGESS		
7	BAMOUNI Innocent	Chief of the Department of Health, hygiene and nutrition / DAMSSE		
8	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Department for the Coordination of the Schools Decentralized Management/National Coordinator of PACOGES	Participatory and Decentralized Management of Schools, and Improvement of the learning quality in Primary education.	13 Nov. 2016 – 30 Nov. 2016
9	NEYA DONBWA Angéline	National Trainer/ Director of the Regional Directorate for Basic Education in the SAHEL	Participatory and Decentralized Management of Schools, and Improvement of the learning quality in Primary education	13 Nov. 2016 – 30 Nov. 2016

No	Name and Surname	Position	Title of the training/seminar	Period
1	KORBEOGO Sibiri	General Director of Basic Education	Regional Seminar of experience sharing on Management centered on School in 2015 in Niger	10 March-13 March 2015
2	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Department for the Coordination of the Schools Decentralized Management / National Coordinator of PACOGES		
3	KOMBOIGO Pascal	Department for the Coordination of the Schools Decentralized Management/PACOGES		
4	Diabouga Joseph Yabré	Department for the Coordination of the Schools Decentralized Management/PACOGES		
5	CONGO Adama	Department for the Coordination of the Schools Decentralized Management/PACOGES		
6	SANON Ibrahima	General Director of the Institute for the Reform of the Education and the Training		
7	OUEDRAOGO Henri	Director of the Allocation of Specific Means to Educational Institutions.		
8	OUEDRAOGO/ OUEDRAOGO Andréa	Director of the Development of Public Primary Education		
9	BAZONGO Bagnikoué	Director for the Prospective and the Operational Programming		
10	ZONGO Charles	Travelling Educational Adviser of Boulsa		
11	OUEDRAOGO Ousmane	Focal Point of the Ministry of Territorial Administration, the Decentralization and the Security		
12	SAWADOGO Abdoul Aziz	Secretary General/ Town Council of Koubri		
13	BELEMKOABGA Louis	Administrator/PACOGES		

1-5. List of Plots, Building and Facilities

No.	Building/Facilities	Place
1	Office of the Project	Building of the Project constructed by the MENA

1-6. Budget Expenditures of the JICA

(1) Budget Expenditures for the local operational Cost per year (FCFA)

	2014	2015	2016	Total	Proportion
Government of Burkina Faso	500,976,000	794,459,710	107,550,000	1,402,985,710	68.6%
JICA	277,718,243	222,622,309	141,078,003	641,418,555	31.4%
Total	778,694,243	1,017,082,019	248,628,003	2,044,404,265	100%

ANNEX 2. Project Design Matrix (PDM)

Titre du Projet: Projet d'Appui aux Comités de Gestion d'Ecole Phase II (PACOGES II)		Date: XX Février 2014	
Zone ciblée: Toutes les 13 régions		Ver.1	
Groupe cible: Communautés, Membres de COGES, Communes/Arrondissement, CEB, DPENA, DRENA, DGEB		Durée: Mai 2014- Avril 2017 (3 ans)	
RESUME NARATIF	INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES	MOYENS DE VERIFICATION	CONDITIONS CRITIQUES
FINALITE L'accès de l'éducation et la qualité des apprentissages au niveau de l'école primaire sont améliorés.	<ul style="list-style-type: none"> Taux de scolarisation Taux d'abandon Taux de réussite Taux d'achèvement 	Données statistiques de MENA	—
OBJECTIF GLOBAL La gestion participative de l'école primaire est améliorée sur l'ensemble du territoire national.	<ul style="list-style-type: none"> Effectif des élèves (garçons et filles) dans chaque école Nombre total de classes construites par les COGES Nombre total d'heures de cours supplémentaires Nombre total d'heures d'études de nuit 	<ul style="list-style-type: none"> Rapport d'activités du Projet Rapport de l'étude de base Rapport de l'étude de fin du Projet 	La fréquence des grèves des enseignants n'est pas maîtrisée.
BUT DU PROJET Les COGES dans les écoles primaires sur l'ensemble du territoire national sont fonctionnels.	<ul style="list-style-type: none"> XX % de COGES exécutent les activités programmés dans le plan d'actions. XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés. Participation communautaire à la gestion participative de l'école est augmentée en terme personnel et financier. 	Rapport du Projet	1. Le nombre de la population scolarisable de l'enseignement primaire n'est pas manifesté à cause de l'augmentation rapide de la population. 2. Les économies de ménages ne se détériorent pas.
RESULTATS			
1. Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.	1.1 XX % de COGES sont mis en place démocratiquement à travers le vote à bulletin secret. 1.2 XX % de COGES ont élaboré un plan d'action et un bilan annuel. 1.3 XX % de plans d'action et bilan de COGES ont été récupéré par les services concernés.	1.1 Rapport 1.2. plan d'action 1.3 Bilan annuel	1. Les fonds du MENA pour la généralisation des COGES sont régulièrement versés. 2. La politique de gestion de l'école en mode décentralisé est maintenue. 3. Les membres des COGES qui ont été formés n'ont pas quitté leurs postes avant la date d'expiration de la durée de leurs mandats. 4. La situation de la sécurité ne se détériore pas.
2. Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.	2.1 Le rapport est élaboré. 2.2 Au moins XX par an, le suivi du MENA s'est tenu dans la zone de projet pilote. 2.3 Au moins XX par an, AG de CCC se sont tenues dans la zone de projet pilote. 2.4 Au moins XX fois par an, la réunion provinciale/régionale de suivi des COGES se sont tenues. 2.5 Une atelier sur la capitalisation et la validation du modèle de la CCC a été organisé. 2.6 Validation du modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	2.1. Rapport d'étude 2.2. Rapport de suivi 2.3. Rapport du suivi et PV de CCC 2.4 Rapport des fora régionaux des CCC 2.5. Document de la validation 2.6 Liste des participants	
3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.	3.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 3.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum.	3.1. Rapport 3.2. Recueil de capitalisation 3.4 Liste des participants 3.5 Liste des participants 3.6 Liste des participants	
4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.	4.1 Capitalisation des bonnes pratiques relatives au thème et à la localité. 4.2 Présentation des bonnes pratiques par le media et le forum.	4.1. Rapport 4.2. Liste des participants 4.3. Rapport 4.4. Liste des participants	

ACTIVITES			CONDITIONS CRITIQUES
<p>1.1 Elaborer un plan opérationnel pour la généralisation des COGES.</p> <p>1.2 Reproduire le guide et traduire les supports auto-visuel</p> <p>1.3 Organiser une formation préparatoire des Formateurs Nationaux sur la généralisation des COGES</p> <p>1.4 Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES.</p> <p>1.5 Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES par émissions radiodiffusées et télévisées.</p> <p>1.6 Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.7 Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arrondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.8 Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.</p> <p>1.9 Organiser des sessions de formation des COGES sur la planification et la gestion participative des écoles.</p> <p>1.10 Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations.</p> <p>1.11 Organiser des sessions d'ateliers de partage d'expériences.</p> <p>1.12 Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation.</p> <p>2.1 Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Eccles à l'orientation et la gestion des services décentralisées et déconcentrés du secteur de l'éducation de base.</p> <p>2.2 Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la Phase I.</p> <p>2.3 Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la Phase I pour expérimenter le système du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>2.4 Organiser des fora régionaux des CCC (scolarisation des filles etc.).</p> <p>2.5 Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>2.6 Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.</p> <p>3.1 Organiser une étude sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire au niveau des pays voisins et au Burkina Faso.</p> <p>3.2 Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.3 Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.4 Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui vise à l'amélioration de la qualité des apprentissages.</p> <p>3.5 Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I.</p> <p>4.1 Réaliser une étude sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.</p> <p>4.2 Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.</p> <p>4.3 Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.</p> <p>4.4 Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.</p>	JAPON	BURUKINA FASO	CONDITIONS CRITIQUES
	<p><Experts Japonais> (1) Chef Conseiller (expert à court terme basé au Japon) (2) Chef conseiller adjoint/Gestion des formations (expert à long terme) (3) Développement des capacités des COGES/ Gestion du Projet (expert à long terme) (4) Gestion du Projet (expert à long terme) -Experts à court terme (selon la nécessité)</p> <p><Coûts d'activité du Projet> 1. Frais pour l'organisation des ateliers et séminaires 2. Frais des études de base et fin du Projet 3. Frais pour les activités du Projet Pilote</p> <p><Fourniture d'équipement> 1. Véhicule(s) 2. Selon la nécessité</p>	<p><Homologue> 1. MENA ● Secrétaire Générale ● DGEB ● Service chargé de la promotion des COGES/DGEB 2. Le (la) DRENA, DPENA 3. Points Focaux de DRENA, DPENA et CEB 4. Les directeurs</p> <p>< Les frais relatifs aux formations dans le cadre de la généralisation des COGES > < Les frais relatifs du suivi (le carburant) pour la première année des COGES > < Les années suivantes ce suivi sera intégré dans les activités traditionnelles des acteurs > < Les frais relatifs aux dépenses courantes > < Locaux du projet et les coûts afférents ></p>	<p>CONDITIONS PREALABLES</p> <p>1. La politique de gestion décentralisée de l'école est maintenue. 2. Les frais relatifs à la généralisation des COGES sont alloués.</p>

ANNEXE 3. Plan d'Opérationnel (PO)

Activités prévues	Résultat	2014												2015												2016												2017												
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
Résultat 1. Les COGES sont mis en place sur l'ensemble du territoire national et les capacités des acteurs concernés sont renforcées.																																																		
1-1	Elaborer un plan opérationnel pour la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-2	Reproduire le guide et traduire les supports audio-visuel	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-3	Organiser une formation préparatoire des Formateurs Nationaux sur la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-4	Organiser un atelier national d'informations et d'échanges sur la généralisation des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-5	Organiser une série de sensibilisations sur la promotion des COGES par émissions radiodiffusées et télévisées	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-6	Organiser des sessions de formation régionale au profit des premiers responsables (DRENA, DPENA, Gouverneurs, Hauts Commissaires, Maires) sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES.	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-7	Organiser des sessions de formations provinciales pour les points focaux des DRENA, DPENA, CEB, et des chargés de l'éducation de Commune/Arrondissement sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-8	Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-9	Organiser des sessions de formation des directeurs d'écoles sur la gestion participative des écoles et l'accompagnement des COGES	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-10	Organiser le suivi-évaluation relatif aux différentes formations	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-11	Organiser des sessions d'atelier de partage d'expériences	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
1-12	Evaluer et réviser le plan opérationnel pour la généralisation des COGES à mi-parcours de la généralisation	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
Résultat 2. Le système durable de suivi-accompagnement des COGES est renforcé.																																																		
2-1	Etudier et faire des recommandations sur le rôle de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles dans l'orientation et la gestion des services décentralisés et déconcentrés du secteur de l'éducation de base	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
2-2	Evaluer et faire des recommandations sur l'état des lieux du système du suivi du MENA et des CCC dans la zone de la Phase I	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
2-3	Mener un Projet Pilote au niveau de la zone de la Phase I pour expérimenter le système du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
2-4	Organiser des fora régionaux des CCC (scolarisation des filles etc.).	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
2-5	Valider le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC.	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																
2-6	Partager des expériences sur le modèle du suivi du MENA-Commune/Arrondissement avec le modèle de la CCC	Programmé																																																
	Réalisé	█																																																

Résultat 3. Les activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion communautaire sont confirmées et partagées sur l'ensemble du territoire national.		
3-1	Organiser une étude et une évaluation sur l'état des lieux des activités des COGES qui visent l'amélioration de la qualité des apprentissages à travers la gestion	Programmé
		Réalisé
3-2	Organiser la session des rencontres de partage d'expériences et d'informations avec les acteurs concernés qui travaillent dans les activités de l'amélioration de la qualité des apprentissages	Programmé
		Réalisé
3-3	Organiser des ateliers pour la révision du modèle de COGES qui vise l'amélioration de la qualité des apprentissages	Programmé
		Réalisé
3-4	Réviser le guide et les modules de formation élaborés en Phase I qui visent à l'amélioration de la qualité des apprentissages.	Programmé
		Réalisé
3-5	Organiser un forum national sur les COGES (amélioration de la qualité des apprentissages etc.) dans la zone de la Phase I	Programmé
		Réalisé
Résultat 4. Le système de la gestion des ressources des COGES est consolidé et leurs capacités sont renforcées.		
4-1	Réaliser une étude et l'évaluation sur la gestion des ressources des COGES (cantine scolaire, infrastructure etc.) aux niveaux des pays voisins et au Burkina Faso.	Programmé
		Réalisé
4-2	Organiser des sessions de partages d'information et d'expériences sur la gestion des ressources des COGES au niveau Burkina Faso et formuler des recommandations.	Programmé
		Réalisé
4-3	Organiser des séminaires pour partager des expériences des COGES au niveau de l'Afrique de l'ouest.	Programmé
		Réalisé
4-4	Organiser des formations de renforcement des capacités des COGES sur la gestion des ressources.	Programmé
		Réalisé
4-5	Comité du pilotage	Programmé
		Réalisé
4-6	Evaluation	Programmé
		Réalisé

4. 評価グリッド

別添4. 評価グリッド

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
実績の検証	上位目標は達成される見込みか。	全国の小学校において参加型学校運営が改善される。	(1)就学児童数に見合った全国の小学校の教室数が確保される(1教室当たりの生徒数が50名以下となる)。 (2)必要な学習時間が確保される(COGESが実施した補習・夜間学習時間数が平均65時間/年以上である)。	- プロジェクト活動報告書 - ベースライン調査 - エンドライン調査 - 国民教育・識字省(MENA)統計データ	◆文献調査 ◆インタビュー
	プロジェクト目標から上位目標に至る外部条件は確保されたか。	【外部条件】 (1)初等教育学齢児童人口が急激に増加しない。 (2)一般家庭世帯の経済状況が、コミュニティの学校教育への活動・貢献を妨げるほどに、極端に悪化しない。		(1)初等教育学齢児童人口統計 (2)一般家庭経済状況	◆文献調査 ◆インタビュー ◆インタビュー
	プロジェクト目標は達成される見込みか。	全国の小学校において学校運営委員会(COGES)が機能する。	(1)少なくとも80%以上のCOGESが学校活動計画を実施する。 (2)COGESの学校活動計画への予算執行率が平均60%以上となる。 (3)各COGESが平均、会計報告1回、総会2回、事務局会議3回を実施する。	(1)年次総括表・DGESS調査票 (2)年次総括表 (3)年次総括表	◆文献調査 ◆インタビュー
	成果からプロジェクト目標に至るまでの外部条件は確保できたか。	【外部条件】 (1)学校運営の地方分権化政策が維持される。 (2)ブルキナファソの治安が、活動を妨げるほどに、悪化しない。		(1)関連政策 (2)治安状況	◆文献調査 ◆インタビュー
	成果は計画どおり産出されたか/される見込みか。	【成果1】COGESが全国で設置され、関係者の能力が強化される。	(1)全国の80%以上の学校に民主的選挙によりCOGESが設立される。 (2)75%以上のCOGESから学校活動計画と、年間総括表が回収される。	(1)CEB、DRENA、DPENAモニタリング報告書 (2)同上	◆文献調査
		【成果2】COGESの持続的なモニタリング支援シ	(1)地方分権化学校運営の組織がMENAに設置	(1)省令	◆文献調査 ◆インタビュー

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		システムが強化される。	<p>される。</p> <p>(2)75%以上の COGES が CEB により少なくとも 2 回/年モニタリングされる。</p> <p>(3)パイロットサイトの 75% 以上の CCC が年 2 回の総会を開催する。</p> <p>(4)州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される。</p> <p>(5)CCC のモデルが構築、評価、承認される。</p>	<p>(2)CEB、DRENA、DPENA モニタリング報告書</p> <p>(3)CEB、DRENA、DPENA モニタリング報告書と CCC 会議議事録</p> <p>(4)州レベル COGES モニタリング会合議事録</p> <p>(5)承認ワークショップ議事録(または省令)</p>	
		【成果 3】コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。	<p>(1)パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される。</p> <p>(2)80%以上の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される。</p>	<p>(1)CEB、DRENA、DPENA モニタリング報告書とプロジェクト活動報告書。</p> <p>(2)同上。</p>	◆文献調査
		【成果 4】COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。	80%以上の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される。	CEB、DRENA、DPENA モニタリング報告書とプロジェクト活動報告書	◆文献調査
投入の質・量・タイミングは適切だったか。		【日本側投入】 長・短期専門家の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【日本側投入】 供与機材の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【日本側投入】 本邦研修の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【日本側投入】 調査団の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【ブルキナファソ側投入】 C/P の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【ブルキナファソ側投入】 土地、建物、付帯施設の質・量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		【ブルキナファソ側投入】 現地業務費の量・タイミング	◆投入実績データ ◆C/P の意見 ◆日本人専門家の意見	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
実施プロセスの検証(Implementation Process)	活動は計画どおりに実施されたか。	活動の進捗に問題(遅れ・中断等)はなかったか。あった場合、それは何で、原因は何か。解決方法は何か。	◆活動の進捗状況	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	活動から成果に至るまでの外部条件は確保されたか。	【外部条件 1】 MENA から、COGES 全域設置・普及予算が、活動計画に沿って、順当に措置される。 【外部条件 2】 地方教育行政・分権化政策における、COGES に係る戦略が維持される。	【外部条件 1】 - 全域設置状況 - 普及予算実績・計画 【外部条件 2】 関連戦略	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者 ◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	技術移転は順調に進んだか。	技術移転の進捗に問題はなかったか。あった場合、それは何で、原因は何か。解決方法は何か。	◆技術移転の進捗状況 ◆C/P の理解度、習得度	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか。	プロジェクトモニタリングの仕組みが構築されていたか。	◆プロジェクトモニタリングの方法、頻度	◆プロジェクト作成実績表 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		プロジェクト内のコミュニケーションは円滑に行われたか。	◆会議、打合せの実施方法、その内容	◆定例会議議事録他 ◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		JICA 本部、現地事務所との連絡・協力は円滑だったか。	◆連絡・協力方法	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		ブルキナファソ側関係機関(Communities、COGES Members、Communes/District、CEB、DPENA、DRENA、DGEB 等)との連絡・協力は円滑だったか。	◆連絡・協力方法	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	実施機関や C/P のプロジェクトに対するオーナーシップは高いか。	ブルキナファソ側は高いオーナーシップをもって活動に取り組んでいるか	◆C/P 機関予算の時系列的変化 ◆活動実施状況 ◆連絡・協力状況 ◆C/P の認識	◆C/P 機関予算書 ◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	関係者のプロジェクトへの参加度や認識は高いか。	Communities、COGES Members、Communes/District、CEB、DPENA、DRENA、DGEB などの関係者は本プロジェクトの活動を認識し協力的だったか。	◆Communities、COGES Members、Communes/District、CEB、DPENA、DRENA、DGEB などの関係者のプロジェクト目標に対する認識	◆C/P 機関予算書 ◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
	プロジェクトの実施過程で生じた問題や、効果発現に影響を与えた要因は何か。	プロジェクトの阻害要因、促進要因は何か。阻害要因に対する対応はどのようなものであったか。	♦プロジェクト活動記録	♦プロジェクト進捗報告書 ♦プロジェクト年次報告書 ♦C/P、日本人専門家、その他関係者	♦文献調査 ♦インタビュー
	他プロジェクトとの協力・連携は適切だったか。	円借款、無償資金協力、その他わが国の他事業との連携は効果的・効率的だったか。	♦協力・連携状況 ♦プロジェクト活動記録	♦プロジェクト報告書 ♦C/P、日本人専門家、その他関係者	♦文献調査 ♦インタビュー
妥当性(Relevance)	本プロジェクトがめざす効果は、国家政策に合致しているか。	国家政策(国家開発計画等)における当該分野の位置づけ	当該分野開発計画及び維持管理計画	♦国家開発計画 ♦セクター開発計画等	♦文献調査 ♦インタビュー
	日本の援助政策に合致しているか。	援助重点課題及び国別事業実施計画等との関連性はあるか。	♦日本の援助重点課題 ♦当該国に対する支援方針	♦JICA 国別事業実施計画等	♦文献調査 ♦インタビュー
	ターゲットグループのニーズに合致しているか。	COGES の活動は住民・児童のニーズと合致しているか。	♦住民・児童の満足度		♦インタビュー
	プロジェクトのアプローチはプロジェクト目標・上位目標達成の手段として妥当か。	プロジェクトアプローチとプロジェクト目標、上位目標との整合性	♦関係者の認識	♦事前評価調査報告書 ♦C/P、日本人専門家、その他関係者	♦文献調査 ♦インタビュー
	日本の技術の優位性はあるか。	日本の当該分野の経験は有効に生かされているか。	♦関係者の認識	♦C/P、その他関係者	♦文献調査 ♦インタビュー
	日本の他支援との整合性はあるか。	円借款、無償資金協力、その他わが国の他事業との連携は有効に働いたか。	♦他支援との連携状況	♦他支援報告書 ♦プロジェクト報告書	♦文献調査 ♦インタビュー
	国内状況から妥当であるか。	国内産業の発展または国内課題の解決に貢献するか。	♦当該セクター現況	♦当該セクター白書	♦文献調査 ♦インタビュー
他の教育分野に比べ妥当であるか。		♦他の教育分野との重要性比較データ	♦教育統計	♦文献調査 ♦インタビュー	
有効性(Effectiveness)	プロジェクト目標は本プロジェクトの貢献によって達成されたか。	プロジェクト目標は達成されたか(実績の検証)。	♦実績の検証(既出)	♦実績の検証(既出)	♦実績の検証(既出)
		プロジェクト目標指標の達成は本プロジェクトのアウトプット達成によるものか。	♦実績の検証(既出:プロジェクト目標達成度、アウトプット達成度) ♦関係者の認識	♦実績の検証(既出) ♦C/P、日本人専門家、その他関係者	♦実績の検証(既出) ♦インタビュー
		アウトプットによってプロジェクト目標が達成されるという論理性は確保されたか(妥当性:既出)。	♦妥当性(既出)	♦妥当性(既出)	♦妥当性(既出)

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
	プロジェクト目標を促進あるいは阻害した要因は何か。	その他促進・阻害要因はあるか。	【促進要因】 【阻害要因】		◆インタビュー
効率性(Efficiency)	達成されたアウトプットからみて、投入の質・量・タイミングは適切か。	専門家派遣人数、専門分野・能力、派遣時期・期間は適切か(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
		供与機材の種類、量、設置時期は適切か(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
		研修員受入人数、内容、期間・時期は適切か(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
		C/Pの人数、配置時期、能力は適切か(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
		建物・施設の質、規模、利便性は適切か(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
	プロジェクトの予算は適正規模か。	類似プロジェクトと比較して妥当なコストか。	◆本プロジェクトへの総投入額 ◆類似プロジェクトの成果及びプロジェクト目標、受益人口等 ◆類似プロジェクトへの総投入額	◆プロジェクト報告書 ◆類似プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	他案件との連携	円借款との連携	連携の有無、程度、内容	◆専門家 ◆JICA ブルキナファソ事務所 ◆関連文書	◆文献調査 ◆インタビュー
		開発調査との連携	連携の有無、程度、内容	◆専門家 ◆JICA ブルキナファソ事務所 ◆関連文書	◆文献調査 ◆インタビュー
		無償資金協力との連携	連携の有無、程度、内容	◆専門家 ◆JICA ブルキナファソ事務所 ◆関連文書	◆文献調査 ◆インタビュー
		技プロとの連携	◆連携の有無、程度、内容	◆専門家 ◆JICA ブルキナファソ事務所 ◆関連文書	◆文献調査 ◆インタビュー
個別専門家との連携		◆連携の有無、程度、内容	◆専門家 ◆JICA ブルキナファソ事務所 ◆関連文書	◆文献調査 ◆インタビュー	
効率性を促進・阻害した要因は何か。	定例会議、JCC等、プロジェクト運営管理体制はプロジェクトの効率的運	◆関係者の認識	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー	

項目	評価設問		必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目			
		営に貢献したか。			
インパクト (Impact)	上位目標は達成される見込みか。	上位目標は達成される見込みか(実績の検証)。	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)	◆実績の検証(既出)
	上位目標の達成を促進・阻害する要因はあるか。	その他促進・阻害要因はあるか。	◆促進要因 ◆阻害要因		◆インタビュー
	上位目標の達成は本プロジェクトの貢献によるものか。その他の波及効果はあるか。	上位目標とプロジェクト目標の論理性は確保されているか。	◆関係者の認識	◆事前評価調査報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		本プロジェクトによるMENA等の政策制度への影響はあったか。	◆関係者の認識	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		本プロジェクトによるCOGESの技術(質・レベル・体制等)への影響はあったか。	◆関係者の認識	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		本プロジェクトによるプロジェクトサイトの環境への影響はあったか。	◆関係者の認識	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		その他の影響(正負)はあるか。	◆関係者の認識	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
持続性 (Sustainability)	政策面での支援は継続するか。	中央政府及びC/P機関の政策は引き続き当該分野を政策上の重点項目として位置づけるか。	◆国家開発計画 ◆当該分野開発政策 ◆関係者の認識	◆国家開発計画 ◆当該分野開発政策 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	C/P機関には事業を継続するだけの能力が備わっているか。	C/P機関には、協力終了後も活動を継続するに足る運営管理能力があるか。	◆C/P機関予算 ◆C/P機関職員の配置、定着状況 ◆C/P機関の運営管理能力	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		C/P機関には、協力終了後も施設・機材の維持管理を適切に行っていけるか。	◆C/P機関予算 ◆C/P機関職員の配置、定着状況 ◆C/P機関の運営管理能力	◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
		C/P機関には、協力終了後も活動を継続するに足る財政能力があるか。	◆C/P機関予算	◆C/P機関予算計画書 ◆プロジェクト報告書 ◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	移転された技術は定着するか。	移転された技術の実施機関内での普及の可能性	◆関係者の意見	◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー
	その他の関係者の協力体制は継続するか。	他の支援機関(ドナー等)は、C/P機関への支援を継続するか。	◆関係者の意見	◆C/P、日本人専門家、その他関係者	◆文献調査 ◆インタビュー

5. 質問票

別添5. 質問票

【質問票：日本人専門家用】

ブルキナファソ国 学校運営委員会支援プロジェクト・フェーズ2 終了時評価調査
プロジェクト専門家メンバー各位

今般、「ブルキナファソ国 学校運営委員会支援プロジェクト・フェーズ2」に係る終了時評価調査が2017年1月9日から1月27日の日程で実施されることとなりました。この終了時評価調査に先立ち、事前にプロジェクトに対する皆様のご意見や必要な情報を収集させて頂きたく、以下のとおり質問票を準備致しましたので、宜しくご回答方、お願い申し上げます。

ご承知の通り、JICA のプロジェクト評価は、援助プログラムの円滑な実施や得られた教訓のフィードバック、日本国民への援助効果の説明責任を果たすために行われます。評価の方法は「JICA 事業評価ガイドライン」に沿って、世界中の JICA プロジェクト共通の枠組みで行われます。

また、今回の終了時評価では、以下の点も大切な目的と考えております。

- 1) これまでプロジェクトチームが積み上げてこられた成果を整理すること
- 2) 今次のプロジェクトの状況を総括し、特に自立発展性確保の観点からプロジェクト終了後の追加支援などの実施の妥当性の検証材料を収集すること

なお、誠に勝手ながら時間の都合上、1月9日までに以下の当方のメールアドレス宛、ご返送頂けますよう、お願い申し上げます（可能であれば、できる限り早めに対応戴けますと幸甚です）。

質問票は、おひとりずつ個別にご回答下さい。

当方の理解不足のために、質問の意味が不明の箇所もあるかもしれませんが、その場合には「意味不明のため回答せず」と欄内にご記入下さい。

何卒よろしくお願い申し上げます。

JICA 終了時評価調査団 評価分析担当団員
大前 正也
omaema@nifty.com

お名前:

ご担当分野:

プロジェクト従事期間: 年間(年 月～ 年 月)

A.実績の検証:詳細は別途「投入実績」として情報収集依頼をしておりますが、全体的な観点からの回答をお願い致します。

(1)本プロジェクトの投入(専門家、機材、C/P 研修)は計画通り実施されましたか。

- a) 計画通り実施された
- b) やや計画からは逸脱したものの、大きな問題はなかった
- c) 計画通りに実施できなかったため、プロジェクト運営に支障があった

c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

.....

(2)アウトプットは計画通り産出されましたか。

- a) 計画通り産出された

- b) やや計画からは逸脱したものの、大きな問題はなかった
- c) 計画通りに産出できなかった

c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(3)プロジェクト目標(全国の小学校において学校運営委員会が機能する。)は達成されますか。

- a) 既に達成されている
- b) プロジェクト期間内に達成される
- c) 達成の見込みはない

c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(4)上位目標(全国の小学校において参加型学校運営が改善される。)の達成見込みはありますか。

- a) 十分に達成見込みはある
- b) 追加的な措置を講ずることにより、達成の見込みがある
- c) 達成の見込みはない

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(5)プロジェクト活動に関する日-ブルキナファソ協働体制に問題はありませんでしたか。

- a) 問題なし
- b) やや問題があったものの、大きな阻害要因ではなかった
- c) 致命的な問題であったため、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

B.実施プロセスの検証:詳細は別途「活動実績一覧表」として情報収集依頼をしておりますが、全体的な観点からの回答をお願い致します。

(6)プロジェクトのマネジメント体制(モニタリングの仕組み、意思決定過程、JICA 本部・在外事務所の機能、プロジェクト内のコミュニケーションの仕組みなど)に問題はありませんでしたか。

- a) まったく問題はなかった
- b) やや問題があったものの、大きな阻害要因ではなかった
- c) 致命的な問題であったため、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

C.妥当性

(7)ブルキナファソの政策、法や社会情勢、国際情勢、またはMENA内部の変化等によって、プロジェクトの重要度と優先度に変化がありましたか。

- a) より高くなった
- b) 変化はない(引き続き重要かつ優先度は高い)
- c) 低下した

a)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(8)本プロジェクトの実施機関として Ministry of National Education and Literacy(MENA)が選定されていますが、今後もプロジェクトの実施機関とし MENA を選ぶことが引き続き妥当でしょうか。

- a) 実施機関として MENA 以外は考えられない
- b) 他機関にも可能性はあるが、MENA で不都合な点はない
- c) 他にもっと適切な機関がある

b)または c)とお答えの場合、その理由(具体的な他の機関等も含め)をご教示下さい。

(9)本プロジェクト実施前と比較して、MENA の組織・体制は強化されたでしょうか。

- a) 強化された
- b) 変わらない(引き続き強化すべき事項が存在する)
- c) 不明である

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(10)本プロジェクト活動分野に関して、日本の優位性はあったでしょうか。

- a) 優位性はあった
- b) 他国が優位な面もあったが、全体的には日本に優位性があった
- c) 優位性はなかった

b)または c)とお答えの場合、その理由(具体的な他国名を含め)をご教示下さい。

D.有効性

(11)プロジェクト活動から成果に対しての外部条件(①国民教育省から、学校運営委員会(COGES)全域設置・普及予算が、活動計画に沿って、順当に措置される。②地方教育行政・分権化政策における、学校運営委員会(COGES)に係る戦略が維持される。)の影響はありましたか。

- a) 問題なかった
- b) 一部問題があった
- c) 外部条件が満たされなかったため、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(12)プロジェクト成果からプロジェクト目標に対しての外部条件(①学校運営の地方分権化政策が維持される。②ブ国の治安が、活動を妨げるほどに、悪化しない。)の影響はありましたか。

- a) 問題なかった
- b) 一部問題があった
- c) 外部条件が満たされなかったため、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(13)プロジェクト目標(全国の小学校において学校運営委員会が機能する。)に対する阻害要因はありまし

たか。

- a) なかった
- b) 部分的にあった
- c) 致命的な阻害要因の存在により、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

E.効率性

【D-1】プロジェクトの成果を達成するために、以下の投入の量・質・投入のタイミングは適切でしたか。

(14)これまで派遣された専門家

人数	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
専門分野と任務のマッチング	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
派遣時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
派遣期間	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
専門能力	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
コミュニケーション能力(語学力含む)	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

(15)日本でのカウンターパート研修

事前説明	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
人数	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
研修専門分野	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
研修内容	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
研修実施時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
研修期間の長さ	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
フォローアップ	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

(16)これまでに支出された JICA プロジェクト経費について(日本人専門家のみ)

金額	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
支出時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

【D-2】ブルキナファソ側の投入の適切さについて

(17)これまで配置されたブルキナファソ側のカウンターパート職員について

人数	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
専門分野と任務のマッチング	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
技術移転を受けるうえでの基礎的能力	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
配置時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
配置期間	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
コミュニケーション能力(語学力含む)	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

(18)プロジェクト実施現場の敷地、建物、設備について

広さ	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
機能	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
提供された時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

.....

(19)これまでに支出されたブルキナファソ側の経費について

金額	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき
支出時期	<input type="checkbox"/> 適切だった	<input type="checkbox"/> 概ね適切	<input type="checkbox"/> 改善すべき

改善すべき部分についての提言をお書き下さい。

.....

【D-3】プロジェクトを支援する仕組み

(20)合同調整委員会はプロジェクト実施のために有効に機能しましたか。

- a) はい
- b) いいえ
- c) 情報がないのでわからない

「いいえ」とお答えの場合、提言をお書き下さい。

.....

(21)日本国内の支援(JICA 本部、JICA 国内センター等)はプロジェクト実施のために有効に機能しましたか(日本人専門家のみ)。

- a) はい
- b) いいえ
- c) 情報がないのでわからない

「いいえ」とお答えの場合、提言をお書き下さい。

.....

(22)JICA ブルキナファソ事務所の協力は十分でしたか。

- a) はい
- b) いいえ
- c) 情報がないのでわからない

「いいえ」とお答えの場合、提言をお書き下さい。

.....

F.インパクト

(23)プロジェクトを実施したことにより発現したポジティブあるいはネガティブなインパクト(影響や効果)はありますか、あるいは予想されますか。

- a) ポジティブなインパクトがある(予想される)
- b) ネガティブなインパクトがある(予想される)
- c) 情報がないのでわからない

a)または b)とお答えの場合、その理由(具体的な例も含め)をご教示下さい。

.....

(24)プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件(学校教職員の労働争議(スト)が、子どもの通学・学習や学校運営を妨げるほどに、頻発しない。)の影響はありましたか。

- a) 問題なかった
- b) 一部問題があった
- c) 外部条件が満たされなかったため、プロジェクト運営に支障があった

b)または c)とお答えの場合、その理由をご教示下さい。

(25)上位目標(全国の小学校において参加型学校運営が改善される。)に対する本プロジェクトの効果として、具体的にどの様なものが考えられますか。ご意見をお願いします。

G. 自立発展性

【プロジェクトの効果の持続性：組織面】

(26) MENA が今後も存続していく上で、もしくは更なる活動の実施、組織・体制の強化を行っていく上で影響のある、法制度等における大きな変化はありますか。

- a) はい
- b) いいえ
- c) 情報がないのでわからない

「はい」とお答えの場合、その具体的内容をご教示下さい。

【プロジェクトの効果の持続性：技術面】

(27)プロジェクト期間の終了後も MENA 職員はプロジェクトで習得した能力(知識と技能)を職員としての任務に活用し続けると思われますか。

- a) はい
- b) いいえ
- c) 全く想定できない

「いいえ」とお答えの場合、その理由と改善のためのご提案をご教示下さい。

(28)プロジェクト期間中、及び終了後、プロジェクトで供与した機材の活用のための手段はカウンターパートへ引き継がれていますか。あるいはプロジェクト終了までに確立する予定ですか。

- a) はい、またはプロジェクト終了までに引き継ぎ見込みである
- b) いいえ
- c) わからない

「いいえ」「わからない」とお答えの場合、その理由と改善のためのご提案をご教示下さい。

【プロジェクトの効果の持続性：人材面】

(29)プロジェクト期間中、及び終了後も MENA 独自で適切な人材を雇用し配置していくことが可能と予想されますか。

- a) はい
- b) いいえ

c) 全く想定できない

「いいえ」とお答えの場合、その理由と改善のためのご提案をご教示下さい。

【プロジェクトの効果の持続性:財務面】

(30) MENA の活動の財源は、プロジェクト期間中、及び終了後も確保されると見込めそうですか。

- a) はい
b) いいえ
c) 全く想定できない

「いいえ」とお答えの場合、その理由と改善のためのご提案をご教示下さい。

(31) プロジェクト中、及び終了後にその効果の持続性に影響を与える、その他の貢献・阻害要因があればコメント下さい。

(32) その他

このプロジェクトの経験を踏まえて、今後、ブルキナファソで JICA のプロジェクトを実施するうえで、改善すべき点、協力の要望・要請、あるいは道路分野で類似の協力を行ううえで留意すべき点や改善すべき点を教訓としてご教示下さい。

(資料依頼)

今般の終了時評価で本件プロジェクトの実績等を検証するために、以下の資料のご準備をお願い致します。PDM の指標入手手段を参考にしておりますので、ご準備できていない資料につきましては、インタビュー等で対応させて戴きます。また全て詳細は不要で、現状が把握できるサマリーで結構です。

- 01) ベースライン調査結果
- 02) エンドライン調査結果(現状進捗)
- 03) 国民教育省統計データ(本件関連部分)
- 04) 年次総括表
- 05) CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書
- 06) CCC 会議・ワークショップ議事録
- 07) C/P 機関予算実績・計画データ
- 08) C/P 配置及び定着状況(プロジェクト実施期間中)
- 09) 供与機材一覧(供与年度、価格、利用状況)
- 10) 専門家一覧(氏名、担当分野、期間、本邦配属先)
- 11) C/P 本邦研修一覧
- 12) 現地業務費一覧(細目までは必要ありません。年度毎の大枠で結構です)
- 13) その他プロジェクト活動をアピールできる情報

ご協力まことに有難うございました。

6. 収集データ

別添6. 収集データ

6-1. JICA 専門家リスト

No	氏名	担当分野	派遣期間	所属先
1	原 雅裕	チーフアドバイザー	2014年8月	AsukaWorld Consultants
2	原 雅裕	チーフアドバイザー	2014年10月	Asuka World Consultants
3	杉本 記久恵	チーフアドバイザー/学校運営	2014年6月から2017年4月 ⁴	-
4	太田 恵美	業務調整/研修計画	2014年6月から2016年6月	-
5	山城 吉徳	研修用視聴覚教材作成	2014年12月から2015年2月	TAC International Inc.
6	木下 晶子	業務調整/モニタリング	2015年6月から2017年4月	-

6-2. JICA 側供与機材リスト

No	機材	(モデル/番号)	数	価格	小計	購入日	保管場所	状態
				(FCFA)	(FCFA)			
1	車両	TOYOTA Prado	2	21,000,000	42,000,000	2014/9/18	PACOGES 事務所	良好
2	コピー機	Canon iR ADVANCE 6255i	1	7,400,000	7,400,000	2015/1/9	PACOGES 事務所	良好
3	コンピュータ	TOSHIBA SATELLITE L50-B-11G	1	460,200	460,200	2015/6/25	PACOGES 事務所	良好
総 計					49,860,200			

6-3. カウンターパート (C/P) リスト

(1) プロジェクトチーム (ナショナル C/P)

No	氏名	所属	期間	
			自	至
1	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	ナショナル・コーディネーター	2014年5月	2016年12月
2	KIEMDE Joël	プロジェクト・スタッフ (DICI)	2014年5月	2016年12月
3	KOMBOIGO Pascal	プロジェクト・スタッフ (DFRC)	2014年5月	2016年12月
4	YONLI Yacouba	財務業務幹事	2014年5月	2014年6月
5	BELEMKOABGA Luis	財務業務幹事	2014年6月	2016年12月
6	KOUAMA Germain	プロジェクト・スタッフ (DSEC)	2014年5月	2016年11月
7	KINDA Adama	プロジェクト・スタッフ (DFRC)	2014年7月	2016年12月
8	COMPAORE Zatarra	プロジェクト・スタッフ (DSEC)	2014年7月	2016年12月
9	DIABOUGAYabré Josheph	プロジェクト・スタッフ (DSEC)	2014年7月	2016年12月
10	CONGO Adama	プロジェクト・スタッフ (DICI)	2014年7月	2016年12月
11	TRAORE Issoufou	プロジェクト・スタッフ (DFRC)	2015年3月	2016年6月
12	TRAORE Abou	財務業務幹事	2016年1月	2016年12月
13	SAWADOGO Antoinette	プロジェクト・スタッフ (DFRC)	2015年11月	2016年12月

DFRC: COGES と CCC のための訓練・キャパシティ・ビルディング課

DSEC: COGES と CCC のためのモニタリング・評価課

DICI: 改革と介入調整課

⁴ 2015年5月までは業務調整/学校運営として派遣

(2) 教育・識字の地方支部のフォーカルポイント

No	氏名	地域
1	YARO Bassima	BOUCLE DU MOUHOUN
2	ZONGO Ahamadou	BANFORA
3	TOURE Idrissa	CENTRE
4	SAMANDOULGOU Moumouni	CENTRE-EST
5	SAWADOGO Yaguédéba	CENTRE-NORD
6	ZONGO Martine	CENTRE-OUEST
7	DIBLONI Olio	CENTRE-SUD
8	THIOMBIANO P. Joséphine	EST
9	SANE Souleymane	HAUTSBASSINS
10	SOW Dramane	NORD
11	OUEDRAOGO Jean Claude	PLATEAU-CENTRAL
12	CISSE Moussa	SAHEL
13	SOUMDA Sanoua	SUDUEST

6-4. カウンターパート (C/P) 研修 (本邦及び第三国)

No	氏名	所属	訓練/セミナータイトル	期間
1	COMPAORE Dakissaga Zarata	ナショナル講師/地方分権化学学校運営調整課職員/公教育総局	教育財政と管理：基礎教育の質、内部効率、均衡性に焦点を当てて	2014年11月3日から12月13日
2	COMPAORE Yabiri Aminata	ナショナル講師/カディオゴ県事務所長		
3	TRAORE Issoufou	ナショナル講師/DGEB・地方分権化学学校運営調整課職員	教育財政と管理：基礎教育の質、内部効率、均衡性に焦点を当てて	2015年11月1日から12月12日
4	KABORE Sibiri	ナショナル講師/ヤルガテンガCEB長		
5	TRAORE Ouattara Chantal	PACOGES フォーカルポイント/政策策定局/調査・セクター統計総局		
6	SEGUEDA Benewende Bonaventure	セクター統計局長/調査・セクター統計総局		
7	BAMOUNI Innocent	保健衛生・栄養課長/教育施設特殊資機材配分局		
8	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	地方分権化学学校運営調整課長/PACOGES ナショナルコーディネーター	初等教育における住民参加型学校運営と学習の質の向上	2016年11月13日から30日
9	NEYA DONBWA Angéline	ナショナル講師/サヘル州事務所長	初等教育における住民参加型学校運営と学習の質の向上	2016年11月13日から30日

No	氏名	所属	訓練/セミナータイトル	期間
1	KORBEOGO Sibiri	Directeur Général de l'Education de Base	みんなの学校プロジェクト群地域経験共有セミナー	2015年5月10日から12日
2	KONFE/TASSEMBEDO Fatimata	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/Coordinatrice Nationale du PACOGES		
3	KOMBOIGO Pascal	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
4	Diabouga Joseph Yabré	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
5	CONGO Adama	Service de la Coordination de la Gestion Décentralisée des Ecoles/PACOGES		
6	SANON Ibrahima	Directeur Général de l'Institut de la Réforme de l'Education et de la Formation		
7	OUEDRAOGO Henri	Directeur de l'Allocation des Moyens Spécifiques aux Structures Educatives		
8	OUEDRAOGO/OUEDRAOGO Andréa	Directrice du Développement de l'Enseignement Primaire Public		
9	BAZONGO Bagnikoué	Directeur de la Prospective et de la Programmation Opérationnelle		
10	ZONGO Charles	Conseiller Pédagogique Itinérant de Boulssa		
11	OUEDRAOGO Ousmane	Point Focal du Ministère de l'Administration Territoriale, de la Décentralisation et de la Sécurité		
12	SAWADOGO Abdoul Aziz	Secrétaire Général / Mairie de Koubri		
13	BELEMKOABGA Louis	Gestionnaire/PACOGES		

6-5. ブルキナファソ側手配の土地、建物、施設

No.	建物/施設	場所
1	プロジェクト事務所	MENA 手配のプロジェクト用の建物

6-6. 経費負担

(1) Budget Expenditure for Local Operational Cost per Year (FCFA)

	2014	2015	2016	合計	割合
ブルキナファソ側	500,976,000	794,459,710	107,550,000	1,402,985,710	69%
JICA 側	277,718,243	222,622,309	141,081,319	641,421,871	31%
合計	778,694,243	1,017,082,019	248,631,319	2,044,407,581	100%

付属 7. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

PDM			
プロジェクト名: 学校運営委員会支援プロジェクト・フェーズ 2		作成日: 2016 年 8 月 16 日	
対象地域: ブルキナファソ国全 13 州		実施期間: 3 年間	
ターゲットグループ: 地域住民、COGES 委員、コミュニン関係者、DRENA DPENA 及び CEB 関係者		Ver.2	
プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
スーパーゴール 初等教育のアクセス並びに学習の質が改善される。	・就学率 ・中退率 ・進級率 ・修了率	・国民教育・識字 (MENA) 省統計データ	—
上位目標 全国の小学校において参加型学校運営が改善される。	1. 就学児童数に見合った全国の小学校の教室数が確保される (1 教室当たりの生徒数が 50 名以下となる) 2. 必要な学習時間が確保される (COGES が実施した補習・夜間学習時間が平均 65 時間/年以上である)	・プロジェクト活動報告書 ・ベースライン調査 ・エンドライン調査 ・MENA 統計データ	・学校教職員の労働争議 (スト) が、子どもの通学・学習や学校運営を妨げるほどに、頻発しない。
プロジェクト目標 全国の小学校において学校運営委員会が機能する。	1. 少なくとも 80% 以上の COGES が学校活動計画を実施する 2. COGES の学校活動計画への予算執行率が平均 60% 以上となる 3. 各 COGES が平均、会計報告 1 回、総会 2 回、事務局会議 3 回を実施する	・プロジェクト活動報告書	1. 初等教育学齢児童人口が急激に増加しない。 2. 一般家庭世帯の経済状況が、コミュニティの学校教育への活動・貢献を妨げるほどに、極端に悪化しない。
成果 (アウトプット) 1. 学校運営委員会 (COGES) が全国で設置され、関係者の能力が強化される。 2. COGES の持続的なモニタリング支援システムが強化される。 3. コミュニティ参画を通じた COGES による学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。 4. COGES のリソース運営管理システムが強化され、COGES の能力が強化される。	1.1 全国の 80% 以上の学校に民主的選挙により COGES が設立される 1.2 75% 以上の COGES から学校活動計画と、年間総括表が回収される 2.1 地方分権化学校運営の組織が MENA に設置される 2.2 75% 以上の COGES が視学官事務所 (CEB) により少なくとも 2 回/年モニタリングされる 2.3 パイロットサイトの 75% 以上のコミュニン COGES 連絡協議会 (CCC) が年 2 回の総会を開催する 2.4 州レベルでの COGES モニタリングのための総会が年 1 回以上開催される 2.5 CCC のモデルが構築、評価、承認される 3.1 パイロットサイトで学習効果向上にかかる COGES の活動の有効性が確認される 3.2 80% 以上の COGES に学習効果向上にかかるグッドプラクティスが共有される 4.1 80% 以上の COGES にリソース管理にかかるグッドプラクティスが共有される	1.1 1.2. CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書 2.1. 省令 2.2. CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書 2.3 CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書と CCC 会議事録 2.4 州レベル COGES モニタリング会合議事録 2.5 承認ワークショップ議事録 (または省令) 3.1. 3.2. CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書とプロジェクト活動報告書 4.1. CEB, DRENA, DPENA モニタリング報告書とプロジェクト活動報告書	1. MENA から、COGES 全域設置・普及予算が、活動計画に沿って、順当に措置される。 2. 学校運営の地方分権化政策が維持される。 3. 研修を受講した COGES 委員が任期終了前に離任しない。 4. ブルキナファソの治安が、活動を妨げるほどに、悪化しない。

活動	投入		外部条件
<p>【成果 1 の活動】</p> <p>1.1 COGES 全国普及実施計画の作成 1.2 マニュアル複製とビデオ教材の現地語吹き替え 1.3 全国普及開始にかかるナショナルトレーナー対象準備研修 1.4 全国普及開始にかかる情報共有セミナーの開催 1.5 COGES 推進のためのマスメディアを通じた啓発活動の実施 1.6 州の関係者 (DRENA、DPENA、州知事、県知事、コミュニオン長対象) を対象とした COGES 設立に関する情報共有セミナーの実施 1.7 州・県レベルの FP、視学官、コミュニオン教育担当者を対象とした民主的な COGES 設立に関する研修の実施 1.8 校長を対象とした COGES 設立・参加型学校運営管理に関する研修の実施 1.9 COGES メンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修の実施 1.10 各種研修のモニタリング実施 1.11 情報共有セミナー開催 1.12 全国展開中期段階で活動計画の評価と見直し 1.13 COGES 機能の持続性を確保するための関係者の能力強化 1.14 都市部における機能する COGES モデルの試行と提言</p> <p>【成果 2 の活動】</p> <p>2.1 MENA において地方分権化学校運営を担う部署の役割についての提言 2.2 MENA によるモニタリングシステムの改善とモニタリングにかかわる関係者の能力強化 2.3 フェーズ 1 対象地域における、CCC モデル現状評価 2.4 フェーズ 1 対象地域を含む CCC 試行地域における、経験共有の会合実施 2.5 全国で開催される州レベルの COGES モニタリング会合における技術的支援 2.6 対象地域における CCC 改善モデルの試行並びに評価ワークショップの開催 2.7 対象地域における CCC を通じた COGES メンバーに対する能力強化の試行 2.8 CCC モデルの最終化</p>	<p style="text-align: center;">【日本側】</p> <p>< 専門家 ></p> <p>1 年目</p> <p>① チーフアドバイザー (短期専門家) ② 業務調整/学校運営 (長期専門家) ③ 業務調整/研修計画 ((長期専門家)</p> <p>2 年目以降</p> <p>① チーフアドバイザー/学校運営 (長期専門家) ② 業務調整/研修計画 (長期専門家) ③ 業務調整/モニタリング (長期専門家)</p> <p>・必要に応じて短期専門家数名</p> <p>< 在外事業強化費 ></p> <p>1. ワークショップ・セミナー等実施費用 2. ベースライン調査・エンドライン調査実施費用 3. パイロット活動費</p> <p>< 供与機材費 ></p> <p>・車両、コピー機 (フェーズ 1 で使用可能な機材は、引き続き使用する)</p>	<p style="text-align: center;">【ブルキナファソ側】</p> <p>< C/P ></p> <p>・MENA 次官 ・基礎教育総局長 ・地方分権化学校運営調整課長 ・地方分権化学校運営調整課職員、財務担当者 ・MENA 州局長、県局長、CEB 長 ・州・県フォーカスポイント・CEB ・校長</p> <p>< プロジェクト実施費用 ></p> <p>・COGES 全国展開予算 ・COGES 設置 1 年次の COGES モニタリング (ガソリン) 費用 ・2 年目以降については、既存の定例会議以外でもモニタリングを実施。</p> <p>< プロジェクト執務室及び賃料と光熱水費、通信費、雑費 ></p>	<p>・MENA から、COGES 全域設置・普及予算が、活動計画に沿って、順当に措置される。 ・地方教育行政・分権化政策における、COGES に係る戦略が維持される。</p>
<p>【成果 3 の活動】</p> <p>3.1 近隣地域及びブルキナファソにおける COGES 活動を通じた (コミュニティ参加による) 学習成果の向上のための活動に関する情報収集 3.2 学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換会の開催 3.3 パイロット地域における COGES 活動を通じた学習の質向上に係る実証 3.4 COGES 活動を通じた学習の質向上に関するグッドプラクティスの共有</p> <p>【成果 4 の活動】</p> <p>4.1 近隣地域及びブルキナファソにおける、COGES を通じた資源管理に関する情報収集 4.2 学校における資源管理を実施する関係者との COGES の役割についての意見交換 4.3 近隣地域との情報共有セミナー開催 4.4 資源管理の実施に係る COGES の役割の明確化と COGES メンバーの能力強化 4.5 COGES による学校レベルでの資源管理に係るグッドプラクティスの共有</p>			<p>【前提条件】</p> <p>1. 学校運営に関する政策が継続される。 2. 全国展開のための予算が教育省から執行される。</p>

別添 8. 実施計画 (PO) 及び実績

活動	2014												2015												2016												2017		
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
成果 1. 学校運営委員会が全国で設置され、関係者の能力が強化される。																																							
1-1	COGES全国普及実施計画の作成																																						
1-2	マニュアル複製とビデオ教材の現地語吹き替え																																						
1-3	全国普及開始にかかるナショナルトレーナー対象準備研修																																						
1-4	全国普及開始にかかる情報共有セミナーの開催																																						
1-5	COGES推進のためのマスメディアを通じた啓発活動の実施																																						
1-6	州の関係者 (DPENA、DRENA、州知事、県知事、コミュニティ長対象) を対象としたCOGES設立に関する情報共有セミナーの実施																																						
1-7	州・県レベルのFP、視学官、コミュニティ教育担当者を対象とした民主的COGES設立に関する研修の実施																																						
1-8	校長を対象としたCOGES設立・参加型学校運営管理に関する研修の実施																																						
1-9	COGESメンバーを対象とした活動計画作成・参加型学校運営管理に関する研修の実施																																						
1-10	各種研修のモニタリング実施																																						
1-11	情報共有セミナー開催																																						
1-12	全国展開中期段階で活動計画の評価と見直し																																						
1-13	COGES機能の持続性を確保するための関係者の能力強化																																						
1-14	都市部における機能するCOGESモデルの試行と提言																																						
成果 2. COGESの持続的なモニタリング支援システムが強化される。																																							
2-1	MENAにおいて地方分散化学校運営担部署の役割についての提言																																						
2-2	MENAによるモニタリングシステムの改善とモニタリングに関わる関係者の能力強化																																						
2-3	フェーズI対象地におけるCCCモデル現状評価																																						
2-4	フェーズI対象地域を含むCCC試行地域における、経験共有の会合実施																																						
2-5	全国で開催される州レベルのCOGESモニタリング会合における技術的支援																																						
2-6	対象地域におけるCCC改善モデルの試行並びに評価ワークショップの開催																																						
2-7	対象地域におけるCCCを通じたCOGESメンバーに対する能力強化の試行																																						
2-8	CCCモデルの最終化																																						
成果 3. コミュニティ参画を通じたCOGESによる学習成果向上活動の有効性が実証され、全国で共有される。																																							
3-1	近隣地域及びブルキナファソにおけるCOGES活動を通じた(コミュニティ参加による)学習成果の向上のための活動に関する情報収集																																						
3-2	学校レベルで教育の質改善の取り組みを行う他の関係者との情報共有と意見交換会の開催																																						
3-3	パイロット地域におけるCOGES活動を通じた学習の質向上に係る実証																																						
3-4	COGES活動を通じた学習の質向上に関するグッドプラクティスの共有																																						
成果 4. COGESのリソース運営管理システムが強化され、COGESの能力が強化される。																																							
4-1	近隣地域及びブルキナファソにおける、COGESを通じた資源管理に関する情報収集																																						
4-2	学校における資源管理を実施する関係者とのCOGESの役割についての意見交換																																						
4-3	近隣地域との情報交換セミナー開催																																						
4-4	資源管理の実施に係るCOGESの役割の明確化とCOGESメンバーの能力強化																																						
4-5	COGESによる学校レベルでの資源管理に係るグッドプラクティスの共有																																						
合同調整委員会																																							
評価																																							

